

AQUOS sense3

取扱説明書

はじめに

お買い上げいただき、誠にありがとうございました。
本書をよくお読みの上、正しくお使いください。

取扱説明書について

■ クイックスタートガイド

各部の名称と機能やご利用にあたっての注意事項などについて説明しています。

■ 取扱説明書(本書)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

次のサイトでダウンロード

http://web.ymobile.jp/android/ymplr_bookmark5.asp

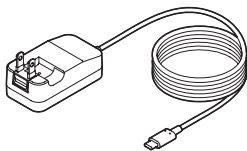
※最新情報がダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

- 本書においては、「AQUOS sense3」を「本端末」と表記しています。
- 本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
- 本書は端末カラーが「Light Copper」、ホームアプリが「AQUOS Home」の場合で説明しています。
- 本書ではmicroSDカード、microSDHCカード、microSDXCカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本端末「AQUOS sense3」の型番は「SH-M12」です。
- OSの仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能がご利用いただけなくなる場合があります。

付属品



AQUOS sense3端末



急速充電器
[ACアダプター(試供品)]



クイックスタートガイド

目次

取扱説明書について	H2
付属品	1

注意事項

本端末のご利用について	5
安全上のご注意(必ずお守りください)	6
取り扱い上のご注意	16
内蔵電池の交換について	23
リサイクルについて	23
防水/防塵/耐衝撃性能	23

ご使用前の準備

各部の名称と機能	31
nanoSIMカード	34
microSDカード	36
充電	37
電源を入れる/切る	39
初期設定	40
本端末で利用する暗証番号について	42

基本操作

基本操作	44
文字入力	48

着信/充電ランプ	55
画面表示/アイコン	55
アプリ使用履歴	60
マルチウィンドウ	61
アプリ初回起動時の確認画面について	62

ホーム画面

ホーム切替	64
AQUOS Home	64
アプリ一覧	67

電話/電話帳

電話をかける	72
電話を受ける	75
通話中の操作	75
通話履歴	76
クイックアクセス	78
通話設定	79
電話帳	80

メール/ウェブブラウザ

Eメール	83
Gmail™	85
Chrome	86

カメラ／フォト

カメラについて	89
フォト	99

アプリ

Play ストア	102
おサイフケータイ	103
GPS／ナビ	106
YouTube	108
時計	108
カレンダー	110
電卓	112
エモパー	112
からだメイト	116

本体設定

設定メニュー	119
ネットワークとインターネット	120
接続済みの端末	125
アプリと通知	126
電池	127
ディスプレイ	128
音	131
AQUOS便利機能	131
ストレージ	134
セキュリティと現在地情報	135

アカウント	142
ユーザー補助	143
Digital Wellbeing と保護者による使用制限	144
Google™	144
システム	144
お困りのときは	150

ファイル管理

ストレージ構成	151
ファイル操作	151

データ通信

Bluetooth®機能	153
NFC通信	157

外部機器接続

パソコンなどとの接続	159
プリントサービスによる印刷／保存	161
USBホスト機能	161
キャスト	161
VPN(仮想プライベートネットワーク)	162

海外利用

海外でご利用になる前に	164
海外で利用するための設定	164
滞在先で電話をかける／受ける	165

付録

トラブルシューティング (FAQ)	166
システム アップデート	172
主な仕様	173
本製品の比吸収率 (SAR) について	176
Radio Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR) Information	178
CE/FCC Notice	181
Y!mobile Customer Support	184
輸出管理規制	184
知的財産権について	185

索引

名前から探す	188
目的から探す	198

保証とアフターサービス

保証について	200
アフターサービスについて	200
ご不明な点について	200


お問い合わせ先

My Y!mobile	201
チャットサポート	201
総合窓口 (通話料有料)	201

各種お手続き (通話料無料)	201
----------------------	-----

注意事項

本端末のご利用について




- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、携帯電話サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用にならない場合があります。なお、電波が強く電波状態は[]を表示している状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 傍受(ぼうじゅ)にご注意ください。
本端末は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。傍受とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。
- 本端末は、音声デジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- ご利用の端末のAndroidバージョンについてはP.145「端末情報」
- 紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。
- 万が一紛失した場合は、Gmail™、Google Play™などのGoogle™サービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。

- Google LLCが提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Googleおよび各提供元が定める利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られています。一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販の周辺機器については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)







- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	<p>この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷^(※1)を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。</p>
 警告	<p>この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷^(※1)を負う可能性が想定される」内容です。</p>
 注意	<p>この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷^(※2)を負う可能性が想定される場合および物的損害^(※3)の発生が想定される」内容です。</p>

- ※1 重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

- ※2 軽傷:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
- ※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明していません。

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。	 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。	 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

本端末、ACアダプター、nanoSIMカードの取り扱いについて(共通)

⚠危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水/防塵性能については以下をご参照ください。

☞P.23「防水/防塵/耐衝撃性能」



禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。

また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

☞P.23「防水/防塵/耐衝撃性能」



禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶついたり、物に挟んだりしないでください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ ご注意ください

- ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- 電車やバスなどの座席シートに挟み込む



分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

本端末の背面カバーを取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
☞ P.23「防水／防塵／耐衝撃性能」



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
☞ P.23「防水／防塵／耐衝撃性能」



指示

本端末には、必ず指定のACアダプターをご使用ください。
指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。

ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントから抜く。
- 本端末の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意



禁止

破損したまま使用しないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中には特にご注意ください。

落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

防水／防塵性能については以下をご参照ください。

【※P.23「防水／防塵／耐衝撃性能」】



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。カードトレイなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信や動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本端末やACアダプターの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

本端末の取り扱いについて

⚠危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告



禁止

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。

視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてモバイルライトを点灯、発光しないでください。

運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。

けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のカードトレイ挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

また、nanoSIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。

待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

突然の着信バイブレータ(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れた部分や露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようにご注意ください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

モーションセンサーや地磁気センサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ワイモバイルショップなどにお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。各箇所の材質については以下をご参照ください。
【P.15「材質一覧」】



指示

本端末の受話口/スピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

ACアダプターの取り扱いについて

警告



禁止

ACアダプターのケーブルが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプターには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプターのケーブルの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプターを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプターに変圧器(海外旅行用のトラベルコンバーターなど)を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にACアダプターを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でACアダプターのケーブルや充電端子、電源プラグに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。

また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプターで充電してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

指定のACアダプター: AC100V~240V (家庭用ACコンセント専用)



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

ACアダプターをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、ACアダプターのケーブルを引っ張るなど無理な力を加えず、ACアダプターを持って抜いてください。

ACアダプターのケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にACアダプターを抜き差しする場合は、ケーブルを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意



禁止

コンセントにつないだ状態でACアダプターに継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

nanoSIMカードの取り扱いについて

⚠注意



指示

nanoSIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

警告



指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

端末

使用箇所	材質/表面処理
ディスプレイ面	強化ガラス/AFコート
外装	アルミニウム/アルマイト処理
外装(アンテナ部)	PBT樹脂(ガラス入り)
電源キー	アルミニウム/アルマイト処理
音量UP/DOWNキー	アルミニウム/アルマイト処理
指紋センサー	エポキシ樹脂/ハードコート
指紋センサー飾り	ステンレス/PVD処理
カメラパネル	強化ガラス/AFコート、ARコート
カメラ飾り	アルミニウム/アルマイト処理
モバイルライト	PC樹脂
受話口/スピーカーメッシュ	PC樹脂
イヤホンマイク端子の周囲(内側側面)	PBT樹脂(ガラス入り)
USB Type-C™接続端子の周囲(内側側面)	PBT樹脂(ガラス入り)
カードトレイ(外装部)	アルミニウム/アルマイト処理
カードトレイ	POM樹脂

使用箇所	材質／表面処理
カードトレイのパッキン	シリコンゴム
IMEIプレート	PET樹脂／PET樹脂ラミネート
IMEIラベル／バーコードラベル	PET樹脂／印刷
ベースラベル	PET樹脂／PP樹脂ラミネート

ACアダプター

使用箇所	材質／表面処理
ACアダプター本体(筐体部)	PC樹脂+MBS(ポリカーボネイト系アロイ)
ACアダプター本体(プラグ樹脂部)	PBT樹脂
ACアダプター本体(プラグ金属部)	黄銅／ニッケルメッキ
ACアダプター本体(プラグ耐トラ部)	PA(ポリアミド)
ケーブル	PVC
USB Type-Cプラグ(筐体部)	PVC
USB Type-Cプラグ(金属部)	ステンレス／ニッケルメッキ

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- 本端末は防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や粉塵などの異物を入れたり、指定のACアダプターにこれらを付着させたりしないでください。

指定のACアダプター、nanoSIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。

- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
 - ・ 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ・ ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - ・ アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子や指紋センサーなどは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。また、清掃するには端子などの破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

- **本端末に無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れてたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- **落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。
- **お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。**

本端末についてのお願い

- **ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。**
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
風呂場での使用については以下をご参照ください。
☞P.25「本端末が有する防水／防塵性能でできること」
- **家庭用電子機器(テレビ・ラジオなど)をお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。**
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- **外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。
- **使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常はカードトレイを閉じた状態でご使用ください。**
水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- **指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。**
指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- **磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、交通系ICカードなどのデータが消えてしまうことがあります。
また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。
- **本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。**
近接センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。
近接センサーの位置は、以下をご参照ください。
☞P.31「各部の名称と機能」
- **充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。**
- **本端末の表面にアルミ材を使用しております。アルミは柔らかい素材のため、打痕・擦り傷が残りやすくなっておりますので、ご注意ください。**

● **内蔵電池は消耗品です。**

内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。

十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換については以下をご参照ください。

☞P.23「内蔵電池の交換について」

● **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**

● **本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。**

- ・フル充電状態 (充電完了後すぐの状態) での保管
- ・電池残量なしの状態 (本端末の電源が入らない程消費している状態) での保管

なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。

● **本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。**

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

● **本端末に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。**

リサイクルについては、以下をご参照ください。

☞P.23「リサイクルについて」



ACアダプターについてのお願い

- **充電には指定のACアダプターをご使用ください。**
- **充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
 - ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・ 家庭用電子機器 (テレビ・ラジオなど) の近く
- **充電中にACアダプターが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
故障の原因となります。

nanoSIMカードについてのお願い


- 日本国内では、nanoSIMカードを取り付けないと緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- nanoSIMカードや携帯電話(nanoSIMカード挿入済み)を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。
詳しくは、「お問い合わせ先」までご連絡ください。
- 他社製品のICカードリーダーなどにnanoSIMカードを挿入し故障した場合は、お客様ご自身の責任となり当社は責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
- お客様ご自身でnanoSIMカードに登録された情報内容は、バックアップをとっておかれることをおすすめします。
登録された情報内容が消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- nanoSIMカードのお取り扱いについては、下記のワイモバイルのウェブサイトをご参照ください。
<https://www.ymobile.jp/support/product/usim/>

microSDカードについてのお願い

- microSDカードは、小さなお子様の手の届かない所で保管／使用してください。
誤って飲み込むと、窒息する恐れがあります。
- microSDカードの登録内容は、事故、故障、修理、機種変更などの際や、その他の取り扱いなどによって、消失または変化してしまうことがあります。
大切なデータは定期的にバックアップをとっておかれることをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- microSDカードを無理に取り付けたり、取り外したりしないでください。
- 端子面に手や金属で触れないでください。
- データの読み出し中や書き込み中は、絶対にmicroSDカードを抜いたり、本端末の電源を切らないでください。
- データの消去や上書きなどにご注意ください。
- 本端末は、SDXC規格のmicroSDカード(microSDXCカード)に対応しています。
microSDXCカードは、SDXC規格対応機器でのみご使用いただけます。
SDXC規格非対応機器とのデータのやりとりについてはP.36「SDXC規格非対応機器とのデータのやりとりについて」


Bluetooth機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について

本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は、ホーム画面▶[]

▶[システム]▶[詳細設定]▶[認証]で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4: 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH: 変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- ③ 4: 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- ④ XX: 変調方式がその他の方式であることを示します。
- ⑤ 8: 想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。
- ⑥ : 2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

● Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、Bluetooth機能の使用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. その他、ご不明な点につきましては、「お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN(WLAN)についてのお願い

- 無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。
- 無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

● 周波数帯について


本端末の無線LAN機能は2.4GHz帯と5GHz帯を利用します。

ホーム画面▶[]▶[システム]▶[詳細設定]▶[認証]で確認できます。

● 2.4GHz帯について

ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4: 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② DS: 変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ OF: 変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ④ 4: 想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑤ : 2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

本端末の無線LAN2.4GHz帯で設定できるチャンネルは1~13です。これ以外のチャンネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。

● 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、無線LANの使用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「お問い合わせ先」までお問い合わせください。

● 5GHz機器使用上の注意事項

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz帯(W52/W53/W56)の3種類の帯域を利用することができます。

- W52(5.2GHz帯/36、40、44、48ch)
- W53(5.3GHz帯/52、56、60、64ch)
- W56(5.6GHz帯/100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)

5.2GHz/5.3GHz帯無線LAN(W52/W53)の屋外利用は法律で禁止されています(5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント/中継局と通信する場合を除く)。

- **利用可能なチャンネルは、国により異なります。**
- **航空機内の使用は事前に各航空会社へご確認ください。**
- **一部の国/地域では、無線LANの使用が制限されます。海外で利用するときは、その国/地域の法規制など条件をご確認ください。**

電波障害自主規制について

- 本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の電子銘板に表示しています。

電子銘板は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。


ホーム画面▶▶[システム]▶[詳細設定]▶[認証]

FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについて

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。
また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の電子銘板に表示されています。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。

ホーム画面▶▶[システム]▶[詳細設定]▶[認証]

本端末内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

内蔵電池の交換について

内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。使用状況や動作環境によって異なりますが、充放電を繰り返すうちに劣化します。十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは新しい内蔵電池と交換する必要があります。

なお、内蔵電池は、お客様自身では交換できません。内蔵電池の交換については、ワイモバイルショップなどで、端末をお預かりして有料にて承ります。

「お問い合わせ先」またはワイモバイルショップへご相談ください。

リサイクルについて

本端末に使用していますリチウムイオン電池はリサイクル可能な有益な資源です。リサイクルにご協力をお願いします。リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。



防水／防塵／耐衝撃性能

本端末は、カードトレイをしっかりと閉じた状態でIPX5^{※1}、IPX8^{※2}の防水性能、IP6X^{※3}の防塵性能を有しています。また、MIL規格に準拠する試験^{※4}をクリアした耐衝撃構造を採用しています。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに携帯電話を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75 μ m以下の塵埃(じんあい)が入った装置に携帯電話を8時間入れてかかはんさせ、取り出したときに内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。
- ※4 MIL規格準拠
米国防総省が制定したMIL-STD-810Hに準拠した独自の試験を実施しています。

試験項目	試験内容
防水(浸漬)	深さ約1.5mの水中に30分間浸漬させる試験
防水(雨滴)	高さ1mから15分間雨滴を落とす試験
防塵	72時間の粉塵試験
防塵(風塵)	連続6時間(風速8.9m/sec、濃度10.6g/m ³)の粉塵試験
耐衝撃(落下)	高さ1.22mから鋼板に製品を26方向で落下させる試験
耐振動	上下10Hz~500Hz、加速度1.04G、左右10Hz~500Hz、加速度0.2G、前後10Hz~500Hz、加速度0.74Gでそれぞれ60分の振動試験
耐日射	連続20時間(放射照度1120w/m ²)の日射後、4時間オフを10日間繰り返す試験
防湿	連続10日間(湿度95%RH)の高湿度試験
高温保管(固定)	63℃に固定した72時間の高温保管試験
高温保管(変動)	28℃~58℃までの温度変化において72時間の高温保管試験
高温動作(固定)	55℃に固定した5時間の高温動作試験
高温動作(変動)	28℃~39℃/湿度43%~78%までの変化において72時間の高温動作試験

試験項目	試験内容
低温動作	-20℃に固定した5時間の低温動作試験
低温保管	-33℃~-25℃の温度変化において連続72時間の低温保管試験
温度耐久(温度衝撃)	-21℃~50℃の急激な温度変化において連続3時間の温度耐久試験
低圧保管	連続2時間(57.2kPa/高度約4,572m相当)の低圧保管試験
低圧動作	連続2時間(57.2kPa/高度約4,572m相当)の低圧動作試験
氷結(結露)	-10℃で結露や霧を発生させ1時間維持し、25℃、95%RHで動作確認
氷結(氷結)	-10℃環境下で着氷した氷の厚さが6mmになるまで氷結させる試験

- 本製品の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての状況での全機能の動作を保証するものではありません。また、すべての衝撃に対して、無破損、無故障を保証するものではありません。

本端末が有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます(1時間の雨量が20mm程度)。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱めの水流(6L/分以下、常温(5℃～35℃)の水道水)で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。カードトレイが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください(☞P.29「水に濡れたときの水抜きについて」)。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。
- 風呂場で使用できます。
 - 常温の水道水以外の液体(温泉の湯やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水など)を付着させたり、湯船に浸けたりしないでください。
故障の原因となります。万が一、水道水以外の液体が付着したり、湯船に落ちてしまった場合は、直ちに所定の方法で洗い流してください。
 - 風呂場では、室温は5℃～40℃、湿度は99%以下、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
なお、すべての機能の連続動作を保証するものではありません。
 - 水に濡れたあとは、必ず所定の方法(☞P.29「水に濡れたときの水抜きについて」)で水抜き・自然乾燥を行ってください。
風呂場での使用後やカメラのレンズ内側などに結露が発生した場合も自然乾燥を行ってください。

- 急激な温度変化は、結露の原因となります。
寒い場所から暖かい風呂場などに本端末を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
また、風呂場で暖まった本端末に冷たい水をかけないでください。
故障の原因となります。
- 風呂場では絶対に充電を行わないでください。
- 風呂場の構造・環境によっては電波が届かず、通話、データ通信ができない場合があります。
- 濡れた手で操作をする場合、反応しなかったり、誤動作したりする可能性があります。
- 風呂場で、イヤホンや外部接続機器を接続して使用しないでください。

ご利用にあたって

防水／防塵性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- カードトレイをしっかりと閉じてください。開閉するときは、ゴムパッキンに無理な力を加えないように注意してください。
- カードトレイが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
- 防水／防塵性能を維持するため、カードトレイはしっかり閉じる構造となっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける可能性がありますので、ご注意ください。

- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。部品の交換については「お問い合わせ先」またはワイモバイルショップへご相談ください。

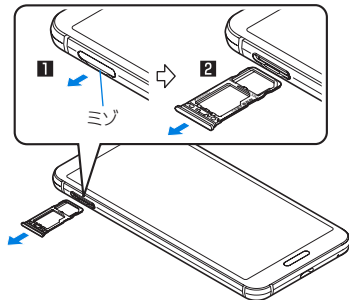
■ カードトレイの取り外し／取り付けかた

- 取り外し／取り付けは、必ず電源を切ってから行ってください。端末は手でしっかり持ってください。
- 取り外し／取り付けは、ディスプレイ面を上向きに行ってください。

取り外すとき

1 カードトレイを本体から引き出す

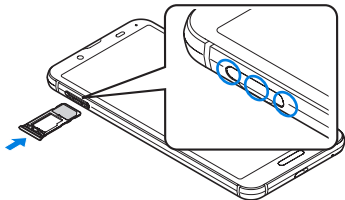
- ミゾに指の先をかけて手前に引き出し(1)、ゆっくりと水平に引き出してください(2)。
カードトレイを強く引き出したり、斜めに引き出ししたりすると、破損の原因となります。
- 引き出すときに、カードがカードトレイから外れて、紛失したりしないように注意してください。



取り付けるとき

1 ディ스플레이面を上向きにして、カードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

- ○部分をしっかりと押し、本体とカードトレイにすき間がないことを確認してください。
- カードトレイをゆっくりと差し込んでください。
- カードトレイを裏表逆に差し込まないでください。裏表逆に差し込むと、カードトレイが破損する恐れがあります。
- カードトレイの差し込みが不十分な場合は、防水／防塵性能が損なわれたり、正常に動作しないことがあります。



注意事項

- 手が濡れているときや端末に水滴や異物がついているときには、カードトレイの開閉はしないでください。
- カードトレイはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、液体や粉塵が入る原因となります。
- カードトレイを引き出している状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、「お問い合わせ先」までご連絡ください。
- カードトレイと端末の接触面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。ゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、「お問い合わせ先」またはワイモバイルショップへご相談ください。
- カードトレイのすき間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、液体や粉塵が入る原因となります。
- 水中で端末を使用（キー操作を含む）しないでください。故障の原因となります。
- 規定以上の強い水流（6L/分を超える）を直接当てないでください。本端末はIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 常温（5℃～35℃）の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。常温の水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の水で洗ってください。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときは端末が常温になってから持ち込んでください。

- 温泉の湯やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風(ドライヤーなど)を当てたりしないでください。
- 海水には浸けないでください。
- 砂／泥の上に直接置かないでください。
- 万が一、塩水や海水、飲料、調味料、食品、泥や土などの異物が付着した場合には、すぐに洗い流してください。
乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 本端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 送話口／マイク、受話口／スピーカー、イヤホンマイク端子に水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- 送話口／マイク、受話口／スピーカー、USB Type-C接続端子、イヤホンマイク端子などを尖ったものでつつかないでください。
- 端末が水に濡れた状態でイヤホンマイクを挿さないでください。故障の原因となります。
- 指定のACアダプターは防水／防塵性能を有していません。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。



せっけん／
洗剤／入浴剤



海水



プール



温泉



砂／泥

- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

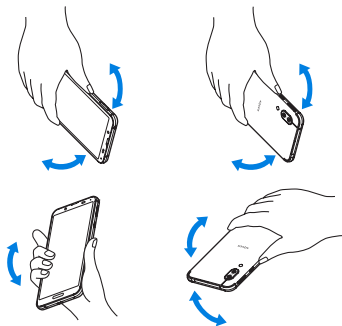
水に濡れたときの水抜きについて

端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

- 1 端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る



- 2 端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

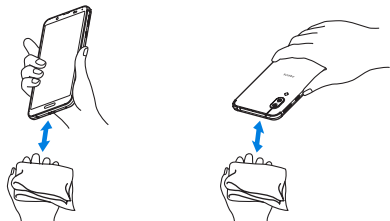


送話口／マイクの水抜きのために
送話口を下にして振る

受話口／スピーカーの水抜きのために
受話口を下にして振る

3 送話口／マイク、受話口／スピーカー、キー、USB Type-C接続端子、イヤホンマイク端子などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに端末を軽く押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布などを当て、軽くたたいて水を出してください。



4 端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、約3時間自然乾燥させる

- 水を拭き取ったあとに端末内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 水が抜けない場合は音が聞こえづらいことがありますので、再度布などを当て、軽くたたいて水を出してください。

充電のとき

指定のACアダプターは防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 端末に水滴や異物が付着していないか確認してください。異物が付着している場合は、すぐに洗い流してください。また、濡れている場合や水に濡れたあとは、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取り、自然乾燥させてから充電してください。

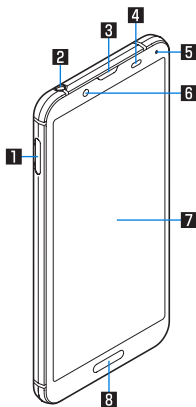
警告

端末に水滴や異物が付着している状態では、USB Type-Cプラグを絶対に接続しないでください。

- 端末は防水／防塵性能を有しておりますが、ACアダプター（試供品）は防水／防塵性能を有していません。濡れたり汚れたりしている状態でUSB Type-Cプラグを挿入すると、端末やUSB Type-Cプラグに付着した水分や異物などにより、充電ショートによる異常発熱、故障、火災、やけどの原因となります。
- 濡れた手でACアダプターに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプターは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の準備

各部の名称と機能



1 カードトレイ

- nanoSIMカードとmicroSDカードを取り付けるときに使用します。
- nanoSIMカードについてはP.34「nanoSIMカード」
- microSDカードについてはP.36「microSDカード」

2 イヤホンマイク端子

3 受話口／スピーカー

4 近接センサー／明るさセンサー※1

- 通話中に顔の接近を検知して誤動作を防止したり、画面の明るさの自動制御に使用したりします。

5 着信／充電ランプ

- 着信／充電ランプについてはP.55「着信／充電ランプ」

6 インカメラ

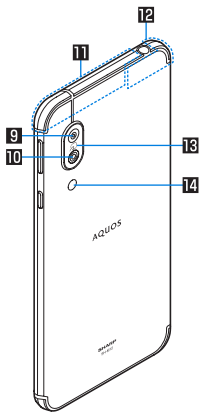
- カメラの利用についてはP.89「カメラについて」

7 ディスプレイ／タッチパネル

- タッチパネルの操作についてはP.44「タッチパネルの操作」

8 指紋センサー※1

- 指紋認証による、タッチパネルのロック解除などに利用します。
- 指紋センサーの利用についてはP.139「指紋認証」



9 標準カメラ

- 標準レンズで静止画／動画撮影ができるアウトカメラです。
- カメラの利用についてはP.89「カメラについて」

10 広角カメラ

- 広角レンズで静止画／動画撮影ができるアウトカメラです。
- カメラの利用についてはP.89「カメラについて」

11 内蔵アンテナ※2

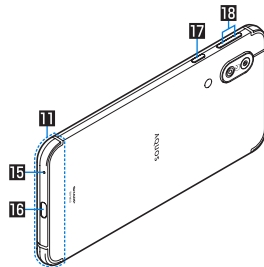
12 Bluetooth®／Wi-Fi／GPSアンテナ※2

13 〻マーク

- ICカードが搭載されています(取り外しはできません)。
- 〻マークの利用についてはP.103「おサイフケータイ」、P.157「NFC通信」

14 モバイルライト／空気抜き部

- 性能を保つための空気抜き部となっています。



15 送話口／マイク

- 動画撮影時やエモパーにお話する際はマイクとして利用します。

16 USB Type-C接続端子

- 充電時などに使用します。
- USB Power Deliveryに対応しています。
- 外部機器との接続についてはP.37「充電」、P.159「パソコンなどとの接続」、P.161「USBホスト機能」

17 電源キー

- 電源を入れる／切るときや、画面を点灯／消灯するときに使
用します。2秒以上押すとメニューが表示され、[電源を切る]
[再起動] [スクリーンショット] [故障かな?と思ったら]の操
作ができます。
- 詳しくは下記をご参照ください。
 - 電源を入れる／切るについてはP.39「電源を入
れる／切る」
 - スクリーンショットの撮影についてはP.47「スク
リーンショットの撮影」
 - 「故障かな?と思ったら」についてはP.150「セルフ
チェック」

18 (+) / (-) : 音量UP / DOWNキー

- 各種音量の調節やカメラ撮影、マナーモードの設定などに使
用します。

- ※1 センサー部分にはシールなどを貼らないでください。
※2 アンテナは端末に内蔵されています。手で覆うと通信品質に
影響をおよぼす場合があります。

- 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損
や故障の原因となります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できま
せん。

音量UP / DOWNキーについて

- (+) / (-) を押して音量バーを表示させると、マナーモードの
選択項目 ([マナーOFF] / [パイプ] / [ミュート]) が表示され
ます。繰り返しタッチして、設定したい項目を表示するとマ
ナーモードを設定できます。

受話口 / スピーカーについて

- 本端末は受話口とスピーカーを兼用しています。ハンズフリー
通話に切り替えたときや通話が終了したときなどは、耳元でス
ピーカーから大きな音が鳴らないよう、設定した音量まで段階
的に上がります。

モバイルライトについて

- 端末の温度が高くなった場合、モバイルライトが自動的に消灯
することがあります。また、端末の温度が高い状態では、モバ
イルライトが利用できないことがあります。

マイクについて

- マイクを利用する機能を使用する場合は、マイクの穴をふさが
ないようにしてください。

イヤホンマイクについて

- イヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。

本端末の強制終了について

- (+) (電源キー) を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができ
ます。パイプレータが動作したあとに手を離すと、電源が切れ
ます。強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが
消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

nanoSIMカード

nanoSIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。

- 日本国内では、通話可能なnanoSIMカードを取り付けないと緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- nanoSIMカードには、PINコードという暗証番号があります(☞P.42「PINコード」)。

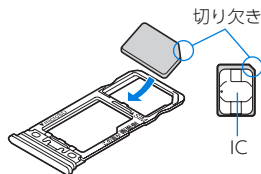
■ 取り付けかた

- カードトレイの取り外し／取り付け方法について詳しくは、「カードトレイの取り外し／取り付けかた」(☞P.26)をご参照ください。

1 カードトレイを本体から取り外す

2 nanoSIMカードのIC面を下向きにして、カードトレイに取り付ける

- 切り欠きの方向にご注意ください。
- nanoSIMカードの向きに注意して、確実に取り付けてください。
- nanoSIMカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



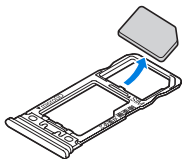
3 ディスプレイ面を上向きにして、カードトレイを本体に取り付ける

■ 取り外しかた

- カードトレイの取り外し／取り付け方法について詳しくは、「カードトレイの取り外し／取り付けかた」(P.26)をご参照ください。

1 カードトレイを取り外す

2 nanoSIMカードをカードトレイから取り外す



3 ディ스플레이面を上向きにして、カードトレイを本体に取り付ける

- nanoSIMカードやmicroSDカードは、直接本体に差し込まないでください。カードをカードトレイに取り付けたあとで、カードトレイごと本体に差し込んでください。
- nanoSIMカードやカードトレイを取り外す際は、落とさないようご注意ください。
- ディ스플레이面を下向きにしたり、本体を立てた状態でカードトレイを引き出すと、取り付けられているnanoSIMカードが外れ、紛失する可能性があります。
- nanoSIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり傷つけたりしないようご注意ください。また、無理に取り付けようとして、取り外そうとするとnanoSIMカードが破損したり、カードトレイが変形したりする恐れがありますので、ご注意ください。
- nanoSIMカードの詳しい取り扱いについては、下記のワイモバイルのウェブサイトをご参照ください。
<https://www.ymobile.jp/support/product/usim/>
- 取り外したnanoSIMカードは、なくさないようご注意ください。

microSDカード

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- 本端末は最大512GBまでのmicroSDカードに対応しています。ただし、すべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
- 端末にmicroSDカードを挿入した直後(端末で使用するための情報を書き込み中)や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、端末で初期化する必要があります(☞P.134[microSDカード/USBメモリのフォーマット])。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、端末では正常に使用できないことがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、端末で表示、再生できないことがあります。また、端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管してください。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

microSDXCカードについて

- 本端末は、SDXC規格のmicroSDカード(microSDXCカード)に対応しています。microSDXCカードは、SDXC規格対応機器のみで使用いただけます。

SDXC規格非対応機器とのデータのやりとりについて

- 本端末とSDXC規格非対応機器との間でデータをやりとりするときは、本端末と相手機器の規格両方に準拠したmicroSDカード(microSD/microSDHCカード)をご使用ください。
- 万一、本端末で使用したmicroSDXCカードをSDXC規格非対応機器に取り付けたときは、データが破損することがあります。また、フォーマット(初期化)を促すメッセージが表示された場合は、実行しないでください。
 - フォーマットすると、microSDXCカード内のデータはすべて消去され、異なるファイルシステムに書き換えられ、本来の容量で使用できなくなることがあります。
 - データが破損したmicroSDXCカードの再使用にあたっては、SDXC規格対応機器での再フォーマットが必要です。

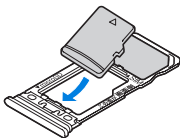
■ 取り付けかた

- カードトレイの取り外し/取り付け方法について詳しくは、「カードトレイの取り外し/取り付けかた」(☞P.26)をご参照ください。

1 カードトレイを取り外す

2 microSDカードの金属端子面を下向きにして、カードトレイに取り付ける

- microSDカードの向きに注意して、確実に取り付けてください。
- microSDカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。
浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



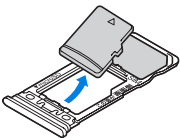
3 ディ스플레이面を上向きにして、カードトレイを本体に取り付ける

■ 取り外しかた

- カードトレイの取り外し／取り付け方法について詳しくは、「カードトレイの取り外し／取り付けかた」(P.26)をご参照ください。

1 カードトレイを取り外す

2 microSDカードをカードトレイから取り外す



3 ディ스플레이面を上向きにして、カードトレイを本体に取り付ける

充電

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

■ 充電時のご注意

- 充電時間や十分に充電したときの利用可能時間の目安についてはP.173「主な仕様」
- 端末の電源を入れておいても充電できます(充電中は電池マークに[⚡]が重なって表示されます)。
- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、端末の電源が入っていると内蔵電池の充電量が減少します。このような場合、指定のACアダプターは再び充電を行います。ただし、ACアダプターから端末を取り外す時期により、内蔵電池の充電量が少ない、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少している場合があります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから(電池残量が減ってからなど)充電することをおすすめします。

- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。

ACアダプターで充電

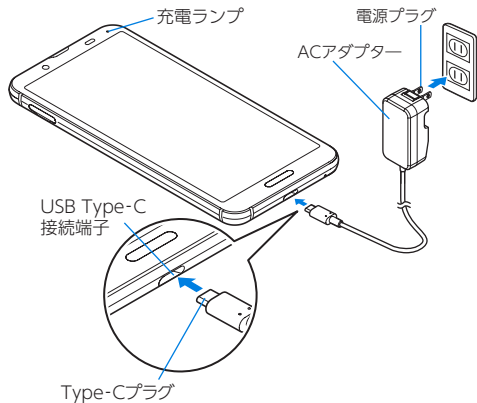
付属のACアダプターをお使いください。

1 ACアダプターの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む

- 根元まで確実に差し込んでください。

2 ACアダプターのUSB Type-Cプラグを、端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む

- 充電ランプが点灯し、充電が開始します。
- フル充電状態になっても、充電ランプは消灯しません。



3 充電が完了したら、USB Type-Cプラグを端末のUSB Type-C接続端子から水平に抜く

4 電源プラグをコンセントから抜く

USBケーブルで充電

端末とパソコンをUSB Type-Cケーブル(市販品)などで接続すると、端末を充電することができます。

- パソコンなどとの接続方法についてはP.159「パソコンなどとの接続」

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1 ◻ (電源キー) (3秒以上)

- はじめて端末の電源を入れたときに初期設定を行ってください(☞P.40「初期設定」)。

■ 電源を切る

1 ◻ (電源キー) (2秒以上)

2 [電源を切る]

■ ディスプレイの表示／非表示

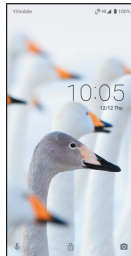
◻ (電源キー) を押したときや端末を一定時間使用しなかったときは、ディスプレイの表示が消えます。ディスプレイが消えているときに◻ (電源キー) を押すと、ディスプレイが表示されます。

■ タッチパネルのロック

電源を入れたときやディスプレイを表示させたときはタッチパネルがロックされています。

[🔒] を上にスワイプすると、ロックが解除されます。

- [ロックフォトシャッフル] がONの場合、ディスプレイを表示させるたびにタッチパネルのロック画面の画像は、自動的に切り替わります(☞P.128「ディスプレイ」)。



タッチパネルのロック画面の操作

- Google アシスタント™ 起動: [🗨️] をスワイプ
- カメラの起動: [📷] をスワイプ
- ステータスパネルを展開して表示: ステータスバーを下にドラッグ

- タッチパネルのロック画面には通知が表示されます。通知の表示についてはP.126「ロック画面の通知」
- エモパーをONにしている場合、画面の下部にエモパーがお伝えするさまざまな情報が表示されます。情報によっては2回タッチすると、関連情報や詳細を確認できます。また、[エモパーメモ]がONのときは、タッチパネルのロック画面でエモパーメモが利用できます。
 - エモパーについてはP.112「エモパー」

初期設定

はじめて端末の電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

- 設定項目は次のとおりです。ただし、各設定で選択した内容により、以降に表示される項目は異なります。
 - 言語の設定
 - キーボードの選択
 - ネットワークの選択
 - アプリとデータのコピー
 - Googleアカウントの設定 (P.41「Googleなどのアカウントの設定を行う」)
 - Google サービス
 - 端末のロック
 - Google アシスタント
 - Voice Matchでアシスタントにアクセス
 - Google Pay™
 - その他の設定項目


Googleなどのアカウントの設定を行う

- Googleアカウントとは、Googleの各種サービスを利用するためのユーザー名/パスワードです。本端末にGoogleアカウントを設定することで、Gmailを利用してEメールを送受信したり、Google Playを利用してアプリやゲームなどのコンテンツをダウンロードしたりできます。

1 ホーム画面▶[]▶[アカウント]▶[アカウントを追加]

2 アカウントの種類を選ぶ

3 アカウントを設定する

- ホーム画面▶[]▶[アカウント]で表示されるメニューに、追加したアカウントが表示されます。
- アカウントが必要となるアプリを起動したときにアカウントが未設定の場合は、アカウント設定画面が表示されます。
- 設定したアカウントおよびパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

■ アカウントの削除

1 ホーム画面▶[]▶[アカウント]

2 アカウントを選ぶ▶[アカウントを削除]▶[アカウントを削除]

- アカウントにより操作方法が異なります。

■ Googleアカウントのパスワードの再取得

Googleアカウントのパスワードをお忘れになった場合は、パスワードを再取得してください。

1 ホーム画面▶[]

2 URL入力欄に「https://www.google.co.jp」を入力▶[実行]▶[ログイン]

3 メールアドレスを入力▶[次へ]▶[パスワードをお忘れの場合]▶画面の指示に従って操作

- 利用状況により操作方法が異なります。

本端末で利用する暗証番号について

本端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。

- 各種機能用の暗証番号、PINコード入力時は、[・]で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、「お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 画面ロック用PIN/パスワード

本端末の[画面ロック]を使用するための暗証番号です。

■ PINコード

PINコードは、第三者によるnanoSIMカードの無断使用を防ぐため、nanoSIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。(nanoSIMカードお買い上げ時は「9999」に設定されています。)

- 別の端末で利用していたnanoSIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。

- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■ PINロック解除コード(PUKコード)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとnanoSIMカードがロックされ、本端末が使用できなくなります。このときは、ワイモバイルショップにてnanoSIMカードの再発行(有償)が必要になりますので、ご注意ください。

SIMカードロックを設定する

電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。

1 ホーム画面▶[]▶[セキュリティと現在地情報]▶[詳細設定]▶[SIMカードロック設定]


2 [SIMカードをロック]

3 PINコードを入力▶[OK]

- 日本国内では通話可能なnanoSIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- 設定はnanoSIMカードに保存されます。

PINコードを変更する

[SIMカードをロック]を設定しているnanoSIMカードのみ変更できます。

- 1 ホーム画面▶[]▶[セキュリティと現在地情報]▶[詳細設定]▶[SIMカードロック設定]
- 2 [SIM PINの変更]
- 3 現在のPINコードを入力▶[OK]
- 4 新しいPINコードを入力▶[OK]
- 5 もう一度新しいPINコードを入力▶[OK]

PINロックの解除

- 1 PINロック中画面でPINロック解除コードを入力
- 2 新しいPINコードを入力
- 3 もう一度、新しいPINコードを入力

基本操作

基本操作

タッチパネルやナビゲーションバーの操作、スクリーンショットの撮影など、端末の基本的な操作について説明します。

タッチパネルの操作

ディスプレイ(タッチパネル)を使用するための操作について説明します。

- 利用中の機能や画面によって操作は異なります。

タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先が尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乘せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼った操作
 - タッチパネルが濡れたままでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
 - 水中での操作

- 確認画面などの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタッチすると操作が中止されることがあります。

■ タッチ

画面に表示されるキーや項目に触れて指を離すと、選択・決定を行います。



■ ロングタッチ

利用中の機能や画面によっては、タッチパネルに触れたままにするとメニューが表示されることがあります。

■ スライド(スワイプ)/ドラッグ

タッチパネルに触れたまま指を動かすと、画面をスクロールしたり、アイコンやウィジェットなどを目的の位置まで移動したりできます。また、メニューや項目に間違っ触れたときにメニューや項目から離れるように指を動かすと、選択を中止できます。



■ フリック

ホーム画面などでタッチパネルをはらうように指を動かすと、ページの切り替えができます。



■ ピンチアウト／ピンチイン

利用中の機能や画面によっては、2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間を広げる（ピンチアウト）／狭める（ピンチイン）ように指を動かすと、画面の拡大／縮小などができます。



機能利用中の操作

■ ナビゲーションバー

画面下部のナビゲーションバーに表示されるキーを使って基本的な操作を行うことができます。



1 2

1 ◀ / ▼ : 戻るキー / 閉じるキー

- 1つ前の画面に戻します。
 - ・ 戻る画面がある場合にのみ表示されます。
- キーボードを閉じます。

2 ◻ : ホームキー

- ホーム画面を表示します。

- ナビゲーションバーをスワイプすることで、アプリ使用履歴画面を表示することができます (P.60「アプリ使用履歴」)。

■ アシスト機能の利用

アシスト機能に対応したアプリをすばやく起動することができます。

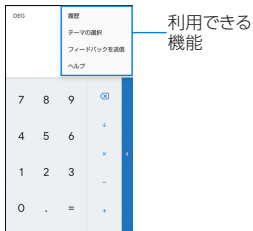
1 [◻] をロングタッチ

- 起動するアプリの設定: ホーム画面 ▶ [⊕] ▶ [アプリと通知] ▶ [詳細設定] ▶ [デフォルト アプリ] ▶ [アシストと音声入力] ▶ [アシストアプリ] ▶ アプリを選ぶ
 - ・ [詳細設定] は使用状況などにより、表示されない場合があります。

■ メニューを呼び出す

[⋮]／[≡]などのメニューキーのタッチや画面の左端を右にスワイプ、画面のロングタッチを行うと、その画面で利用できる機能(メニュー)が表示されます。

例:電卓画面



■ 設定の切替

設定項目の横にチェックボックスなどが表示されているときは、タッチすることで設定の有効／無効やON／OFFを切り替えることができます。

例:アプリの通知設定画面、日付と時刻設定画面

- []は有効、[]は無効の状態です。



- []はON、[]はOFFの状態です。



■ 縦／横表示

本端末の傾きに合わせて、縦画面表示または横画面表示に切り替えることができます。

- 表示中の画面によっては、端末の向きを変えても、縦／横表示が切り替わらない場合や、特定の向きに表示が固定される場合があります。
- 端末が地面に対して水平に近い状態で向きを変えても、縦／横表示は切り替わりません。
- 音やバイブレータが動作しているときは、切り替えが正しく行われない場合があります。
- 画面が点灯した直後や電源を入れた直後は、縦横が正しく表示されない場合があります。
- 自動的に切り替わらないように設定することもできます (☞ P.128「ディスプレイ」)。また、ステータスパネルから設定できます (☞ P.58「ステータスパネルの利用」)。
- 縦表示から横表示にした場合、アプリによっては全画面表示されることがあります。

スクリーンショットの撮影

表示中の画面を画像として撮影できます。

- 撮影した画像は本体メモリに保存され、フォトなどで確認することができます。
- Clip Nowを利用してもスクリーンショットを撮影することができます (☞ P.132「Clip Now」)。

1 [電源キー] (2秒以上) ▶ [スクリーンショット]

- [電源を切る]、[再起動]などのメニューは撮影されません。
- [電源キー] + [←]を1秒以上押しても、表示中の画面を画像として撮影できます。

- 電子書籍の表示中などは保存できません。
- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

端末内やサイトの情報の検索

1 ホーム画面▶「アプリー覧画面」を表示▶ [Google]▶[Google]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。
- クイック検索ボックスが表示されます。
- [その他]▶[設定]と操作すると、検索の設定ができます。

2 検索ボックスをタッチ▶キーワードを入力



1 検索ボックス

- 検索するキーワードを入力します。
- キーワードを入力すると、入力した文字から始まる検索候補や端末内のアプリ、データなどを一覧表示します。

2 音声検索切替

3 検索候補を選ぶ

- 検索結果が表示されます。
- アプリを選択した場合は対応するアプリが起動します。
- 検索結果に[画像]などが表示された場合は、ジャンルを選択して検索することができます。
- 検索候補にキーボードが重なって表示される場合は[▼]をタッチしてキーボードを閉じてください。

文字入力

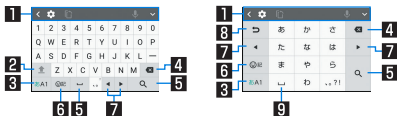
QWERTYキーボードとテンキーボードを利用して文字入力をしたり、音声で入力したりできます。

- キーボードや入力方式の切り替えについてはP.50「文字入力の設定」
- 文字入力時に画面下部の[]をタッチすると、使用する入力ソフトを設定することができます。ここでは、[S-Shoin]の場合で説明しています。

キーボードの見かた

- 次の2種類のキーボードを利用できます。

QWERTY キーボード	文字入力キーをタッチすると表示されている文字を入力できます。ローマ字で文字を入力します。
テンキーボード	1つの文字入力キーに複数の文字が割り当てられています。文字入力キーを上下左右にフリックして、文字を入力します。 <ul style="list-style-type: none">● 入力したい文字が表示されるまで文字入力キーをタッチして、文字を入力することもできます。



QWERTYキーボード

テンキーボード

※各キーは設定や状況に応じて表示が切り替わります。

1 ツールバー

- [◀]: タッチすると、ツールバーをスクロールします。
- [⚙️]: 文字入力の設定項目が表示されます。
 - 設定について詳しくは、「文字入力の設定」(P.50)をご参照ください。
- [☰]: ドラッグすると、キーボードの位置を調整できます。
- [📄]: タッチ▶ツールバーをドラッグと操作すると、画面内の任意の場所にキーボードを配置できます。[☰]をタッチしてバーを左右にドラッグすると、キーボードの透過を調整できます。[📄]をタッチすると元の配置に戻ります。
- [📏]: ドラッグすると、キーボードのサイズを調整できます。
- [📄]: タッチすると、切り取り/コピーした履歴を選択して貼り付けたり、履歴を削除できます。
- [🗣️]: 音声入力ができます。
 - 音声入力について詳しくは、「音声で入力」(P.54)をご参照ください。
- [✔️]: タッチすると、ツールバーを閉じます。
 - ツールバーを表示する場合は、[⬆️]をタッチします。

2 シフトキー

- 大文字/小文字を切り替えます。
 - [⇧]: 小文字で入力します。
 - [⇧]: 最初に入力する文字を大文字で入力します。
 - [⇧]: 大文字で入力します。
 - 大文字/小文字を切り替えると、キーボードで入力できる記号も変わります。

3 入力モード切替キー

- 入力モードを変更します。
 - タッチすると、半角英字→半角数字→ひらがな漢字の順に、入力モードが切り替わります。
 - 各入力モードで設定したキーボードが表示されます。

4 削除キー

- [文字削除キー動作]で設定した方向の文字を消します (P.52「キー操作」)。
- 文字にカーソルが当たっている場合はカーソル位置の文字を消します。

5 確定キー/改行キー/スペースキー/変換キー

- [確定]: 入力中の文字を確定します。
- [←]: カーソルの位置で改行します。
- []: スペースを入力します。
- [変換]: 通常変換候補を表示します。
 - テンキーボードで表示するには、あらかじめ[変換キー表示(テンキーボード)]を有効にしておいてください (P.51「表示」)。
- アプリケーションや入力中の項目によって、表示が切り替わります。

6 記号キー

- 絵文字／記号／顔文字リストを表示します。
 - ・ アプリによっては、入力できないものがあります。

7 カーソルキー

- カーソルを移動したり、変換する文字の区切りを変更したりできます。

8 逆トグルキー／戻すキー

- [↶]：タッチすると入力した文字から逆回しで文字を入力することができます。
- [↷]：タッチすると直前に確定した文字を未確定状態に戻したり、直前に削除した文字を5回分の操作まで戻すことができます。

9 大文字・小文字キー／スペースキー

- [A→a]：入力した文字を大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。
- [A→a]：入力した英字を大文字／小文字に切り替えたり、上にフリックしてアポストロフィを入力したりします。
- []：スペースを入力します。

ツールバーについて

- ツールバーの[⚙]をタッチすると、ツールバーに表示する設定アイコンを選択することができます。挿入箇所をタッチ▶挿入する設定項目をタッチと操作してください。

文字入力の設定

1 文字入力画面で[⚙]

2 項目を選ぶ

- **キーボードタイプ**：使用するキーボードのタイプを設定します。
- **入力モード切替**：入力モードを設定します。
- **単語登録**：ユーザー辞書に単語を登録します。
- **キーボードイメージ**：キーボードの色やデザインを設定します。
- **キー操作**：文字入力時の操作音やバイブレーションについて設定します。
- **フリック・トグル**：フリック感度やトグル入力などについて設定します。
- **外部アプリ連携**：ネット変換エンジンや自動外部変換を利用するか設定します。
- **辞書**：ユーザー辞書やダウンロード辞書の設定を行います。
- **学習辞書リセット**：学習辞書をリセットします。
- **設定リセット**：S-Shoinの設定をリセットします。
- **その他**：その他については🔗P.51「表示」、🔗P.51「予測／変換」、🔗P.52「キー操作」、🔗P.52「外部アプリ連携」、🔗P.52「辞書」、🔗P.52「その他」

■ 表示

1 文字入力画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [表示]

2 項目を選ぶ

- **キーボードタイプ**:使用するキーボードのタイプを画面の向き、入力モードごとに設定します。
- **一括シンプル切替**:見やすいデザインのキーボードを利用するか設定します。
- **キーボードイメージ**:キーボードの色やデザインを設定します。
- **数字キーを表示**:QWERTYキーボード利用中に入力モードを半角数字/全角数字以外に切り替えた場合でも数字キーを表示させるか設定します。
- **カナ英数キー表示**:カナ英キー/カナ英数キーを表示するか設定します。
 - 入力した文字のカタカナ、タッチしたキーに割り当てられた英字/英数字や記号の変換候補(カナ英字/カナ英数変換候補)を表示します。
- **変換キー表示(テンキーボード)**:テンキーボード利用中に通常変換候補を表示する変換キーを表示するか設定します。
- **ガイド表示**:テンキーボードで入力モードをひらがな漢字に設定したときに、キーボード上に英数入力ガイドを表示するか設定します。
- **候補表示エリア**:入力候補リストを表示する行数を設定します。

■ 予測/変換

1 文字入力画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [予測/変換]

2 項目を選ぶ

- **日本語候補学習**:日本語候補学習を有効にするか設定します。
- **日本語予測変換**:日本語予測変換を有効にするか設定します。
- **日本語ワイルドカード予測**:ひらがな漢字入力時にワイルドカード予測を利用するか設定します。
- **半角スペース入力**:全角入力時にも半角スペースを入力するか設定します。
- **候補学習**:候補学習を有効にするか設定します。
- **予測変換**:予測変換を有効にするか設定します。
- **ワイルドカード予測**:半角英字入力時にワイルドカード予測を利用するか設定します。
- **自動スペース入力**:半角英字入力で英単語を選択したあと半角スペースを自動的に挿入します。
- **自動大文字変換**:半角英字入力で文頭文字を大文字で入力します。

[自動スペース入力]、[自動大文字変換]について

- 利用中のアプリによっては、設定に従わない場合があります。

■ キー操作

1 文字入力画面で[⚙️] ▶ [その他] ▶ [キー操作]

2 項目を選ぶ

- **キー操作音**:文字入力時の操作音の有無を設定します。
- **キー操作パイプ**:文字入力時にパイプレータを動作させるか設定します。
- **キー操作パイプ時間**:キー操作パイプでパイプレータが動作する時間を設定します。
- **キーポップアップ**:文字入力エリアでキーをタッチしたときにフリックガイドのポップアップを表示するか設定します。
- **括弧内カーソル移動**:対応する括弧(「」, 「」など)の入力時に、括弧内にカーソルを自動で移動させるか設定します。
- **文字削除キー動作**:削除キーの動作を設定します。
- **フリック感度**:フリック入力をするときの文字選択の感度を設定します。
- **トグル入力**:トグル入力を利用するか設定します。
- **自動カーソル移動**:トグル入力後にカーソルを自動的に右側に移動させる速度を設定します。

[文字削除キー動作]について

- [右側削除(クリア)]に設定した場合、カーソルが文末のときはカーソル左側の文字を消します。

■ 外部アプリ連携

1 文字入力画面で[⚙️] ▶ [その他] ▶ [外部アプリ連携]

2 項目を選ぶ

- **ネット変換エンジン**:インターネット上の変換エンジンを利用して変換候補を表示します。
- **自動外部変換**:自動でネット変換するか設定します。

■ 辞書

1 文字入力画面で[⚙️] ▶ [その他] ▶ [辞書]

2 項目を選ぶ

- **日本語**:日本語ユーザー辞書の登録/編集/削除をします。
- **英語**:英語ユーザー辞書の登録/編集/削除をします。
- **ダウンロード辞書**:利用するダウンロード辞書を設定します。
- **ダウンロード辞書を追加**:シャープのサイトに接続し、辞書をダウンロードできます。

■ その他

1 文字入力画面で[⚙️] ▶ [その他] ▶ [その他]

2 項目を選ぶ

- **学習辞書リセット**:学習辞書をリセットします。
- **設定リセット**:S-Shoinの設定をリセットします。
- **バージョン情報**:S-Shoinのバージョンを確認できます。
- **利用規約・プライバシーポリシー**:利用規約やプライバシーポリシーを確認できます。

文字入力のしかた

例:「文字」と入力するとき

1 文字入力画面で「もじ」と入力



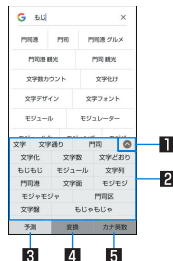
1 拡大

- 変換候補欄を拡大します。

2 変換候補欄

- 変換候補をタッチすると入力できます。

2 []



1 縮小

- 変換候補欄を縮小します。

2 変換候補欄

- 変換候補をタッチすると入力できます。
- ネット変換エンジンを設定している場合は[ネット変換]が表示されます。タッチするとインターネット上の変換エンジンを利用した変換候補が表示されます。

3 予測

- 予測候補を表示します。

4 変換

- 変換候補を表示します。

5 カナ英数

- 入力した文字のカタカナ、タッチしたキーに割り当てられた英字や記号などの変換候補を表示します。

3 変換候補欄で「文字」を選ぶ

■ ワイルドカード予測

入力した文字数から変換候補を予測して表示します。

- あらかじめ[日本語ワイルドカード予測]、[ワイルドカード予測]を有効にしておいてください(※P.51「予測／変換」)。
- ひらがな漢字入力モード、半角英字入力モードのときに利用できます。

例:「アナウンス」と入力するとき

1 文字入力画面で「あな」と入力

2 [▶]▶[▶]▶[▶]

- [▶]をタッチするたびに[○]が入力され、文字数に合わせた予測候補が表示されます。

3 変換候補欄で「アナウンス」を選ぶ

■ 音声で入力

音声で文字を入力することができます。

1 文字入力画面で[🗣️]

2 マイクに向かって話す

- 次の場合は正しく認識できないことがあります。
 - 声が大きすぎる場合
 - 周囲の雑音が大きき場合
 - 発声が明瞭でない場合
 - 発声が不自然な場合
 - 発声速度が速すぎる場合
 - キーを押したり、マイクを触ったりした場合

■ 文字の編集

入力した文字を選択して切り取りやコピー、貼り付けなどの操作ができます。

1 入力した文字をロングタッチ

2 文字を編集する

- [●]／[●]をドラッグして選択範囲を指定し、文字の切り取りやコピー、貼り付けなどの操作ができます。[すべて選択]をタッチすると、入力した文字をすべて選択できます。
- [履歴から]をタッチすると、切り取りやコピーを行った文字の履歴が表示されます。文字を選択して貼り付けることができます。
 - 切り取りやコピーを行った文字の一覧を表示:[📄]をロングタッチ▶[コピー履歴SH]
- [共有]をタッチすると、選択した文字を他のアプリで利用できます。
- 表示されていないメニューがある場合、[⋮]が表示されます。タッチするとメニューが表示されます。

- 切り取った文字、コピーした文字は合わせて10件まで保存されます。
- 切り取った文字、コピーした文字が最大保存件数を超えた場合は、古い履歴から順に削除されます。
- 利用するアプリによっては、表示されるアイコンや操作方法が異なる場合があります。

着信／充電ランプ

不在着信がある場合や充電中などに着信／充電ランプを点灯／点滅してお知らせします。

表示状態	色	端末の状態
点灯	赤色	充電中(電池残量約94%以下)
点灯	緑色	充電中(電池残量約95%以上)
点滅	赤色	充電ができない状態
点滅	白色	不在着信や新着Y!mobileメールあり

- ディスプレイが表示されている場合は、不在着信や新着Y!mobileメールをお知らせする着信ランプが点滅しません。ステータスバーが表示される画面でお知らせアイコンを確認してください。
- 充電中にフル充電状態になっても、充電ランプは消灯しません。

画面表示／アイコン

画面上部のステータスバーに表示されるアイコンで、端末の状態や不在着信の有無など、さまざまな情報を知ることができます。ステータスパネルを表示させると詳細情報を確認できます。


アイコンの見かた

- 表示されるアイコンには、次の2種類があります。
 - お知らせアイコン: 不在着信や新着メールなどをお知らせします。
 - ステータスアイコン: 電池残量や電波状態など端末の状態を表します。





- お知らせや端末の状態を表すアイコンが複数あり、表示範囲内に表示できない場合は、[・]が表示されます。ステータスパネルを表示して確認してください。


■ 主なお知らせアイコン一覧

: 不在着信あり (☞P.76「通話履歴」)

: 新着メールあり

: 新着メールあり (☞P.83「Eメール」)


: 新着Gmailあり (☞P.85「Gmail™」)

: エラー表示

● 何らかのエラーが発生したときに表示されます。

: データ通信が無効 (☞P.123「データ使用量」)

● データ使用量が上限に達した場合に表示されます。


: アラーム情報あり (☞P.108「アラーム」)


: カレンダーのスケジュール通知あり

電話表示 (☞P.72「電話／電話帳」)

: 発信中／着信中／通話中

: 保留中

: 簡易留守録情報あり (☞P.79「通話の設定」)

: microSDカード表示 (☞P.134「ストレージ」)

: 本体メモリの空き容量低下 (☞P.134「ストレージ」)

Bluetooth表示 (☞P.153「Bluetooth®機能」)

: Bluetooth機器からの登録要求／接続要求あり


: データ受信要求あり

データ送受信表示


: 送信表示

: 受信表示


アプリ表示


: アップデートあり


: アプリのインストール完了


: オープンネットワークあり (☞P.121「Wi-Fiの設定」)


テザリング表示 (☞P.124「テザリング」)

: [USB テザリング]が有効


: [Bluetooth テザリング]が有効

: 複数のテザリングが有効

: VPN接続 (☞P.162「VPNの追加」)


: システム アップデートあり (☞P.172「システム アップデート」)


■ 主なステータスアイコン一覧

: アラーム設定中(☞P.108「アラーム」)

電池残量表示(☞P.127「電池」)

～: 約100%～約6%



: 約5%以下

- 充電中は電池マークに[]が重なって表示されます。
- 電池マークの右に電池残量がパーセントで表示されます。パーセントの表示／非表示は電池の「電池残量」で切り替えられます。

電波状態表示


～*: レベル表示(5段階)

: 圏外


- データ受信中は[]、データ送信中は[]が電波マークに重なって表示されます。
- データ通信中は、電波マークの左側に[4G]などが表示されます。本端末はFDD-LTE (SoftBank 4G LTE) およびAXGP (SoftBank 4G) に対応しており、どちらに接続していても[4G]が表示されます。また、SoftBank 4Gに優先的に接続します。
- 国際ローミング中は、電波マークの左上に[R]が小さく表示されます。


Wi-Fi電波状態表示(☞P.120「Wi-Fi」)

～*: レベル表示(5段階)


: 機内モード中(☞P.120「ネットワークとインターネット」)


: NFC／おサイフケータイ ロック中(☞P.105「NFC／おサイフケータイ ロック」)


: [Reader／Writer, P2P]が有効(☞P.105「NFC／おサイフケータイ 設定」)

: [Wi-Fiテザリング]が有効(☞P.124「テザリング」)

マナーモードのモード表示(☞P.59「マナーモードのモード切替」)


: マナーモード(バイブ)

: マナーモード(ミュート)


: 高度なマナーモード設定中(☞P.59「マナーモードの高度な設定」)

通話中表示(☞P.75「通話中の操作」)

: ハンズフリー通話中


: ミュートに設定中

: Bluetooth通信中(☞P.153「Bluetooth®機能」)




: 位置情報をGPSで測位中(☞P.141「位置情報」)

簡易留守録表示(☞P.79「通話の設定」)

: 簡易留守録設定中で簡易留守録が0件

: 簡易留守録設定中で簡易留守録が1～49件

: 簡易留守録設定中で簡易留守録が50件

* インターネット接続されていないアクセスポイントに接続中は、／のように電波状態表示にが重なって表示されます。

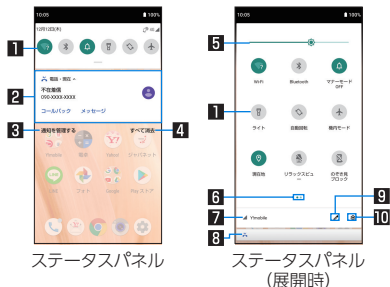
ステータスパネルの利用

1 ステータスバーを下にドラッグ

- ステータスパネルが表示されます。
- ステータスパネルをさらに下にドラッグすると、ステータスパネルが展開され、隠れていた機能ボタンなどが表示されます。
- ステータスバーを2本の指で同時に下にドラッグすると、ステータスパネルが展開された状態で表示されます。

2 ステータスパネルを利用する

■ ステータスパネルの見かた



1 機能ボタン

- マナーモード、Wi-Fi機能、位置情報の使用などについて設定できます。
- ロングタッチすると詳細を設定できる場合があります。
- ステータスパネルを展開しているときは、表示エリアを左右にフリックするとページを切り替えられます。

2 通知詳細情報

- 端末の状態やお知らせの内容を確認できます。
- 詳細情報の種類によっては、次の操作ができます。
 - ・ 対応するアプリの起動や操作: 詳細情報や機能をタッチ
 - ・ 詳細表示/簡易表示の切替: 詳細情報を2本の指で同時に上下にスライド、またはピンチアウト/ピンチイン
 - ・ 詳細情報の消去: 詳細情報を左右にフリック
 - ・ アプリの通知について設定: 詳細情報をロングタッチ
▶ 画面の指示に従って操作

3 通知を管理する

- 通知を表示するアプリが表示されます。
アプリごとに通知を許可するか設定します。

4 すべて消去

- 通知詳細情報とお知らせアイコンを消去します。通知詳細情報の内容によっては消去されない場合があります。

5 明るさ調整バー

- ドラッグすると画面の明るさを調整できます。

6 インジケータ

- 機能ボタン表示エリアのページ枚数と現在の表示位置を表します。

7 通信事業者名

- 接続している通信事業者名が表示されます。

8 隠れている通知詳細情報

- 隠れている通知詳細情報をアイコン表示します。
- ステータスパネルを展開していなくても、隠れている情報がある場合は表示されます。

9 編集

- 機能ボタンの並べ替えや追加、削除ができます。

10 設定

- 「設定」アプリを起動します。

- アプリによっては、通知を受信した際に、ステータスパネルで発信や返信操作などを行えるものがあります。通知詳細情報を詳細表示にし、画面の指示に従って操作してください。

■ マナーモードのモード切替

公共の場所などで、端末の音を周囲に出さないように設定します。

1 ステータスパネルで[マナーモード]をタッチしてモードを選ぶ

- 設定するマナーモードが表示されるまで繰り返しタッチします。

■ マナーモードの高度な設定

利用シーンに合わせたマナーモードを設定します。

1 ステータスパネルで[マナーモード]をロングタッチ▶[高度なマナーモード]

2 項目を選択

- **着信音とバイブレーション**: [アラーム] / [メディア] / [タッチ操作音]のそれぞれの音やバイブレータが鳴動するか設定します。
- **通知**: 通知が届いた場合の動作を設定します。
- **通話**: 着信した場合の例外動作を設定します。
- **メッセージ、予定、リマインダー**: メッセージ / 予定 / リマインダーの通知が届いた場合の例外動作を設定します。
- **期間**: [高度なマナーモード]がOFFになるまでの期間を設定します。[自動的に ON]が設定された場合は[自動的に ON]の設定に従います。
- **自動的に ON**: [高度なマナーモード]のON/OFFが自動的に切り替わるルールを設定します。

3 [今すぐONにする]

- [高度なマナーモード]がONになり、設定した項目の内容に合わせて動作します。[今すぐOFFにする]をタッチすると解除されます。

- マナーモード設定中も、次の音は鳴ります。
 - 静止画撮影時のシャッター音
 - 静止画撮影時のフォーカスロック音
 - 動画撮影時の開始音/停止音
- 簡易留守録設定が[マナーモード連動]に設定されている場合、マナーモードが設定されているときは簡易留守録が有効になり、簡易留守録の設定に従って動作します。

アプリ使用履歴

最近使用したアプリの履歴を表示し、アプリを起動することができます。

1 ナビゲーションバーを画面中央付近まで上にスワイプ

- ナビゲーションバーを右にドラッグ▶左右にドラッグし、起動するアプリを画面中央に表示したあと指を離すと、起動したいアプリを素早く表示できます。

2 履歴を利用する



1 アプリの使用履歴

- タッチするとアプリを起動できます。
- 上にフリックすると履歴を削除できます。
- 履歴を右にフリックし、[すべてクリア]をタッチすると、アプリの使用履歴をすべて削除できます。

2 お気に入りトレイ

- アプリや機能のショートカットを起動できます。
- お気に入りトレイについては(☞P.64「AQUOS Homeの見かた」)
- お気に入りトレイを上フリックするとアプリ一覧画面を表示できます。

3 アプリアイコン

- タッチするとアプリ情報の確認や分割画面(☞P.61「マルチウィンドウ」)、画面の固定が利用できます。
- 画面の固定を利用するには[画面の固定]をONに設定します(☞P.135「セキュリティと現在地情報」)。
- アプリアイコンをタッチ▶[固定]と操作すると選択したアプリ以外を使用できないようになります。
 - 画面の固定を解除:[<] + [■]をロングタッチ

- アプリによっては履歴に表示されない場合があります。
- 起動中のアプリの履歴を消去すると、アプリを終了することができます。

マルチウィンドウ

上下に分割された画面で、2つのアプリを同時に利用することができます。

1 ナビゲーションバーを画面中央付近まで上にスワイプ

2 各履歴のアプリアイコンをタッチ▶[分割画面]

- 画面が上下に分割され、選択したアプリが上側に配置され、下側にはアプリ使用履歴が表示されます。

3 画面下側で利用するアプリの使用履歴を選択

- アプリの使用履歴に利用するアプリが表示されていない場合は、お気に入りトレイやホーム画面から選択してください。



■ セパレータ

- 上／下にフリックすると、下側／上側のアプリが全画面になります。マルチウィンドウは終了します。
 - 表示サイズ(※P.128「ディスプレイ」)を[小]に設定している場合は、上／下にドラッグして上下の画面サイズを変更することができます。
- ご使用のアプリによっては、マルチウィンドウで利用できない場合があります。
- マルチウィンドウ表示中は、ホーム画面やアプリ一覧画面が画面下側に分割表示され、上側のアプリを表示したまま下側に表示するアプリを切り替えることができます。

アプリ初回起動時の確認画面について

アプリをはじめて起動したときは、動作についての確認画面が表示され、設定が必要になります。

- アプリによって、表示される確認画面の種類や内容は異なります。ここでは、「アプリに必要な許可」「電池の最適化」の2種類の確認画面について説明します。
- アプリによっては、特定の機能をはじめて利用するときに確認画面が表示される場合があります。

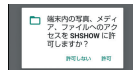
アプリに必要な許可

アプリが端末のデータやカメラなどを利用することを許可します。

- 機能の利用を許可しなかった場合、アプリが正常に動作しないことがあります。

例:SHSHOWを起動したとき

1 [許可しない]／[許可]



- 通常は[許可]を選択し、機能の利用を許可してください。
- 利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

■ 利用する機能について設定

利用する機能について、次の手順で設定することもできます。

アプリごとに利用する機能を設定

- 1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [アプリと通知]
- 2 [XX個のアプリをすべて表示] ▶ アプリを選ぶ ▶ [権限]
- 3 機能を選ぶ

機能ごとに利用を許可するアプリを設定

- 1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [アプリと通知] ▶ [詳細設定] ▶ [アプリの権限]
 - [詳細設定]は使用状況などにより、表示されない場合があります。
- 2 機能を選ぶ
- 3 アプリを選ぶ

電池の最適化

電池の最適化を行うと、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しないように設定されます。

- アプリによっては、起動時や機能の設定時に「電池の最適化」の確認画面が表示される場合があります。通常は電池の最適化をしないでください。最適化を行うとアプリが終了する場合があります。
- 電池の最適化を行った場合、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しません。アプリ/機能が利用できないなど、意図しない現象が発生することがあります。

■ 電池の最適化の設定

電池の最適化について、次の手順で設定することもできます。

- 1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [アプリと通知] ▶ [詳細設定] ▶ [特別なアプリアクセス] ▶ [電池の最適化]
 - 最適化していないアプリの一覧が表示されます。
- 2 [最適化していないアプリ] ▶ [すべてのアプリ]
- 3 アプリを選ぶ ▶ [最適化する] / [最適化しない] ▶ [完了]

ホーム画面

ホーム切替

利用するホームアプリを切り替えます。

- お買い上げ時は、端末に次のホームアプリが登録されています。
 - AQUOS Home
ウィジェット／ショートカットを配置するデスクトップシート、アプリが一覧表示されるアプリシート、お気に入りアプリのショートカットを登録できるお気に入りトレイで構成されたホームアプリです。
 - AQUOSかんたんホーム
アイコンと文字が大きく表示されるホームアプリです。
 - ウィジェット／ショートカットを配置するホーム画面、アプリが表示されるアプリ一覧画面で構成されます。
 - ホーム画面右下の[アプリ一覧]をロングタッチすると、壁紙変更／ウィジェット追加／ホームの設定を行うメニューを利用できます。
 - よく連絡する相手をホーム画面下部の楽ともリンクに登録することができます。

1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [ホーム切替]

2 ホームアプリを選ぶ

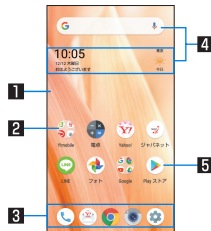
AQUOS Home

AQUOS Homeは、ホーム画面(デスクトップシート／お気に入りトレイ)とアプリ一覧画面で構成されたホームアプリです。ホーム画面のデスクトップシートにはアプリ／機能のショートカット／ウィジェット、お気に入りトレイにはアプリ／機能のショートカットを登録することができます。アプリ一覧画面にはインストールされているアプリが表示されます。

AQUOS Homeの見かた

ホーム画面を上をスワイプするとアプリ一覧画面に切り替わります。

- ホーム画面を軽く上にスワイプした場合は、アプリ使用履歴画面に切り替わります。アプリ使用履歴画面の下部を上をスワイプすると、アプリ一覧画面に切り替わります。
 - アプリ一覧画面で一番上を表示した状態で下をスワイプすると、1つ前の画面に戻ります。



ホーム画面



アプリ一覧画面

1 デスクトップシート

- 左右フリックするとページを切り替えることができます。

2 フォルダ

- フォルダをタッチ▶フォルダ名を選ぶと、フォルダ名を変更できます。フォルダ名が未設定のときは、[名前のないフォルダ]と表示されます。フォルダをタッチしてインジケータが表示されている場合は、左右フリックするとページを切り替えることができます。

3 お気に入りトレイ

- お気に入りのアプリや機能のショートカットを登録して、すばやく起動させることができます。

4 ウィジェット

- Googleウィジェットでは、検索ボックスが表示されません。タッチすると、Google™ 検索を起動できます (参照P.48「端末内やサイトの情報の検索」)。
- 時計エモパーウィジェットでは、日付や時刻、天気とあわせて、コメントが表示されます。タッチするとエモパーを起動できます。

5 アプリ

6 アプリを検索

- インストールされているアプリの検索などができます。[他のアプリを検索]をタッチすると、Google Playで検索できます (参照P.102「Play ストア」)。

ホーム画面の管理

■ アプリ／ウィジェット／フォルダの移動

1 ホーム画面／アプリ一覧画面▶アプリ／ウィジェット／フォルダをロングタッチ

2 移動する位置にドラッグして、指を離す

- 各デスクトップシートの左右端までドラッグすると、ページを移動できます。また、最終ページの右端にドラッグすると、新しいページを追加できます。
- ホーム画面のアプリ／ウィジェット／フォルダを [削除] までドラッグするとホーム画面から削除できます。ホーム画面／アプリ一覧画面のアプリを [アンインストール] までドラッグするとアンインストールできます。

- ホーム画面のアプリを削除してもアプリはアンインストールされません。
- アプリ一覧画面のアプリをロングタッチして [ホーム画面に追加] までドラッグすると、ホーム画面の任意の位置にアプリを登録できます。

■ ウィジェットの登録

1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[ウィジェット]

2 追加するウィジェットをロングタッチ

- ホーム画面が表示されます。

3 追加する位置にドラッグして、指を離す

機能のショートカットの利用

1 ホーム画面／アプリ一覧画面▶アプリをロングタッチして、指を離す

2 機能のショートカットを選ぶ

- 利用できる機能のショートカットはアプリによって異なります。
- 機能のショートカットをロングタッチ▶登録する位置にドラッグして、指を離すとホーム画面に機能のショートカットを登録できます。

壁紙の設定

1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[壁紙]

2 アプリを選ぶ

- [ロックフォトシャッフル] をONに設定すると、ディスプレイを表示させるたびにタッチパネルのロック画面の画像が自動的に切り替わるよう設定できます。

3 設定する壁紙を選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

ホーム画面の設定





1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[ホームの設定]







2 項目を選ぶ









- **通知ドット**: アプリの通知について設定します。
 - ・ [通知ドットの許可] をONにすると、アプリに通知がある場合にアプリのアイコンの右上に通知ドットが表示されます。
- **通知ドットに件数表示**: 通知ドットを利用している場合に件数を表示するか設定します。
- **ホーム画面にアイコンを追加**: 新しいアプリをダウンロードしたときにホーム画面にアプリのアイコンを追加するか設定します。
- **Google アプリの表示**: ホーム画面の一番左のページを右にフリックしたときに、天気やニュースなどの情報を表示するか設定します。
- **ホーム画面の回転を許可**: 本端末の方向に応じて、ホーム画面を自動回転させるかどうかを設定します。








アプリ一覧









- アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。
- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み(有料)が必要となるものがあります。
- インストールされているアプリは次のとおりです。その他、通信事業者提供のアプリがインストールされています。

アイコン	アプリ	概要
	アシスタント	Google アシスタントを起動します。
	あんしんフィルター	お子さまを不適切なサイトや有害アプリから守り、安全にスマートフォンやタブレットが利用できるようにサポートします。 ご利用にはあんしんフィルターのサービスに加入する必要があります。
	エモパー	あらかじめ登録したお客様の情報やお客様の日常の行動に基づき、タッチパネルのロック画面でさまざまな情報を設定に基づいてお伝えします (☞P.112「エモパー」)。
	おサイフケータイ	複数の登録済みおサイフケータイ対応サービスを、一覧で表示できるアプリです。おすすめサービスの登録や登録済みサービスの残高、ポイントの確認もできます (☞P.104「おサイフケータイ対応サービス」の利用)。

アイコン	アプリ	概要
	カメラ	カメラで撮影します(☞P.89「カメラについて」)。
	からだメイト	歩数や体重などを記録することができます。歩数や体重の履歴をグラフで表示して、日別/月別で比較することもできます(☞P.116「からだメイト」)。
	カレンダー	スケジュールを管理します(☞P.110「カレンダー」)。
	かんたん設定※1	Y!mobileサービスの初期登録や各Yahoo! JAPANアプリの設定を簡単に行えるアプリです。
	緊急速報メール	気象庁が配信する「緊急地震速報」「津波警報」および「特別警報」、国・地方公共団体が配信する「災害・避難情報」などを、対象エリアにいるお客さまにブロードキャスト(同報)配信するサービスです。「緊急速報メール」を受信した携帯電話は、自動でメッセージが表示され、回線混雑の影響を受けずに受信することができます。
	災害用伝言板	震度6弱以上の地震など、大規模災害が発生した場合に、安否情報の登録、確認、削除ができます。また、あらかじめ設定したeメールアドレスに対して、安否情報が登録されたことを自動送信することができます。

アイコン	アプリ	概要
	ジャパネット	24時間TVショッピングが楽しめる「ジャパネットたかた」が提供する公式通販アプリです。TVショッピング、カタログ、チラシ、WEB掲載商品が簡単にお買い物できます。
	設定	端末の各種設定をします(☞P.119「設定メニュー」)。
	電卓	電卓を利用します(☞P.112「電卓」)。
	電話	電話の利用や、通話の設定をすることができるアプリです(☞P.72「電話/電話帳」)。
	電話帳	電話帳を利用します(☞P.80「電話帳」)。
	時計	アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用します(☞P.108「時計」)。
	ドライブ	画像や動画などをGoogle ドライブ™に保存したり、共有したりすることができます。
	ニュース	Google ニュース™は、あなたの関心に合わせて、世界中の出来事を整理してお届けするスマートなニュースアプリです。

アイコン	アプリ	概要
	フォト	静止画や動画を表示・編集したり、管理することができます(☞P.99「フォト」)。
	ポッドキャスト	Google ポッドキャストは、Android™ユーザー向けの新しいポッドキャストプレーヤーです。
	マップ	現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます(☞P.107「マップ」)。
	メール※1	Y!mobile メールは、ワイモバイル公式メールアプリです。Y!mobile メールアドレス(@yahoo.ne.jp)に加え、SMS/MMS、Yahoo!メール、Gmail™ など複数のメールアカウントもまとめてご利用いただけます。
	メール	メールを利用できます(☞P.83「Eメール」)。
	リモートサポート	ケータイなんでもサポートにご加入いただいた方向けのアプリです。このアプリをご利用することでお客様の端末の画面を共有しながら、操作や設定などのサポートを受けることができます。
	レンズ	カメラや写真を使って目の前にあるものを検索したり、作業を効率化したり、周囲のものについて調べたりすることができます。

アイコン	アプリ	概要
	Chrome	パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示します(☞P.86「Chrome」)。
	COCORO BOOKS※2	新聞や雑誌、書籍などの電子書籍を購入、閲覧できます。
	Duo	ビデオ通話を利用します。
	Files	本体メモリやmicroSDカードの画像・動画・オーディオ・ダウンロードしたデータなどのコンテンツを管理することができるアプリです。
	Gmail	Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます(☞P.85「Gmail™」)。
	Google	クイック検索ボックスを利用します(☞P.48「端末内やサイトの情報の検索」)。
	Google One	Google One™はストレージを拡張するシンプルなプランです。Googleを有効に活用していただける特典も含まれています。
	Google Pay	Google Payでは、買い物に必要な情報をスマートフォンに保存しておくことができます。

アイコン	アプリ	概要
	LINE	いつでも、どこでもかんたんにトーク(チャット)・音声通話・ビデオ通話が楽しめるコミュニケーションアプリです。LINEユーザー同士であれば、個人間はもちろん、複数人でも利用することができます。トークでは、テキスト・スタンプ・写真・動画などを送ることができます。
	My Y!mobile※1	Y!mobileをご契約のお客さま向けのオンラインサポートサービス【My Y!mobile】に簡単にアクセスできるアプリです。
	OfficeSuite	OfficeSuiteを利用します。 ● 対応しているファイルについては、ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶「ツール」▶「OfficeSuite」▶ [≡]▶「ヘルプとフィードバック」▶「ヘルプ」と操作して、ヘルプを参照してください。
	PayPay	スマホでかんたんお支払い。コンビニや飲食、家電量販から宿泊まで、日々のお買い物で使える、お得で便利なQRコード決済サービス「PayPay」を是非ご利用ください。
	Play ストア	Google Playを利用します(☞P.102「Play ストア」)。

アイコン	アプリ	概要
	Playムービー&TV	映画をレンタルしたり、視聴したりすることができます。
	SHSHOW	AQUOSスマートフォン/タブレットを使いこなすための各種情報やコンテンツを紹介するアプリです。
	Y!バックアップ※1	写真や動画、連絡先など大切なデータを簡単にバックアップします。
	Yahoo!	Yahoo! JAPANアプリでは、厳選ニュースやスポーツ、芸能、天気予報など、毎日豊富にする情報をお届けします。検索や災害情報のプッシュ通知など、便利な機能も。スマートフォンでも、ぜひYahoo! JAPANをご活用ください。
	YouTube	YouTubeを利用します(☞P.108「YouTube」)。
	YT Music※3	音楽を再生します。

- ※1 操作方法について詳しくは、「活用ガイド」をご参照ください。
- ※2 ご利用には、無料会員登録が必要です。
- ※3 本端末はハイレゾオーディオの再生に対応しています。ハイレゾ音源を再生するには、ハイレゾに対応した市販のヘッドセットやスピーカーが必要です(イヤホンマイク端子からの出力に対応しています)。
- アプリによっては、初回起動時にダウンロードが必要な場合があります。アプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

- インストールされているアプリの中には、アンインストールできるものもあります。アンインストールしたアプリはPlay ストア (P.102「Play ストア」) などから再度ダウンロードできる場合があります。

電話／電話帳

電話や電話帳を利用したり、通話や通話音声メモ・簡易留守録、着信時の動作などについて設定できます。

電話をかける

- 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。

1 ホーム画面▶[📞]

2 [📞]▶電話番号を入力

- 同一市内でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号の前に「186」／「184」を付けると、その発信に限り番号通知／番号非通知に設定して発信できます。



1 新しい連絡先を作成

- 入力した電話番号を電話帳に新規登録します。

2 連絡先に追加

- 入力した電話番号を電話帳に追加登録します。

3 SMSを送信

- 入力した電話番号を宛先にしてSMSを作成します。

4 メニュー

- 2秒間の停止や待機を追加できます。

5 キーパッド

6 発信

- 電話をかけます。また、発信履歴がある場合、電話番号未入力の際にタッチすると最新の発信履歴が入力されます。

7 電話番号入力欄

8 削除

- 最後に入力した数字を1桁削除します。ロングタッチすると、すべての数字を削除します。電話番号入力欄をタッチしてカーソルを表示した場合は、カーソル左側の数字を1桁削除します。

3 [📞]

4 通話が終了したら[📞]

- 髪の毛の上から受話口を当てて通話すると、近接センサーが正常に動作しないことがあります。画面が点灯したままとなり、誤って画面に触れることによって、通話が切れる場合があります。

VoLTE/VoLTE(HD+)について

VoLTE (Voice over LTE) とは、LTEを利用した音声通話システムです。従来の3G回線での音声通話と比べて、より高音質な通話や呼び出し音が鳴るまでの時間の短縮などが可能になります。またVoLTE (HD+)は、従来のVoLTEよりも、より肉声に近いクリアな音質の通話をご利用いただけます。

- VoLTE/VoLTE (HD+)はそれぞれ、ソフトバンク/ワイモバイルのVoLTE対応機、VoLTE (HD+) 対応機との間で利用できます。また、本端末/相手機共に、SoftBank 4G LTE (FDD LTE) サービスエリア内にいること、「4G (推奨)」(P.122「優先ネットワークタイプの設定」)および「4G 拡張モード」(P.122「モバイル ネットワーク」)設定が有効であること、の両方を満たすことが必要です。
- VoLTE国際ローミングの対象国・地域については次のサイトを参照してください。
<https://www.softbank.jp/mobile/service/global/overseas/other-services/volte/>

ブッシュ信号の入力

電話番号に続いて停止(,) / 待機(;)を入力すると、銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、メインの電話番号と追加番号を同時に発信できます。

■ 2秒間の停止を追加

メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に2秒間一時停止してから、追加番号をダイヤルします。

1 ホーム画面▶[📞]▶[🔴]

2 電話番号を入力▶[::]▶[2秒間の停止を追加]

3 送信する番号を入力▶[📞]

■ 待機を追加

メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に待機し追加番号の送信確認画面が表示されます。[はい]をタッチすると追加番号をダイヤルします。

1 ホーム画面▶[📞]▶[🔴]

2 電話番号を入力▶[::]▶[待機を追加]

3 送信する番号を入力▶[📞]

4 通話中に[はい]

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 日本国内では、SIMカードを取り付けないと緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- 緊急通報位置通知について
緊急通報を行うと、お客様が発信した際の位置情報を緊急通報受理機関(警察など)へ通知します。このシステムを「緊急通報位置通知」といい、受信している基地局測位情報を元に算出した位置情報を通知します。
 - お申し込み料金、通信料は一切かかりません。
 - お客様の発信場所や電波の受信状況によっては、正確な位置が通知されないことがあります。必ず口頭で、緊急通報受理機関へお客様の発信場所や目的をお伝えください。
 - 「184」を付けて発信するなど、発信者番号を非通知にして緊急通報を行ったときは、位置情報は通知されません。ただし、人命などに差し迫った危険があると判断したときは、緊急通報受理機関がお客様の位置情報を取得することがあります。
 - 国際ローミングを使用しているときは、位置情報は通知されません。

- 着信拒否を設定した状態で緊急通報を発信したとき緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否設定は自動的に約2時間解除されます。緊急通報後、次の操作で解除された着信拒否設定を元に戻すことができます。
ホーム画面▶[(C)]▶[⋮]▶[設定]▶[着信のブロック]▶[着信拒否設定を元に戻す]▶[はい]

電話を受ける

- 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴る
- 2 電話を受ける



1 応答

- 上にスワイプすると、電話を受けます。
- 下にスワイプすると、着信を拒否します。

2 クイック返信

- スワイプすると、着信を拒否し、選択したメッセージをSMSとして相手に送信します。

3 メニュー

- 利用できる機能(メニュー)を表示します。

- 3 通話が終了したら[]

■ ディスプレイを表示中に電話を受ける

タッチパネルのロック画面以外の画面を表示中に電話がかかってくると、着信通知が表示されます。通知を利用して電話を受けることができます。

- 1 電話がかかってくると、画面上部に着信通知が表示される

- 2 [電話に出る]

- 着信通知をタッチすると、着信画面を表示できます。各アイコンを操作してください。

通話中の操作

通話中は利用状況に応じてハンズフリーの利用や通話音量の調節などの操作ができます。



- 1 相手の名前や電話番号

- 2 キーパッド

- プッシュ信号の入力ができます。

- 3 ミュート

- 通話中の電話をミュート/ミュート解除にします。

- 4 通話を追加

- 通話中の電話を保留にして、別の相手に発信します。

- 5 終了

- 通話を終了します。

- 6 スピーカー/音声

- ハンズフリーで通話ができます。
- Bluetooth機器を接続している場合は音声の出力先を設定します。

7 保留

- 通話を保留します。保留を解除するには、もう一度タッチします。

8 メニュー

- 利用できる機能(メニュー)を表示します。

- ハンズフリーで通話するには次の内容にご注意ください。
 - 送話口から約20~40cmが最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が届かないなど良好な通話ができないことがあります。
 - 屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所で通話を行うときは、イヤホンマイクをご利用ください。
 - ハンズフリー通話中、音が割れて聞き取りにくいときは、通話音量を下げてください。

■ 通話音量調節

1 通話中に[+] / [-]

■ 通話音声メモ

音声通話中に通話音声メモを録音します。

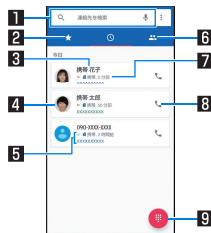
1 通話中に[メニュー] ▶ [通話音声メモ]

2 [停止]

通話履歴

- 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。

1 ホーム画面 ▶ [📞] ▶ [🕒]



1 検索欄

- 連絡先を検索できます。
 - [🔍]をタッチすると、音声検索もできます。

2 クイックアクセス

- タッチするとクイックアクセス一覧画面を表示します。




3 相手の名前 / 電話番号

- タッチすると、電話帳への登録やSMSの送信、通話履歴の詳細の確認などを行うことができます。
- ロングタッチすると、番号のコピーや番号を編集して発信することができます。

4 電話帳に登録している画像

- タッチすると電話帳に登録している内容の一部が表示されます。
- 上にスライドすると登録内容を確認でき、下にスライドすると通話履歴一覧画面に戻ります。

5 発着信状態アイコン

- 発信:[
- 着信:[
- 不在着信/着信の拒否:[

6 連絡先

- タッチすると連絡先一覧画面を表示します。

7 発信日時

8 発信アイコン

- タッチすると発信します。

9 ダイヤルアイコン

- ダイヤル画面を表示します。

■ 通話履歴の詳細表示

すべての通話履歴一覧と不在着信の通話履歴一覧を切り替えて確認できます。また、通話履歴をすべて削除できます。

1 ホーム画面▶ []▶ [:]▶ [通話履歴]

2 [すべて]/[不在着信]

- []▶ [通話履歴を消去]▶ [OK]と操作すると、通話履歴を消去できます。

通話履歴の利用

1 ホーム画面▶ []▶ []

2 履歴をロングタッチ

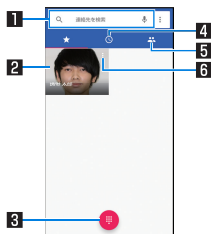
3 項目を選ぶ

- **番号をコピー**:電話番号をコピーします。
- **発信前に番号を編集**:ダイヤル画面に電話番号が入力されます。番号を編集して発信などが行えます。
- **番号をブロック**:指定した電話番号からの着信とSMS受信を拒否します。
 - 番号は[電話番号指定]に登録されます(☞P.79「着信拒否を設定」)。
 - ブロックしている連絡先を選択した場合は、[番号のブロックを解除]が表示され、[電話番号指定]の登録を解除できます。
- **削除**:履歴を削除します。

クイックアクセス

よく使う連絡先を自動的に表示します。また、お気に入りに登録した連絡先も表示されます。

1 ホーム画面 ▶ [📞] ▶ [★]



1 検索欄

- 連絡先を検索できます。
 - [🔍]をタッチすると、音声検索もできます。

2 電話帳に登録している画像

- タッチすると発信します。
- ロングタッチして[削除]までドラッグすると、電話帳のお気に入りの解除またはよく使う連絡先を非表示にできます。

3 ダイヤルアイコン

- ダイヤル画面を表示します。

4 通話履歴

- タッチすると通話履歴一覧画面を表示します。

5 連絡先

- タッチすると連絡先一覧画面を表示します。

6 連絡先のメニュー

- タッチすると電話帳に登録している内容の一部が表示されます。
- 上にスライドすると登録内容を確認でき、下にスライドするとクイックアクセス一覧画面に戻ります。

■ よく使う連絡先の消去

よく使う連絡先を消去します。

- お気に入りに登録した連絡先は消去されません。
- クイックアクセスによく使う連絡先が表示されていない場合は消去できません。

1 ホーム画面 ▶ [📞] ▶ [⋮] ▶ [よく使う連絡先のクリア] ▶ [OK]

通話設定

簡易留守録など、通話について設定します。

1 ホーム画面▶[☎]

2 [:]▶[設定]

3 項目を選ぶ

- **音とバイブレーション**:着信時の音やバイブレータなどについて設定します。
- **クイック返信**:クイック返信に使用する文章を編集します。
- **通話**:通話についてはP.79「通話の設定」
- **着信のブロック**:着信をブロックする電話番号を設定します。
- **ボイスメール**:ボイスメールについて設定します。
- **電話アプリについて**:電話アプリのバージョンやオープンソース ライセンスなどを表示します。

■ 通話の設定

1 ホーム画面▶[☎]

2 [:]▶[設定]▶[通話]

3 項目を選ぶ

- **その他の設定**:発信者番号表示について設定します。
- **簡易留守録**:簡易留守録や通話音声メモについて設定します。
- **プレフィックス**:プレフィックス番号の編集や、発信時のプレフィックス付与について設定できます。

- **SoftBank通話設定**:国際発信設定 (P.165「海外発信アシスト機能」)や着信拒否 (P.79「着信拒否を設定」)、サブアドレスについて設定できます。
- **通話サービス設定**:発信規制、着信規制、留守番電話・転送電話、割込通話について設定します。

■ 着信拒否を設定

1 ホーム画面▶[☎]

2 [:]▶[設定]▶[通話]

3 [SoftBank通話設定]▶[着信拒否]

4 項目を選ぶ

- **電話番号指定**:指定した電話番号からの着信とSMS受信を拒否します。
 - [番号を追加]をタッチすると、着信を拒否する番号を登録できます。
 - 登録済みの項目の[X]▶[ブロックを解除]と操作すると、登録済みの項目を解除できます。
- **非通知着信**:非通知設定の着信を拒否するか設定します。

電話帳

連絡先の管理やプロフィールの確認を行うことができます。

電話帳の登録

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[電話帳]

2 [●]

- 連絡先についての確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アカウントを設定している場合、アカウントに登録されます。

3 各項目を設定

- 登録できる情報はアカウントの種類によって異なります。
- 各項目を設定すると、[X]が表示されます。[X]をタッチすると削除できます。



1 画像

- 発着信時や連絡先確認時に表示する画像を登録します。

2 保存先

- 登録するアカウントを設定します。
- 複数のアカウントを設定している場合は、[▼]をタッチして登録するアカウントを選択してください。

3 名前

- [▼]をタッチすると、敬称やミドルネームを登録できます。

4 電話番号

5 メールアドレス

6 その他の項目

- 会社や誕生日などの情報を登録します。

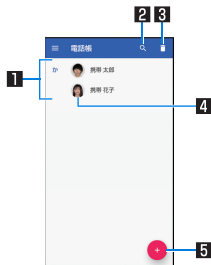
4 [保存]

電話帳の確認／利用

登録した連絡先を呼び出して電話をかけたリ、メールを送信したりできます。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[電話帳]

2 名前を選ぶ



1 連絡先

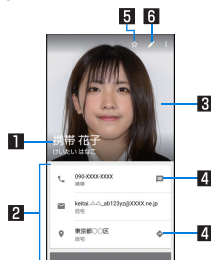
2 検索アイコン

3 削除

4 画像

5 新規作成アイコン

3 登録情報を確認／利用する



1 名前

2 登録内容

- 登録内容を確認／利用できます。

3 画像

4 アクションアイコン

- [☎]: 選択した電話番号を宛先としてSMSを作成します。
- [📍]: 現在地から選択した住所までの経路情報を表示します。

5 お気に入り登録／解除

6 編集

■ 連絡先の設定

連絡先のリンク (複数の連絡先の登録内容を、1つの連絡先にまとめる) や削除、共有、ショートカットの作成、着信音の設定などができます。

1 ホーム画面 ▶ 「アプリ一覧画面」を表示 ▶ [電話帳]

2 名前を選ぶ

3 [⋮] ▶ 機能を選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

電話帳を設定

1 ホーム画面 ▶ 「アプリ一覧画面」を表示 ▶ [電話帳]

2 [☰] ▶ [設定]

3 項目を選ぶ

- **ユーザー情報**: ユーザー情報を入力します。
- **アカウント**: アカウントについては [P.41](#) 「Googleなどのアカウントの設定を行う」
- **新しい連絡先のデフォルト アカウント**: 連絡先を登録するアカウントを設定します。
- **表示する連絡先**: 表示する連絡先について設定します。
- **インポート**: 電話帳のバックアップデータを読み込みます。
- **エクスポート**: 電話帳のバックアップデータを保存し、メール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスにアップロードしたりできます。

- **ブロックした番号**: 指定した電話番号からの着信とSMS受信を拒否します。
 - 以降の操作について詳しくは、「着信拒否を設定」([P.79](#))の「電話番号指定」をご参照ください。
- **電話帳について**: 電話帳アプリのバージョンやオープンソースライセンスなどを表示します。

メール／ウェブブラウザ

E-mailやGmailなどを利用して、メッセージを送受信したり、Chromeを利用してサイトを表示したりできます。

Eメール

サービスプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、メールの送受信ができます。

メールのアカウントの設定

- 利用するアカウントによっては、設定する項目などが異なる場合があります。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[ツール]▶[メール]

- アカウントが設定されていない場合のみ、アカウント設定画面が表示されます。

2 メールアドレスを入力▶[▶]

3 パスワードを入力▶[▶]

- いくつかのメールアカウントについてプロバイダ情報がプリセットされており、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定が自動で行われます。
- プロバイダ情報がプリセットされていないアカウントの場合は、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定を手動で行う必要があります。設定については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

4 アカウントを設定する▶[▶]

5 アカウントの名前、あなたの名前を入力▶[▶]

メールの送信

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[ツール]▶[メール]

2 [🔍]

- 複数のアカウントを設定している場合は、送信アカウントを切り替えられます。アカウントをタッチし、送信アカウントを選択してください。

3 宛先を入力

- 電話帳に登録してあるメールアドレスや名前の一部を入力すると、宛先の候補が表示されます。
- Cc/Bcc入力欄の追加:宛先入力欄の[✓]をタッチ

4 件名、本文を入力

- ファイルの添付:[📎]▶[ファイルを添付]▶添付するファイルを選ぶ

5 [📧]

- 受信側の機種によっては件名をすべて受信できないことがあります。
- Gmailのアカウントで送信したメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信側の機種がパソコンからのメール受信拒否を設定している場合、メールを送信できません。






- 何らかの原因で送信できなかったメールは、未送信メールとして送信失敗フォルダに保存されます。
- 電波状況などにより、受信側で文字が正しく表示されないときがあります。

ファイルの添付について


- 最大約5Mバイトまでのファイルを添付できます。添付できる個数に制限はありません。
- 受信側の端末によっては、受信できなかったり、正しく表示・再生できなかったりすることがあります。また、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されたりすることがあります。

メールの表示

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[ツール]▶[メール]

- 未読のメールは、送信元や件名が太字で表示されます。
 - ・ 既読／未読の切替:メールの画像をタッチ▶／
- フォルダやアカウントの切替:▶フォルダやアカウントを選ぶ
- メールを検索:▶キーワードを入力▶
- スターを付ける／外す:[☆]／[★]
 - ・ 特別なメールやあとで対応する必要があるメールの目印として利用できます。
 - ・ スターを付けたメールは、スター付きフォルダで確認することができます。

2 メールを選ぶ

- 送信元の画像をタッチすると、電話帳の登録情報が表示されます。電話帳に登録されていない相手の場合は、電話帳に登録することができます。
- 送信元や宛先、受信日時の詳細を表示／非表示:[詳細を表示]／[詳細を表示しない]
- メールを未読に設定:
- [:]をタッチすると、メールごとに全員に返信や転送、印刷することができます。

メールの返信／転送

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[ツール]▶[メール]

2 メールを選ぶ

3

- 全員に返信:各メールの[:]▶[全員に返信]
- 転送:各メールの[:]▶[転送]

4 メールを作成

- 返信種別の切替:[返信]／[全員に返信]／[転送]▶返信種別を選ぶ
- 返信時に送信元のメールを表示／非表示:[元のメッセージ]
- 送信元のメールを引用:[引用返信]

5

メールの削除

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[ツール]▶[メール]

- メールの選択削除:メールの画像をタッチ▶[]▶[OK]

2 メールを選ぶ

3 []▶[OK]

メールの設定

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[ツール]▶[メール]

2 []▶[設定]

3 項目を選ぶ

- 全般設定**:メール全般について設定します。
- アカウントを追加**:アカウントの追加ができます。
- プライバシーポリシー**:プライバシーポリシーを確認できません。
- アカウントを選ぶと、署名や同期頻度など、各アカウントの詳細について設定できます。

Gmail™

Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- GoogleアカウントやEメールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。
- Gmailについて詳しくは、Gmail画面で[≡]▶[ヘルプとフィードバック]と操作して、ヘルプを参照してください。


1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[Google]▶[Gmail]

2 []

3 宛先を入力

- Cc/Bcc入力欄の追加:宛先入力欄の[▽]をタッチ

4 件名、本文を入力

- ファイルの添付:[]▶ファイルの添付方法を選ぶ▶添付するファイルを選ぶ

5 []

メールの表示

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[Google]▶[Gmail]

2 メールを確認する

Chrome

パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示できません。

サイトの表示

1 ホーム画面 ▶ [🌐]

- サイトによっては、正しく表示されない場合があります。

■ サイトの検索

1 URL入力欄をタッチ



2 キーワードを入力 ▶ キーワードを選ぶ

- 入力した文字を含むキーワードを一覧表示します。
- キーワードを最後まで入力して [実行] でも検索できます。
- ページの再読み込み: Chrome画面で [⋮] ▶ [🔄]

■ 新しいタブを開く

1 Chrome画面で [⋮] ▶ [新しいタブ]

■ タブの切替

1 Chrome画面で [🔢]

- アイコン内の数字は、開いているタブの件数によって異なります。

2 タブを選ぶ

■ タブを閉じる

1 Chrome画面で [🔢] ▶ [✕]

- アイコン内の数字は、開いているタブの件数によって異なります。

■ シークレット タブを開く

閲覧履歴や検索履歴を残さずにサイトを表示できます。

1 Chrome画面で [⋮] ▶ [新しいシークレット タブ]

- シークレット タブで表示中はURL入力欄の周囲が灰色で表示されます。

2 URL入力欄をタッチ ▶ キーワードを入力 ▶ [実行]

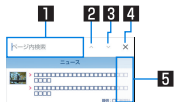
- シークレット タブを閉じる: Chrome画面で [🔢] ▶ [✕]

- シークレット タブで表示したサイトはChromeの履歴には残りません (P.88「履歴からのサイト表示」)。また、シークレットタブをすべて閉じると、Cookieなどの記録も削除されます。シークレットタブでもファイルのダウンロードやブックマークの登録は行えます。

■ ページ内の文字の検索

1 Chrome画面で[:]▶[ページ内検索]

2 検索する



1 キーワード入力欄

- 検索するキーワードを入力します。

2 前へ

3 次へ

4 検索終了

5 検索結果バー

- タッチした検索結果に移動できます。

■ 文字のコピー

1 Chrome画面でコピーする文字をロングタッチ

2 始点から終点までドラッグ

- コピー範囲の変更:[●]/[●]をドラッグ

3 [コピー]

■ 便利な機能

リンクを新しいタブで表示したり、画像などをダウンロードしたりできます。

1 Chrome画面でリンク／画像をロングタッチ▶ 利用する機能を選ぶ

Chromeの設定

1 Chrome画面で[:]▶[設定]

2 項目を選ぶ

- **Chrome にログイン**:GoogleアカウントでChromeにログインします。同じアカウントでChromeを利用していた際のタブやブックマーク、履歴などの情報を同期できます。
- **同期と Google サービス**:Chromeと同期してほかの端末でChromeデータを確認したり、Googleのサービスを利用するかを設定できます。
- **検索エンジン**:URL入力欄から検索するときに利用する検索エンジンを設定します。
- **パスワード**:パスワードの保存について設定します。
- **お支払い方法**:フォームに自動入力するお支払い方法について設定します。
- **住所やその他の情報**:フォームに自動入力する住所やその他の情報について設定します。
- **通知**:Chromeからの通知について設定します。
- **ホームページ**:ホームページを設定します。
- **プライバシー**:利便性向上のために閲覧情報が使用される機能について設定します。

- **ユーザー補助機能**:文字のサイズやズームなどの画面表示について設定します。
- **サイトの設定**:サイトの表示についてや、サイトが利便性向上のために使用できる情報について設定します。
- **言語**:サイトを表示する言語を設定します。表示可能な場合、設定した言語で表示できます。
- **ライトモード**:データ使用量を抑えるようにするか設定します。
- **ダウンロード**:ファイルやおすすめの記事のダウンロードについて設定します。
- **Chrome について**:Chromeの情報を確認できます。

ブックマークや履歴の利用

■ ブックマークの登録

- 1 Chrome画面で[:]▶[☆]

■ ブックマークからのサイト表示

- 1 Chrome画面で[:]▶[ブックマーク]

- 2 ブックマークを選ぶ

■ 履歴からのサイト表示

- 1 Chrome画面で[:]▶[履歴]

- 2 履歴を選ぶ

カメラ／フォト

カメラについて

静止画や動画を撮影できます。撮影したい被写体に合わせてカメラの設定を切り替えることができます。

- カメラの有効画素数や記録ファイル形式、ズームの最大倍率などについてはP.173「主な仕様」

カメラをご利用になる前に

- レンズ部が指紋や油脂などで汚れると、ピントが合わなくなったり、画像がぼやけることがあります。撮影する前に、柔らかい布などで拭いてください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られています。常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- カメラのレンズ部に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影または保存したときは、画質が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとする、画像が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なうことがありますので、ご注意ください。
- 内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示され、撮影データを保存し、自動終了します。

- 電池残量が少なきときは、撮影できません。カメラを使用する場合は事前に十分な充電を行ってください。
- [フォーカス設定]を切り替えたとき、カメラのレンズが動作する音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪などがつかないようにしてください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、端末に表示される画像の動きが遅くなる場合があります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生したりすることがあります。室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさやホワイトバランスを調整したりすることにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できるときがあります。
- 撮影した静止画は、DCF1.0準拠 (ExifVer. 2.2、JPEG準拠) の形式で保存されます。
- カメラの設定や撮影環境によっては、本端末の内部温度が高くなり、撮影が停止する場合があります。
- microSDカードへ保存中に他のアプリからmicroSDカードを利用した場合、保存に失敗することがあります。

著作権・肖像権について

お客様が端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などとすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

■ カメラを使用中の動作について

- 起動中に約3分間何も操作しないと自動的に終了します。
- シャッター音の音量は変更できません。

■ カメラの撮影サイズ

設定できる撮影サイズは次のとおりです。

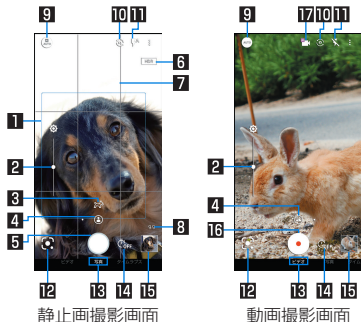
静止画撮影

画面比率	撮影サイズ	アウトカメラ	インカメラ
18:9	8.0M(4000×2000)	○	×
	5.3M(3264×1632)	×	○
16:9	4K(3840×2160)	○	×
	6.0M(3264×1836)	×	○
4:3	12.0M(4000×3000)	○	×
	8.0M(3264×2448)	×	○
	メモサイズ(1920×1440)	○	×
1:1	9M(3000×3000)	○	×
	5.8M(2400×2400)	×	○

動画撮影

画面比率	撮影サイズ	アウトカメラ	インカメラ
18:9	1.8M(1920×960)	○	○
16:9	4K(3840×2160)	○	×
	FULL HD(1920×1080)	○	○
	HD(1280×720)	○	○
4:3	1.6M(1440×1080)	○	○
1:1	1.2M(1080×1080)	○	○

撮影画面の見かた



1 フォーカスマーク

- 撮影メニューが[AIオート]や[オート]の場合、またはフォーカス設定が[顔優先AF]の場合は、顔を検出してフォーカスマークを表示します。

2 明るさ調整

- 明るさを調整します。上下にスライドで表示/設定できます。

3 認識アイコン

- 撮影メニューを[AIオート]に設定している場合は、次のシーンや被写体をAIが認識するとアイコンを表示します。
 - ・人物: [人]
 - ・犬: [犬]
 - ・猫: [猫]
 - ・料理: [料理]
 - ・花: [花]
 - ・夕景: [夕景]
 - ・花火: [花火]
 - ・白板/黒板: [白板/黒板]
- 認識したシーンや被写体によって最適な画質やシャッタースピードで撮影します。白板/黒板を認識した状態で撮影した場合は確認画面が表示され、[補正する]をタッチすると正面から見たような写真へ補正します。

4 カメラ切替

- タッチすると、標準カメラ/広角カメラが切り替わります。

5 静止画撮影

- 静止画を撮影します。

6 HDR

- [オートHDR]をONに設定している場合、HDR機能が動作中に表示されます。

7 ガイド線

- [ガイド線]を設定していると表示されます(※P.97「静止画撮影の設定」)。

8 撮影可能枚数

- 撮影可能枚数が99枚以下になると表示されます。

9 撮影メニュー

10 イン／アウトカメラ切替

11 モバイルライト

- 静止画撮影時にはフラッシュ(撮影の瞬間に点灯)に設定することもできます。

12 Google Lens™

- タッチすると、Google Lensを起動します。詳しくは、初回起動時に表示される内容をご確認ください。


13 撮影モード

- 左右にスライドすると撮影モードを切り替えることができます(モードチェンジャー)。

14 セルフタイマー

- [セルフタイマー表示]をONに設定していると表示されます(☞P.98「静止画撮影／動画撮影の共通設定」)。タッチするたびにセルフタイマーが5秒／10秒／OFFに設定されます。インカメラで撮影時はタッチするたびにセルフタイマーが3秒／5秒／OFFに設定されます。

15 直前に撮影したデータ

- 直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。タッチするとデータの確認などができます。直前に撮影したデータがない場合は、「フォト」アプリのショートカットを表示します。AIライブストーリーで撮影された動画には、が重なって表示されます。

16 動画撮影開始

- 動画を撮影します。

17 AIライブストーリー

- 撮影した長時間の動画から、カット数や変化量を増やし、エフェクトやテーマ曲を付けたショートムービーをAIが自動作成します。
 - 有効にしている場合、撮影した動画とは別にショートムービーが保存されます。保存されたショートムービーは「フォト」アプリで確認することができます(☞P.100「ショートムービーの再生」)。

- 撮影モードや撮影メニューによっては、画面上部や右端に設定変更用のアイコンが表示されます。アイコンをタッチすると設定を変更できます。

カメラ切替について

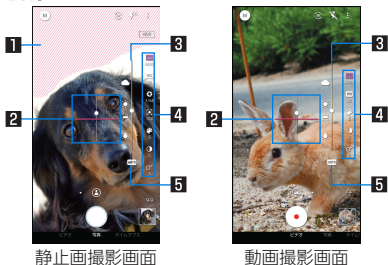
- 広角カメラは、無限遠を含む広い範囲でフォーカスが合うように設計されています。近距離での撮影はピントが合いにくくなります。近距離で撮影するときは、標準カメラを使用してください。

AIライブストーリーについて

- 撮影サイズが[4K(3840×2160)]の場合は利用できません。

■ 撮影画面(マニュアル)

操作方法は撮影画面と同様です。ここでは、撮影画面と異なる操作について説明します。



1 白とび／黒つぶれ表示

- [白とび／黒つぶれ表示] をONに設定している場合、白とびや黒つぶれが起こる部分にしま模様を表示します(☞P.98「静止画撮影／動画撮影の共通設定」)。

2 水準器

- 撮影画面の傾きを確認できます。

3 調整バー

- ドラッグすると設定を調整できます。

4 設定アイコン表示エリア

- 右端を左にスライドすると、設定アイコンが表示されます。
- 設定アイコンをタッチすると調整バーが表示され、設定を調整することができます。
 - 表示されるアイコンで次の設定ができます。
 - ・ ホワイトバランス: [WB]
 - ・ ISO感度: [150]
 - ・ シャッター速度: [1/2000]
 - ・ フォーカス: [AF-ON]
 - ・ 彩度: [SAT]
 - ・ コントラスト: [CON]
 - ・ 明瞭度: [SHARP]

5 自動調整

- タッチすると、自動調整に切り替わります。

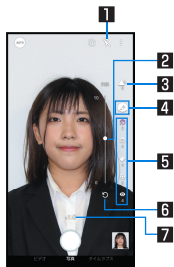
ISO感度について

- 高感度に設定すると、シャッタースピードが速くなるため、被写体ぶれや手ぶれが軽減されたり、暗い場所にある被写体でも明るく撮影できたりしますが、画質は粗くなります。

■ インカメラ撮影画面

操作方法はアウトカメラ利用時の撮影画面と同様です。インカメラ利用時には、AQUOS beauty(アオクスビューティ)アイコンで被写体の顔を補正することができます。

- 静止画撮影時に撮影メニューを[オート]に設定している場合に利用できます。
- 右端を左にスライドするとぼかしや、AQUOS beautyアイコンが表示されます。



1 セルフィーフラッシュ

- フラッシュとして画面全体が発光します。

2 調整バー

- ドラッグすると設定を調整できます。

3 ぼかし

- 自分の顔にピントを合わせ、背景をぼかした写真を撮影します。

4 AQUOS beauty ON/OFF

- [👤]がON、[🚫]がOFFを表します。

5 AQUOS beautyアイコン表示エリア

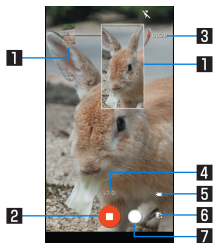
- AQUOS beautyがONの場合は、次のアイコンが表示されます。タッチすると調整バーが表示され、手動で設定を調整することができます。
 - ・ 美肌補正: [👤]
 - ・ 小顔補正: [👤]
 - ・ 色合い補正: [👤]
 - ・ 明るさ補正: [👤]
 - ・ 目の大きさ補正: [👤]

6 初期値に戻す

- タッチすると手動で調整した調整値が初期値に戻ります。

7 ズーム倍率

■ 動画撮影中画面



1 撮影された静止画

- 動画撮影中に静止画撮影すると表示されます。

2 動画撮影停止

3 撮影時間

4 ズーム倍率

5 電池残量

6 ショートムービーの作成確定

- ショートムービーの作成が確定すると表示され、点滅します。

7 静止画撮影

■ 撮影モードの切替

1 ホーム画面 ▶ [👁]

2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを切り替える

- **ビデオ**: 通常の動画を撮影します。撮影環境や被写体に合わせて撮影メニューを切り替えることができます。

- **写真**: 静止画を撮影します。撮影環境や被写体に合わせて撮影メニューを切り替えることができます。
- **タイムラプス**: 時間の流れを早回しして、時間を凝縮した動画を撮影します。

■ 撮影メニューの切替

撮影モードが[写真] / [ビデオ]の場合は撮影環境や被写体に合わせて撮影メニューを切り替えることができます。

1 ホーム画面 ▶ [👁]

2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを[写真] / [ビデオ]に切り替える

3 撮影メニューアイコンをタッチ

4 項目を選ぶ

- **AIオート**: AIが被写体に合わせて撮影設定を調整します。
- **オート**: 被写体に合わせて自動的に調整するモードです。
- **マニュアル**: 設定アイコンで各種設定をマニュアルで調整するモードです。
- **ポートレート**: 近くの人物にピントを合わせ、背景をぼかした写真を撮影します。
- **くっきり**: くっきりとした写真を撮りたいときに明瞭度とコントラストを調整して撮影します。
- **ふんわり**: ふんわりとした写真を撮りたいときに明瞭度とコントラストを調整して撮影します。
- **逆光**: 逆光など明暗差がある写真を撮りたいときにホワイトバランスとコントラストを調整して撮影します。
- **残像**: 明かりがつかなくなって残像のように見える写真を撮影します。
- **接写**: 被写体に近づいてインパクトのある写真を撮影します。
- **モノクロ**: モノクロ撮影するモードです。

静止画の撮影

1 ホーム画面▶[📷]

2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを[写真]に切り替える

- 撮影モードが[写真]のときは、切り替える必要はありません。

3 本端末のアウトカメラを被写体に向ける

- カメラ切替: [📷] / [📷]
- 明るさの調整: 上下にスライド
- ズーム: ピンチアウト/ピンチイン
 - ・ 調整バーが表示されるので、調整バーを左右にスライドして調整することもできます。
 - ・ 拡大の場合は標準カメラ、縮小の場合は広角カメラになります。
- フォーカスロック: 被写体をタッチ
 - ・ フォーカスマーク以外をタッチすると解除されます。
 - ・ 撮影メニューが[マニュアル]でフォーカス設定が[個別AE/AF]の場合、露出を合わせたい箇所まで[AE]をドラッグします。

4 [📷] / [📷] / [📷]

- [個別AE/AF]以外でフォーカスロックをしている場合、フォーカスマークをタッチしても撮影できます。
- [📷]をロングタッチ、または[📷] / [📷]を1秒以上押し、静止画を連続撮影することができます。
 - ・ 撮影メニューによっては、連続撮影できないものがあります。

- フォーカスロックは、主に被写体の色をもとに移動を検出します。そのため被写体の色が薄かったり、背景の色と似ていたりするときは、正しく検出できないことがあります。

動画の撮影

1 ホーム画面▶[📷]

2 画面下部を右にスライドして撮影モードを[ビデオ]に切り替える

- 撮影モードが[ビデオ]のときは、切り替える必要はありません。

3 本端末のアウトカメラを被写体に向ける

- カメラ切替: [📷] / [📷]
- 明るさの調整: 上下にスライド
- ズーム: ピンチアウト/ピンチイン
 - ・ 調整バーが表示されるので、調整バーを左右にスライドして調整することもできます。
 - ・ 拡大の場合は標準カメラ、縮小の場合は広角カメラになります。

4 [📷]

- 動画撮影中に[📷]をタッチ、または[📷] / [📷]を押すと静止画の撮影ができます。
- フォーカスロック: 操作方法は静止画撮影時と同様

5 [📷]

- 動画撮影中に静止画を撮影した場合は、同時に再生ができません。詳しくは、「静止画を含む動画の再生」(P.100)をご参照ください。

カメラの設定

- 利用中の撮影モードなどによって、各機能の有無は異なります。

■ 静止画撮影の設定

1 ホーム画面▶[📷]

2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを[写真]に切り替える

- 撮影モードが[写真]のときは、切り替える必要はありません。

3 [⋮]

4 [写真]

5 項目を選ぶ

- **写真サイズ**: 静止画の撮影サイズを切り替えます。
- **ガイド線**: 撮影画面にガイドを表示できます。
- **インテリジェントフレーミング**: 静止画撮影時に、撮影した被写体や背景の位置や角度などにより、構図補正を自動的に行います。
 - 補正が必要ない場合は、機能は動作しません。
 - 補正された場合は、補正前と補正後の2枚の静止画を保存します。確認方法について詳しくは、「構図補正した静止画の表示」(P.99)をご参照ください。
- **オートHDR**: 逆光などコントラストが強いシーンで、白とび/黒つぶれを軽減して撮影するHDR機能を自動で有効にするか設定します。
- **ワンタッチシャッター**: ファインダー(画面)をタッチして撮影するか設定します。
- **QRコード・バーコード認識**: QRコード・バーコードを検出し、対応したアプリを起動する通知を表示するか設定します。
 - 標準カメラで読み取ることができます。

■ 動画撮影の設定

1 ホーム画面▶[]

2 画面下部を右にスライドして撮影モードを[ビデオ]に切り替える

- 撮影モードが[ビデオ]のときは、切り替える必要はありません。

3 []

4 [動画]

5 項目を選ぶ

- **動画サイズ**: 動画の撮影サイズを切り替えます。
- **画質とデータ量**: 動画圧縮規格を切り替えます。動画圧縮規格によって画質やデータ量が異なります。
- **マイク設定**: 音声を録音するか設定します。

■ 静止画撮影／動画撮影の共通設定

1 ホーム画面▶[]

2 []

3 [共通]

4 項目を選ぶ

- **白とび／黒つぶれ表示**: 白とびや黒つぶれが起こる部分にしま模様を表示するか設定します。
- **水準器**: 水準器を表示するか設定します。
- **フォーカス設定**: 被写体に合わせてフォーカスを設定します。
 - [顔優先AF]を設定している場合は、人の顔を検出します。
- **セルフタイマー表示**: セルフタイマーをセットし自動で撮影するか設定します。
- **ちらつき防止**: ONIにすると、蛍光灯によるちらつきを補正します。テレビやパソコンの画面などを撮影する際に有効な設定です。OFFのときは、被写体ぶれや手ぶれの補正を優先します。
- **保存先設定**: 保存先を設定します。
- **位置情報付加**: 位置情報を付加するか設定します。
- **ヘルプ**: 撮影画面に表示されるアイコンの機能やタッチパネルの操作、機能の使いかたについて確認することができます。
- **PHOTOSHOW (Webページ)**: シャープのサイトに接続し、シャープ製スマートフォンを使って撮影された写真を例に、カメラの機能や撮影方法を確認できます。
- **設定リセット**: 設定をリセットします。

フォト

静止画や動画を表示・編集したり、管理することができます。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[フォト]

2 データを選ぶ

- データをゴミ箱に移動: データをロングタッチ▶[🗑️]▶[ゴミ箱に移動]

3 データを確認する

- 「フォト」アプリはPlayストアより更新することができ、最新バージョンでは操作方法が変わることがあります。更新された場合は、フォト画面で[≡]▶[ヘルプとフィードバック]と操作し、内容をご確認ください。
- 不要な静止画や動画はゴミ箱に移動しても、本端末からは削除されていません。ゴミ箱を空にすると本端末から削除できます。
- 以前利用していた端末で撮影したデータがmicroSDカード内に保存されている場合などは、ステータスパネルの通知詳細情報に「写真の整理」の通知が表示されることがあります。表示された場合は、通知内容をご確認いただき、写真の整理を行ってください。

データの複数選択について

- データ一覧画面でデータをロングタッチするとデータ選択画面に切り替わります。他のデータをタッチして複数のデータを選択することができます。

■ ゴミ箱を空にする

1 フォト画面で[≡]▶[ゴミ箱]

2 [:]▶[ゴミ箱を空にする]▶[削除]

構図補正した静止画の表示

「カメラ」アプリで撮影した静止画が[インテリジェントフレーミング]により構図補正された場合、保存された静止画のサムネイルには[📐]が表示されます。補正前と補正後の2枚の静止画を切り替えて確認できます。

1 フォト画面で静止画を選ぶ

- サムネイルを選択して補正前のオリジナル画像と補正後のおすすめ画像を切り替えることができます。
 - 静止画の削除や編集は、それぞれの静止画に対して行うことができます。
 - [📐]▶[メインの写真に設定]と操作すると、静止画/動画一覧画面のサムネイルに表示する画像に設定できます。

静止画を含む動画の再生

撮影中に静止画を撮影した動画を再生します。

- 動画再生時に静止画を表示したり、静止画の管理などを行うことができます。
- クラウド上にしか静止画や動画が保存されていないと、[写真と合わせる]などのメニューが表示されない場合があります。本端末に保存する場合は、静止画表示中／動画再生中に [] ▶ [デバイスに保存] と操作します。

1 フォト画面で静止画を含む動画を選ぶ ▶ [写真と合わせる]

- 動画再生され、静止画を撮影したタイミングで静止画が表示されます。
- 動画撮影中に撮影された静止画を選ぶ ▶ [動画と合わせる] と操作しても再生できます。
- [写真を見る] をタッチ、または動画再生中に画面を上をスワイプすると、静止画の確認などができます。

ショートムービーの再生

AIライブストーリーによって作成された15秒程度のショートムービーを再生します。

- ショートムービーのサムネイルは装飾された状態で表示されます。
- ショートムービーは [パターン] を切り替えて再生することができます。

1 フォト画面でショートムービーを選ぶ

- ショートムービーが再生されます。

2 再生中の動画をタッチ ▶ [次のパターン]

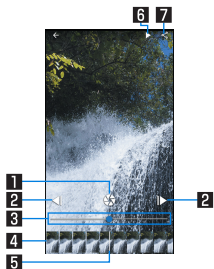
- 次のパターンの動画が再生されます。
- 再生中の動画をタッチすると3種類のパターンが画面下部に表示されます。パターンをタッチするとタッチしたパターンで動画を再生します。
また、[保存] や [] などをタッチすると、再生中の動画の保存や共有などをすることができます。

あとからキャプチャーで編集

動画の中から静止画を切り出して保存することができます。

1 フォト画面で動画を選ぶ

2 [⋮]▶[あとからキャプチャーで編集]



1 静止画切り出し

- タッチすると表示中のフレームを静止画として保存します。

2 コマ戻し／コマ送り

- 1コマ前／先のフレームを表示します。

3 シークバー

- シークバーをドラッグすると表示位置を変更できます。

4 サムネイル

5 表示位置

- 現在表示しているフレームの位置を表します。
- サムネイルをドラッグすると表示位置を変更できます。

6 再生／一時停止

7 共有

- タッチすると静止画の切り出しが行われ、保存された静止画を他のアプリで利用することができます。

アプリ

Play ストア

Google Playを利用すると、便利なアプリや楽しいゲームを端末にダウンロード、インストールすることができます。

- あらかじめGoogleアカウントを設定しておいてください
([P.41](#)「Googleなどのアカウントの設定を行う」)。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[Play ストア]

- ヘルプの表示: [☰]▶[ヘルプとフィードバック]
- アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うこととなります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- お客様がインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリなどにより、各種動作不良や自己または第三者などへ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- お客様がPlay ストアからインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリにつきましては、各提供元にお問い合わせください。

アプリの購入

1 Google Play画面で購入するアプリを選ぶ 2 価格をタッチ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- 無料のアプリのとき:[インストール]
- アプリの初回購入時は、支払い方法を選択してください。支払い方法によっては、Googleウォレット アカウントにログインする必要があります。
- アプリの購入後規定の時間以内であれば返金を要求することができます。アプリは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリに対して返金要求をし、同じアプリを再度購入した場合には、返金要求はできません。アプリ購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、Google Play画面で[☰]▶[ヘルプとフィードバック]をご覧ください。

- ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- アプリに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードしたあとにアンインストールしたアプリの再ダウンロードには料金はかかりません。
- 同じGoogleアカウントを設定しているAndroidデバイスが複数ある場合、購入したアプリは他のデバイスすべてに無料でダウンロードすることができます。
- Google Playからのアプリの購入および返金などについては、当社では一切対応できかねますのであらかじめご了承ください。

■ アプリのアンインストール

- 1 Google Play画面で[≡]▶[マイアプリ & ゲーム]
- 2 [インストール済み]
- 3 アンインストールするアプリを選ぶ
- 4 [アンインストール]▶[OK]

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやポイントカードなどとして使える「おサイフケータイ対応サービス」がご利用いただける機能です。

電子マネーやポイントなどを本端末のICカード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。

※おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。

おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって

- 本端末の故障により、ICカード内データ※が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
 - 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
 - 本端末の盗難、紛失時は利用停止などの対応方法について、速やかに当社およびご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者へお問い合わせください。
- ※おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ

「おサイフケータイ対応サービス」の利用

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ アプリよりサービスを設定してください。なお、サービスによってはおサイフケータイ対応アプリのダウンロードが必要なものもあります。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[ツール]▶[おサイフケータイ]

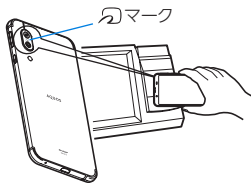
- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 サービスを選ぶ

3 サービスを設定する

- サービスのアプリまたはサイトから設定してください。

4 端末のマークを読み取り機にかざす



- 機内モード中は、おサイフケータイ対応サービスを利用できません。ただし、読み取り機に本端末をかざしてお支払いは利用できます。
- おサイフケータイ対応アプリを起動せずに、読み取り機にかざして利用することができます。
- 読み取り機との通信は、電源を切っても利用できます。ただし、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少ない場合や電源を入れてから一定時間は、利用できなくなることがあります。
- データセーバー (P.123「データ使用量」) の設定にかかわらず、おサイフケータイ対応アプリはおサイフケータイ対応サービスの提供に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。
- 本端末の電源を入れたあと、再起動後およびシステムアップデート後は、画面ロックを解除してから読み取り機にかざしておサイフケータイ対応サービスをご利用ください。

対向機にかざす際の注意事項

- 読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、以下のことに注意してください。
 - 読み取りマークを対向機にかざす際には、強くぶつかけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
 - 読み取りマークを対向機の中心へ平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
 - 読み取りマークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響をおよぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

NFC／おサイフケータイ ロック

NFC／おサイフケータイ ロックを設定すると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。

- NFC／おサイフケータイ ロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロック設定とは異なります。
- 1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [接続済みの端末] ▶ [接続の設定] ▶ [NFC／おサイフケータイ 設定] ▶ [NFC／おサイフケータイ ロック] ▶ [次へ]
 - ホーム画面 ▶ [アプリ一覧画面] を表示 ▶ [ツール] ▶ [おサイフケータイ] ▶ [設定] でもNFC／おサイフケータイ ロックの設定を行うことができます。
 - 2 画面の指示に従って、NFC／おサイフケータイ ロックNo.を入力 ▶ [OK]

- NFC／おサイフケータイ ロック設定中は、ステータスバーに [設定] が表示されます。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中に電池が切れると、NFC／おサイフケータイ ロックが解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後にNFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、NFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。
- NFC／おサイフケータイ ロックNo.は、本端末を初期化しても削除されません。

NFC／おサイフケータイ 設定

- 1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [接続済みの端末] ▶ [接続の設定] ▶ [NFC／おサイフケータイ 設定]
- 2 項目を選ぶ
 - **NFC／おサイフケータイ ロック**: NFC／おサイフケータイ ロックについてはP.105「NFC／おサイフケータイ ロック」
 - **Reader／Writer, P2P**: Reader／Writer, P2P機能を利用するか設定します。
 - **Android Beam**: Android Beamを利用したデータ通信ができます。
 - Android BeamについてはP.157「Android Beam」
 - **メールリモートロック設定**: 本端末にメールを送って、おサイフケータイ ロックを設定できるようにします。

- **暗証番号入力**:おサイフケータイ ロック設定時に操作暗証番号を入力するかどうかを設定します。

GPS／ナビ

マップを利用して、ストリートビューを表示したり、ルート of 検索をしたりできます。また、表示中の地図の周辺施設をジャンル別に検索することもできます。

GPS機能の利用

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信して端末の位置情報を取得する機能です。現在地を測位するためには、[位置情報の使用]をONに設定する必要があります(※P.141「位置情報」)。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、端末の故障や誤動作、停電などの外部要因(電池切れを含む)によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール(精度の劣化や電波の停止など)される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。

- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では、電波を受信できない、または受信しにくい場合位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
 - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
 - 建物の中や直下
 - 地下やトンネル、地中、水中
 - 高圧線の近く
 - 自動車や電車などの室内
 - 大雨や雪などの悪天候
 - かばんや箱の中
 - 端末の周囲に障害物(人や物)がある場合
 - GPSアンテナ付近を手で覆い隠すように持っている場合
- 海外でGPS機能を利用するときは、各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報(緯度経度情報)に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。
- 現在地を測位する際に、自動的に衛星の運行情報などのアシストデータを取得し、パケット通信料がかかる場合があります。
- 位置情報から地図を表示した場合などは、パケット通信料がかかります。

マップ

現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます。

- 現在地を測位するためには、[位置情報の使用]をONに設定する必要があります(☞P.141「位置情報」)。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶ [Google]▶[マップ]

2 マップを利用する

- 地図を回転:1本の指でタッチパネルに触れたまま、別の指で回転したい方向に地図を動かす
- 立体的に表示:2本の指で同時に上にスライド
- 現在地の測位:[📍]

■ ストリートビュー

1 マップ画面で任意の場所をロングタッチ

2 表示される画像をタッチ

- 表示する方角の変更:画面を上下左右にスライド
- 表示する場所の移動:画面を2回タッチ、青線をスライド
- コンパスモード:[🧭]

- ストリートビューは対応していない地域もあります。
- コンパスモードを利用すると、端末の向きとストリートビューで表示される方向が連動します。

■ ルートの検索

出発地から目的地までのルートを検索することができます。

1 マップ画面で[経路]

2 移動手段を選ぶ▶上の検索ボックスをタッチ

- 現在地を測位している場合は、現在地が入力されています。

3 出発地を入力

4 下の検索ボックスをタッチ

5 目的地を入力

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

■ 周辺の場所検索

表示中の地図周辺の場所を検索することができます。

1 マップ画面で検索ボックスをタッチ

2 検索したい場所を入力▶検索結果を選ぶ

- 場所を入力すると、入力した場所を検索し、一覧表示します。

3 検索結果を利用する

YouTube

YouTubeは無料オンライン動画ストリーミングサービスで、動画の再生、検索、アップロードを行うことができます。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶
[Google]▶[YouTube]

2 動画を選ぶ

- 検索ボックスの表示:[Q]

時計

アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用できます。

アラーム

指定した時刻にアラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[時計]
▶[アラーム]

2 登録先の時刻をタッチ

- 登録先の追加:[+]

3 時刻を選ぶ▶[OK]

4 各項目を設定



1 繰り返し

- 繰り返しを設定します。

2 アラーム音

- アラーム音を設定します。

3 ラベル

- ラベルを入力します。

4 削除

- アラームを削除します。

5 アラームON/OFF

- アラームの有効/無効を切り替えます。

6 バイブレーション

- バイブレータを利用するか設定します。

7 表示切替

- アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。
- 通話中にアラーム設定時刻になると、相手の声と一緒に通知音が聞こえます。

■ アラームを止める

アラーム設定時刻になると、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 アラーム鳴動中に[🔔]を[🔕]までスライド

- スヌーズの利用: [🔔]を[🔕]までスライド

ディスプレイの表示中に止める

タッチパネルのロック画面以外の画面を表示中にアラーム設定時刻になると、アラーム通知が表示されます。通知を利用してアラームを止めることができます。

1 アラーム鳴動中に[解除]

- スヌーズの利用: [スヌーズ]

■ アラーム音量の設定

1 アラーム画面で[🔊]▶[設定]

2 アラームの音量欄で音量を調節

世界時計

世界各地の都市の時刻を表示できます。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[時計]▶[時計]

2 [🌐]

3 都市を選ぶ

タイマー

設定した時間が経過したときに、アラーム音でお知らせします。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[時計]▶[タイマー]

2 時間を入力▶[🕒]

- 時間を1分追加: [+1:00]
- カウントダウンの停止: [⏸]
- カウントダウンのリセット: [リセット]
- 設定した時間が経過すると、アラーム音でお知らせします。
 - ・アラーム音の停止: [🔔]
- タッチパネルのロック画面以外の画面を表示中にタイマー設定時刻になると、通知が表示されます。通知の[停止]をタッチして、アラームを止めることができます。また、[1分追加]をタッチすると、タッチしてから1分後にアラームでお知らせします。

■ 名称の変更

- 1 タイマー画面で[ラベル]
- 2 名称を入力▶[OK]

■ タイマーの追加

- 1 タイマー画面で[タイマーを追加]
 - タイマーの切替:上下にスライド

■ タイマーの削除

- 1 タイマー画面で[削除]

ストップウォッチ

ストップウォッチを利用して時間を計測します。ラップタイム(経過時間)/スプリットタイム(合計経過時間)も計測できません。

- 1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[時計]
▶[ストップウォッチ]
- 2 [▶]
 - ラップタイム/スプリットタイムの計測:[ラップ]
- 3 [⏸]
 - 計測結果の共有:[共有]
 - 計測結果のリセット:[リセット]

- ラップタイム/スプリットタイムを99件まで表示できます。

カレンダー

カレンダーを利用してスケジュールの管理ができます。

- あらかじめ、アカウント設定をしておいてください(※P.41「Googleなどのアカウントの設定を行う」)。

- 1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶
[Google]▶[カレンダー]
 - 初回起動時には説明画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- 2 スケジュールを確認する



- 1 表示切替
 - カレンダーの表示方法を切り替えます。
- 2 登録されているスケジュール
- 3 今日を表示

スケジュールの作成

- 利用するアカウントによっては、設定する項目などが異なる場合があります。

1 カレンダー画面で▶[+]▶[予定]

2 各項目を設定



1 タイトル

2 カレンダー

- カレンダーのオーナーを設定します。

3 終日

- 終日設定を切り替えます。

4 開始日時

5 終了日時

6 タイムゾーン

- 予定のタイムゾーンを設定します。

7 繰り返し

- 予定の繰り返しを設定します。

8 ユーザーを追加

- 追加する相手のメールアドレスを入力します。

9 場所を追加

10 通知

- 開始日時のどのくらい前に通知するか設定します。
- [通知を追加] をタッチすると、通知の設定を追加できません。

11 会議を追加

12 予定の色

- 予定の色を設定します。

13 説明を追加

14 添付ファイルを追加

3 [保存]

カレンダーの設定

1 カレンダー画面で[≡]▶[設定]

2 項目を選ぶ

- **全般**: カレンダー全般について設定します。
- **Gmail から予定を作成**: Gmailで予定に関するメールを受信すると、自動的にスケジュールを追加するか設定します。
- カレンダーを選ぶと、予定の色やデフォルトの通知などを設定できます。

スケジュールの削除

- 1 カレンダー画面でスケジュールを選ぶ
- 2 [:] ▶ [削除] ▶ [削除]

電卓

- 1 ホーム画面 ▶ 「アプリ一覧画面」を表示 ▶ [電卓]
- 2 計算する

- 関数電卓の表示: 操作キーの右端を左にスライド
- 計算結果のコピー: 計算結果をロングタッチ ▶ [コピー]
- ヘルプの表示: [:] ▶ [ヘルプ]
- 計算履歴の表示: 計算結果の表示部を下にスライド
 - ・ 履歴の削除: [:] ▶ [削除] ▶ [削除]

エモパー

あらかじめ登録したお客様の情報やお客様の日常の行動に基づき、タッチパネルのロック画面でさまざまな情報を設定に基づいてお伝えします。エモパーを使っていくほどに、お客様の本端末の使用状況を理解し、より適切なタイミングで情報をお伝えするようになります。

また、お客様の声※をエモパーが認識して応答することがあります。


さらに、エモパーを使ったメモ機能(エモパーメモ)や、健康応援機能(エモパーヘルスケア)、エモパー連携に対応した家電(AIoT機器)との連携機能などが利用できます。

※エモパーが話してから画面が消灯するまでの間のみ音声を認識します(音声認識される時間は最大6秒間です)。

- エモパーをご利用になる場合は、パケット通信料がかかります。
- 自宅や周辺の施設情報などを認識するために、現在地を測位する場合があります。現在地を測位するためには、[位置情報の使用]をONに設定する必要があります。[位置情報の使用]がOFFのときは、現在地測位が必要な情報をお伝えできません(※P.141「位置情報」)。



- 1 ホーム画面 ▶ 「アプリ一覧画面」を表示 ▶ [エモパー]

- ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [エモパー] でもエモパーを表示することができます。
- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

- 初期設定完了後に[] ▶ [あなたについて] で職場・学校などを設定することをおすすめします。エモパーがお話する機会や内容のパリエーションが増えることがあります。
- 初期設定が完了している場合はエモパー画面が表示され、エモパーの状態やお客様についての情報、歩数や予定などの日常の記録(約1週間分)が確認できます。

エモパーの設定

1 エモパー画面で

- [] / [] をタッチしてエモパーのON/OFFを切り替えることができます。

2 項目を選ぶ

- **COCORO ID**: アカウントを設定します。新規登録・ログインすると自動バックアップなど、より便利にご使用いただけます。
- **エモパー選択**: エモパーやエモパーの名前を設定します。また、サイトからエモパーを追加できます。
- **基本動作について**: エモパーの音量やマナーモード中の動作など、基本動作について設定します。
- **あなたについて**: ニックネームや自宅、職場・学校など、お客様の情報を設定します。
- **エモパーの話題**: エモパーがお伝える情報を設定します。
- **エモパーメモ**: エモパーメモの利用について設定します。
- **エモパーヘルスケア**: エモパーヘルスケアの利用について設定します。
- **AIoT機器との連携**: エモパー連携に対応したシャープの家電(AIoT機器)との連携について設定します。






- **エモパーへの話しかけ方**: 公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)の「エモパー使い方ガイド」-「エモパーへの話しかけ方」に接続します。
 - 本端末では「声でエモパーを呼び出し」は非対応です。
- **おすすめ機能の紹介**: おすすめ機能の簡単な説明と使いかたのデモを確認できます。
- **エモパー使い方ガイド**: 公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)の「エモパー使い方ガイド」に接続します。
- **よくある質問(FAQ)**: 公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)の「よくある質問(FAQ)」に接続します。
- **エモパーの記憶**: エモパーと過ごした思い出や生活習慣に関するデータの保存や削除、復元ができます。
- **注意事項**: エモパーバージョンや利用規約・プライバシーポリシーなどを確認できます。

エモパーがお話するタイミング

- あなたについての[自宅]や[自宅のほかにお話しできる場所]に設定した場所で、ロック画面表示中や画面消灯中に端末を水平に置いたときなどに話します。
- 外出中では、職場や学校の出入りなど特定のタイミングでバイブレータが振動する場合があります。その際には、通話するように端末を耳に当てるとお話しします。また、イヤホンを接続中は、バイブレータが振動せずにイヤホンからお話しします。
- ロック画面表示中に端末を数回(2秒程度)振ると話します。

エモパーの記憶の引き継ぎかた

エモパーと過ごした思い出や生活習慣に関するデータは、COCORO MEMBERSなどでバックアップすることで、機種変更の際に引き継ぐことができます。

- COCORO MEMBERSにバックアップする場合はエモパー画面で[] ▶ [COCORO ID]からアカウントを登録し、[エモパーの記憶] ▶ [自動バックアップ]をONに設定するか、[いますぐバックアップする]を実行してください。
- Googleドライブにバックアップする場合は端末に設定されたGoogleアカウントと同じアカウントをエモパー画面で[] ▶ [エモパーの記憶] ▶ [Googleドライブでバックアップする]の[]から設定し、[Googleドライブでバックアップする]を実行してください。
- microSDカードにバックアップする場合は端末にmicroSDカードが取り付けられていることを確認の上、エモパー画面で[] ▶ [エモパーの記憶] ▶ [SDカードでバックアップする]を実行してください。
- 機種変更後のエモパーの初期設定画面で[引き継ぎはコチラ]を選択し、バックアップした方法と同じ方法を選択することで、機種変更前のエモパーを復元することができます。また、エモパー画面で[] ▶ [エモパーの記憶] ▶ [記憶を復元する] ▶ [復元する]を実行しても復元することができます。

エモパーメモを利用

エモパーに予定などメモしたい内容を話しかけるとエモパーが記憶し、予定にあわせてお伝えします。また、エモパーメモを利用してアラームやタイマーを設定したり、エモパーに質問することもできます。

- ロック画面を2回タッチしてから話しかけてください。
- ロック画面では、時計やアイコン、情報などが表示されていないところをタッチしてください。
- 外出先で話しかける場合は、電話をかけるように受話口を耳に当ててください。
- エモパーが記憶したメモは、カレンダーに登録されます。「明日」、「今週」、「そろそろ」のような時期を表す単語を含めて話しかけると、メモに合わせたタイミングでエモパーがお伝えします。
- アラームを設定する際は、「XX時XX分にアラーム」のように話しかけてください。アラームは、「時計」アプリに登録されます。
- タイマーを設定する際は、「XX分タイマー」や「タイマー起動して」のように話しかけてください。「時計」アプリのタイマーが起動します。
- エモパーに質問する際は、「明日の天気を教えて」のように話しかけてください。質問の情報をエモパーがお伝えします。

エモパーヘルスケアを利用

お客様の体重や歩数について、気かけたり応援したりするお話しで、健康維持やダイエットをサポートします。

- 体重はエモパーメモと同じ手順で話しかけることで覚えます。
 - ・ エモパーに体重を話しかける際は、「今日の体重 XX.Xキロ」のように話しかけてください。
- 株式会社タニタの一部の体組成計と連携することで、体重を覚えることもできます。
 - ・ 体組成計との連携については、[エモパーヘルスケア] ▶ [タニタ体組成計との連携] から設定することができます。画面の指示に従って操作してください。
 - ・ エモパーとの連携に対応する体組成計については、公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)をご覧ください。
- お客様の体重や歩数は、からだメイトで管理されます。

- エモパーの初期設定を行うと[歩数計ON]が有効になります(☞P.116「からだメイト」)。
- エモパーが話しているときに[+] / [-] を押すと音量を調節できます。
- 午前2:00～午前5:00の間は話しません。
- エモパーは日本語にのみ対応しています。
- エモパーがお伝えする情報は、お客様の端末使用状況と正確には合っていない場合があります。
- イヤホンを接続していない場合、ディスプレイを下向きにして端末を置いておくと、エモパーは話しません。
- 海外で利用するときは、エモパーのお伝えする情報が制限されます。

公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)について

- エモパーは、使いかたの改善や変更、お話しするバリエーションの増加などを目的に、Play ストアからアップデートすることがあります。
本書の内容から変更されることがありますので、エモパーに関する最新の情報については、公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)をご覧ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/dash/emopa/>

電車の遅延情報について

- エモパーがお伝えする電車の遅延情報は、株式会社レスキューナウが提供する運行情報に基づいています。
- 各路線の運行情報が提供される基準は、次のとおりです。
 - 首都圏JR線は15分、その他の路線は30分以上の遅れ、運転見合わせ等が発生した場合の情報

AIoT機器との連携について

- AIoT機器との連携には、COCORO IDでログインの上、COCORO HOMEアプリなどで同じアカウントに対して機器の登録が必要です。
- エモパーとの連携ができる当社のAIoT機器は各種COCOROサービスに対応した特定の機種に限ります。詳しくは、公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)などでご確認ください。

からだメイト

歩数や体重などを記録することができます。歩数や体重の履歴をグラフで表示して、日別／月別で比較することもできます。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[ツール]▶[からだメイト]

2 [はい]

3 ユーザー情報の各項目を設定▶[歩数計ON]▶[<]

- お買い上げ時は、ユーザー情報に仮の数値が登録されています。ご利用の前に、ユーザー情報を正しく設定しておいてください。
 - ユーザー情報の変更についてはP.118「ユーザー情報の変更」
- 電源が入っている間は常に歩数がカウントされます。
- 歩数計の表示は、毎日0:00にリセットされます。

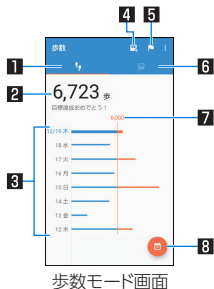
機種変更時のご注意

- からだメイトに記録した歩数や体重などのデータは、Googleアカウントによってバックアップされ、機種変更しても引き継ぐことができます。からだメイトに対応した新しい端末の初回起動時に、初期設定で機種変更前と同じGoogleアカウントを設定し、データを復元してください。

歩数測定時のご注意

- 次のような場合は、歩数が正確に測定されないことがあります。
 - 端末が不規則に動く場合
 - 端末を入れたかばんなどが、足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
 - 端末を腰やかばんなどからぶら下げているとき
 - 不規則な歩行をした場合
 - すり足のような歩きかたや、サンダル、げた、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
 - 混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき
 - 上下運動や振動の多いところで使用した場合
 - 立ったり座ったりしたとき
 - スポーツを行ったとき
 - 階段や急斜面を上ったり下りたりしたとき
 - 乗り物(自転車、自動車、電車、バスなど)に乗って、上下振動や横揺れしているとき
 - スピーカーから音が出ているとき
 - バイブレータが振動しているとき
 - 極端にゆっくり歩いた場合
- かばんやポーチなどに入れるときは、ポケットや仕切りの中など端末を固定できる場所に入れてください。
- 歩き始めの約4秒間は歩数はカウントされますが、測定値には反映されません。そのあとも歩行を続けると、それまでの歩数を合わせて測定値に反映します。

■ からだメイト画面の見かた



1 歩数モード

2 今日の歩数

3 歩数の履歴

- 日々/月々の歩数が棒グラフで表示されます。グラフをタッチすると、タッチした日/月の歩数や歩行距離、消費カロリーなど、詳細情報が表示されます。

4 体重入力

- タッチすると、日々の体重を入力することができます。
- エモパーを利用すると、音声で体重を入力することもできます。エモパーについてはP.112「エモパー」

5 目標設定

- タッチすると、歩数や体重の目標を設定することができます。
 - ・ からだメイト画面で[:] ▶ [目標設定]でも目標を設定できます。
 - 設定した目標の削除:目標の入力画面で[リセット]

6 体重モード

7 目標値

8 表示切替

- 日別/月別の表示を切り替えます。

9 前回との差

10 最新の体重

11 体重の履歴

- 日々/月々の体重が折れ線グラフで表示されます。グラフをタッチすると、タッチした日/月の体重やBMIなど、詳細情報が表示されます。
- 表示する月や週の移動:[<] / [>]

■ ユーザー情報の変更

1 からだメイト画面で[⋮] ▶ [ユーザー情報]

2 各項目を設定

■ からだメイトの停止

1 からだメイト画面で[⋮] ▶ [歩数計設定]

2 [歩数計ON]

- [歩数計ON]を無効にすると、からだメイトが停止します。

■ データリセット

歩行データや体重データをすべて削除します。

1 からだメイト画面で[⋮] ▶ [データリセット] ▶
[はい]

■ 用語説明の確認

1 からだメイト画面で[⋮] ▶ [用語の説明]

2 用語を選ぶ

本体設定

設定メニュー

ホーム画面▶[⊕]で表示されるメニューから、端末の各種設定を行うことができます。

- 先頭には、おすすめの設定が候補として表示されます。
- 本体設定を表示中に[Q]▶検索するキーワードを入力すると、設定項目を検索できます。
- 表示されていないメニューがある場合、[詳細設定]をタッチするとメニューが表示されます。
- 使用状況などにより、表示される項目や配置が異なる場合があります。

電話番号	nanoSIMカードに登録されているお客様の電話番号を確認できます。
ネットワークとインターネット	Wi-Fi機能やモバイル ネットワークなどのネットワークについて設定します。
接続済みの端末	Bluetooth機能やおサイフケータイなどについて設定します。
アプリと通知	アプリや通知について設定します。
電池	電池の利用状況の確認や設定、長エネスイッチの起動などを行います。
ディスプレイ	画面表示などについて設定します。
音	着信音・お知らせ音などについて設定します。
AQUOS便利機能	本端末に搭載されている便利な機能の設定を行います。
ホーム切替	利用するホームアプリを切り替えます。

ストレージ	本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量／合計容量の確認、保存されているデータの表示などができます。
セキュリティと現在地情報	セキュリティロックや、位置情報などについて設定します。
アカウント	アカウントの追加や設定、データの同期について設定します。
ユーザー補助	ユーザー補助オプションについて設定します。
Digital Wellbeing と保護者による使用制限	本端末の利用習慣を確認したり、保護者による使用制限を設定し、オフラインで過ごす時間を作ります。
Google	Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。
システム	画面に表示される言語や日時の設定など、システムにかかわる設定を行います。
お困りのときは	「よくあるご質問」の確認や設定項目の検索など、お困りのときに利用できる機能がまとめられています。

ネットワークとインターネット

Wi-Fi機能やモバイル ネットワークなどのネットワークについて設定します。

1 ホーム画面▶[]▶[ネットワークとインターネット]

2 項目を選ぶ

- **Wi-Fi**: Wi-Fiについては☞P.120「Wi-Fi」
- **モバイル ネットワーク**: モバイル ネットワークについては☞P.122「モバイル ネットワーク」
- **データ使用量**: データ使用量については☞P.123「データ使用量」
- **テザリング**: テザリングについては☞P.124「テザリング」
- **機内モード**: 電話やメールなど、通信を利用する一部の機能を使用できないようにします。
- **VPN**: VPNについては☞P.162「VPNの追加」
- **プライベート DNS**: プライベート DNSの設定をします。

[機内モード]について

- [SIMカードをロック]が有効の場合は、緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。[SIMカードをロック]が無効の場合は、機内モード中でも緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できます。緊急通報番号をダイヤルすると、[機内モード]がOFFになり、発信を行います。
- [機内モード]がONの場合でも、[Wi-Fi]や[Bluetooth]をONにすることができます。

Wi-Fi

端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Bluetooth機器との電波干渉について

- 無線LAN (IEEE802.11b/g/n)とBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、Bluetooth機器の電源を切るか、端末や接続相手の無線LAN機器をBluetooth機器から約10m以上離してください。


- [Wi-Fi]をONにしている場合もパケット通信を利用できます。Wi-Fi接続中はWi-Fi接続が優先されますが、Wi-Fi接続が切断されると自動的にパケット通信での接続に切り替わります。そのままご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- ご自宅などのアクセスポイントを利用する場合は、無線LAN親機の取扱説明書もご覧ください。
- アクセスポイントを登録するときは、アクセスポイントの近くで操作してください。

1 ホーム画面▶[]▶[ネットワークとインターネット]▶[Wi-Fi]

2 [Wi-Fi の使用]をONにする

3 アクセスポイントを選ぶ

- セキュリティで保護されたアクセスポイントを選択した場合、パスワード(セキュリティキー)を入力し、[接続]を選択してください。
- アクセスポイントを手動で登録:[ネットワークを追加]▶ネットワーク名を入力▶セキュリティを設定▶[保存]
- [保存済みネットワーク]をタッチすると、接続したことのあ
るアクセスポイントを表示します。

- Wi-Fiネットワークに接続すると、[接続済み]と表示されます。異なるメッセージが表示された場合は、パスワード(セキュリティキー)をご確認ください。
なお、正しいパスワード(セキュリティキー)を入力しても接続できない場合は、正しいIPアドレスを取得できていないことがあります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- アクセスポイントの手動登録は、セキュリティ設定としてWEP、WPA/WPA2 PSK、802.1x/EAPに対応しています。
- インターネット接続されていないアクセスポイントに接続すると、が表示され、Wi-Fiではなくモバイル ネットワークで通信が行われる場合があります。

■ Wi-Fiの設定

1 ホーム画面▶▶[ネットワークとインターネット]▶[Wi-Fi]▶[Wi-Fi 設定]

2 項目を選ぶ

- **Wi-Fi を自動的に ON にする**:保存済みネットワークの検出時に[Wi-Fi]をONにするか設定します。
- **オープン ネットワークの通知**:オープンネットワークを検出したときに、お知らせアイコンで通知するか設定します。
 - [Wi-Fi]をONにしてから設定してください。
- **構内IP電話設定**:インターネット通話について設定します。
- **証明書のインストール**:証明書をインストールします。
- **ネットワーク評価プロバイダ**:ネットワーク評価プロバイダについて設定します。
- **Wi-Fi Direct**:Wi-Fi Directについて設定します。
- **MACアドレス**:MACアドレスを確認できます。
- **IP アドレス**:IPアドレスを確認できます。

■ アクセスポイントの設定の削除

1 ホーム画面▶▶[ネットワークとインターネット]▶[Wi-Fi]

2 設定済みのアクセスポイントを選ぶ▶[削除]

モバイル ネットワーク

1 ホーム画面▶[]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]

2 項目を選ぶ

- **モバイルデータ**: モバイル ネットワーク経由でデータにアクセスするか設定します。
- **ローミング**: ローミングについてはP.164「ローミング」
- **アプリのデータ使用量**: アプリのデータ使用量についてはP.123「データ使用量」
- **4G拡張モード**: 4Gサービスを使用して音声などの通信を改善するか設定します。
- **優先ネットワークタイプ**: 優先ネットワークタイプについてはP.122「優先ネットワークタイプの設定」
- **ネットワークを自動的に選択**: ネットワークを自動的に選択についてはP.164「通信事業者の設定」
- **ネットワーク**: ネットワークについてはP.164「通信事業者の設定」
- **アクセスポイント名**: アクセスポイントの設定や確認をします。

■ 優先ネットワークタイプの設定

使用するネットワークを設定します。

1 ホーム画面▶[]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]

2 [詳細設定]▶[優先ネットワークタイプ]

3 項目を選ぶ

- **4G(推奨)**: 4Gネットワークを利用します。
- **3G**: 3Gネットワークを利用します。

■ アクセスポイントの設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント*は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

- 対応するアクセスポイントが本端末に登録されていない場合は、アクセスポイントを追加で設定してください。以降は電源を入れると設定したアクセスポイントに接続します。

※ 通信事業者によっては「APN」や「アクセスポイントネーム」とも呼ばれます。

1 ホーム画面▶[]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]

2 [詳細設定]▶[アクセスポイント名]

- 利用中のアクセスポイントを確認できます。

3 [+]

4 [名前]▶作成するネットワークプロファイルの名前を入力▶[OK]

- 5 [APN] ▶ アクセスポイント名を入力 ▶ [OK]
- 6 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力 ▶ [:] ▶ [保存]

■ アクセスポイントの初期化

アクセスポイントの設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

- 1 ホーム画面 ▶ [⊙] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [モバイル ネットワーク]
- 2 [詳細設定] ▶ [アクセスポイント名]
- 3 [:] ▶ [初期設定にリセット]

- 圏外など電波状況によりアクセスポイントの自動設定に失敗した場合は、再度手動でアクセスポイントを設定する必要があります。

データ使用量

モバイル ネットワークやWi-Fiネットワーク経由のデータ使用量を確認できます。また、データ使用量に上限を設けることができます。

1 ホーム画面 ▶ [⊙] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [データ使用量]

- モバイル ネットワーク経由のデータ使用量が表示されます。

2 項目を選ぶ

- **データセーバー**：一部のアプリによるバックグラウンドでのデータ送受信を停止することで、データ使用量を抑制することができます。
 - データセーバー中もデータ通信を制限しないアプリについては、[データ無制限アクセス]から設定することができます。
- **モバイルデータ**：モバイル ネットワーク経由のデータ通信を利用するか設定します。
- **アプリのデータ使用量**：モバイル ネットワーク経由のデータ使用量をグラフで表示します。また、データ通信を使用したアプリも確認できます。

- **データの警告と制限**: モバイル ネットワーク経由のデータ使用量について、月単位の測定開始日や警告を発するデータ使用量を設定します。
また、[データ上限の設定]をONにすると、データ使用量が上限に達した場合にデータ通信を停止することができます。上限は[データ上限]で設定できます。
 - データ使用量が上限に達すると、モバイルデータが一時停止中である旨の通知が表示されます。[OK]をタッチすると、次の測定開始日までデータ通信を停止します。[再開]をタッチすると、データ通信を再開します。
- **Wi-Fi データ使用量**: Wi-Fiネットワーク経由のデータ使用量をグラフで表示します。また、データ通信を使用したアプリも確認できます。

- 表示されるデータ使用量は目安です。

テザリング

本端末をアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器やUSBケーブルまたはBluetooth通信で接続したパソコンなどをインターネットに接続するテザリング機能を利用することができます。

- 同時に接続できる機器数は、USBケーブルで接続したパソコン1台、Wi-Fi対応機器10台、Bluetooth機器4台の計15台です。
- Bluetooth テザリングを行うには、あらかじめ相手のBluetooth機器を登録しておいてください(☞P.155「Bluetooth機能の利用」)。Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- テザリングのご利用には、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

1 ホーム画面▶[🌐]▶[ネットワークとインターネット]▶[テザリング]

2 項目を選ぶ

- **Wi-Fiテザリング**: Wi-Fiテザリングを利用するか設定します。また、ネットワーク名やセキュリティ、パスワードなどを設定したり、本端末が接続されていないときにテザリングをOFFにするか設定できます。
- **USB テザリング**: USB テザリングを利用するか設定します。
- **Bluetooth テザリング**: Bluetooth テザリングを利用するか設定します。

[Wi-Fiテザリング]について

- 本端末がアクセスポイントとして機能している場合、本端末はWi-Fi接続でインターネットにアクセスすることはできません。
- お買い上げ時は、ネットワーク名は[AQUOS sense3]、セキュリティは[WPA2 PSK]、パスワードはランダムな値が設定されています。必要に応じて設定を変更してください。
- Wi-Fiテザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
<http://www.android.com/tether#wifi>

[USB テザリング]について

- テザリング機能は、パソコンのOSがWindows 7、Windows 8.1、Windows 10の場合にご利用いただけます。
- USB テザリング中は、本端末のストレージ(本体メモリやmicroSDカード)をパソコンでマウントすることはできません。
- USB テザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
<http://www.android.com/tether#usb>

接続済みの端末

Bluetooth機能やおサイフケータイなどについて設定します。

1 ホーム画面 ▶ [🔍] ▶ [接続済みの端末]

- Bluetooth接続中は、相手のBluetooth機器が表示されます。
詳しくはP.156「Bluetooth機器の管理」

2 項目を選ぶ

- **USB**: パソコンなどと接続した際のUSB接続の用途について設定します。USB接続についてはP.159「パソコンなどとの接続」
- **新しいデバイスとペア設定する**: 使用可能なBluetooth機器とのペア設定ができます。操作についてはP.155「Bluetooth機能の利用」
- **以前接続されていたデバイス**: ペア設定済みBluetooth機器の名前や使用目的を設定します。
- **接続の設定**: 接続の設定についてはP.125「接続の設定」

■ 接続の設定

1 ホーム画面 ▶ [🔍] ▶ [接続済みの端末] ▶ [接続の設定]

2 項目を選ぶ

- **Bluetooth**: Bluetooth機能についてはP.153「Bluetooth®機能」
- **NFC/おサイフケータイ 設定**: NFC/おサイフケータイ 設定についてはP.105「NFC/おサイフケータイ 設定」
- **キャスト**: キャストについてはP.161「キャスト」
- **印刷**: 印刷用アプリ(プラグイン)をインストールして、印刷機能に対応したアプリで印刷することができます。
- **受信済みファイル**: Bluetooth通信のデータ受信履歴を表示します。
- **Chromebook**: Chromebook™との接続について設定します。

■ 印刷用アプリ(プラグイン)の利用

インストールした印刷用アプリ(プラグイン)を設定できます。

- あらかじめ利用するプリンターに対応した印刷用アプリ(プラグイン)をインストールしておいてください。

1 ホーム画面 ▶ [🔍] ▶ [接続済みの端末] ▶ [接続の設定] ▶ [印刷]

2 印刷サービスを選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

アプリと通知

アプリや通知について設定します。

1 ホーム画面 ▶ [⚙️] ▶ [アプリと通知]

2 項目を選ぶ

- **最近開いたアプリ**: 最近開いたアプリやアプリ情報についてはP.127「アプリ情報」
- **利用時間**: アプリの利用時間を確認したり、アプリごとに、使用できる1日の最大時間などを設定できます。
- **通知**: アプリの通知について設定します。
- **デフォルト アプリ**: デフォルトで起動するアプリを設定します。
- **アプリの権限**: アプリの権限についてはP.63「利用する機能について設定」
- **緊急速報メール**: 緊急速報メールについて設定します。
- **特別なアプリアクセス**: 電池の最適化やシステム設定の変更など、特別なアプリアクセスについて設定します。

■ ロック画面の通知

タッチパネルのロック画面に表示する通知について設定します。

1 ホーム画面 ▶ [⚙️] ▶ [アプリと通知]

2 [通知]

3 [ロック画面上] ▶ 通知の表示／非表示を選ぶ

- [プライベートな内容を非表示]を選択すると、ロック画面に表示する通知で、相手の電話番号や通知の件数など、詳細を表示しないようにします。
 - 画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しているときに利用できます。

4 [ロック画面の通知を整理]の[●] / [●]

- ONに設定すると、ロック画面で一度見た通知を非表示にして新しい通知を見やすくします。ただし、削除できない通知は非表示になりません。また、この機能によってステータスパネルの通知詳細情報が消去されることはありません。

■ タップ&ペイ

お支払いの際に、デフォルトで起動するアプリについて設定します。

1 ホーム画面 ▶ [⚙️] ▶ [アプリと通知] ▶ [デフォルト アプリ] ▶ [タップ&ペイ]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- 仕組みの確認: [⋮] ▶ [仕組み]

アプリ情報

アプリの名前やメモリの使用状況、バージョンなどの確認、有効/無効の設定、アンインストールなどができます。

1 ホーム画面▶[⚙️]▶[アプリと通知]

2 [XX個のアプリをすべて表示]▶アプリを選ぶ

- [最近開いたアプリ]欄に利用するアプリが表示されている場合は、アプリを選択してアプリ情報を確認することもできます。

■ アプリの無効

アプリの動作を停止し、アンインストールせずにアプリ一覧画面に表示しないように設定します。

- アンインストールできないアプリを無効にできます。

1 ホーム画面▶[⚙️]▶[アプリと通知]

2 [XX個のアプリをすべて表示]▶アプリを選ぶ

3 [無効にする]▶[アプリを無効にする]

- アプリを無効にすると、無効にされたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。その場合は、アプリを有効にしてください。

■ アプリの有効

1 ホーム画面▶[⚙️]▶[アプリと通知]

2 [XX個のアプリをすべて表示]▶アプリを選ぶ

3 [有効にする]

電池

電池の利用状況の確認や設定、長エネスイッチの起動などをを行います。

1 ホーム画面▶[⚙️]▶[電池]

- 電池残量や健康度などが表示されます。
- [⋮]▶[電池使用量]と操作すると、アプリごとの電池使用量を確認できます。アプリごとの電池使用量は、次のタイミングでリセットされます。
 - 電池残量90%以上まで充電し、充電機器を取り外したとき
 - 充電中ではなく、電池残量が90%以上ある状態で、本端末の電源が入ったとき

2 項目を選ぶ

- **長エネスイッチ**:長エネスイッチについてはP.128「長エネスイッチ」
- **自動調整バッテリー**:使用頻度の低いアプリの電池使用量を自動調整するか設定します。
- **電池残量**:ステータスバーに電池残量をパーセント表示するか設定します。
- **前回のフル充電**:フル充電後から経過した時間を確認できます。
- **フル充電以降の画面の電池使用状況**:フル充電後の電池使用時間を確認できます。

- 電池の最適化を行うと、各アプリの電池消費を抑えるため、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しないように設定されます。電池の最適化の設定についてはP.63「電池の最適化の設定」

長エネスイッチ

端末の機能を制限して、電池の消費を抑えることができます。

1 ホーム画面 ▶ [⚙️] ▶ [電池] ▶ [長エネスイッチ]

2 項目を選ぶ

- **自動的に ON**: 設定した電池残量以下の場合、長エネスイッチを自動でONにするか設定します。電池残量の設定はONにした場合に表示されるバーで行います。また、[今すぐONにする] / [今すぐOFFにする] をタッチすると電池残量に関係なく [長エネスイッチ] のON/OFFを設定できます。
- **画面の明るさを最小にする**: 長エネスイッチがONの場合に画面の明るさを最小値にするか設定します。
- **画面の滑らかさを制限する**: 長エネスイッチがONの場合に画面の滑らかな動作を制限するか設定します。

- 充電を開始すると長エネスイッチはOFFになります。

ディスプレイ

画面表示などについて設定します。

1 ホーム画面 ▶ [⚙️] ▶ [ディスプレイ]

2 項目を選ぶ

- **明るさのレベル**: 明るさ調整バーをドラッグして画面の明るさを調整します。
- **明るさの自動調節**: バックライトの明るさを自動で調整するか設定します。自動で調整を行わない場合は、手動で明るさを設定してください。
- **スリープ**: バックライトの点灯時間を設定します。
- **壁紙**: ホーム画面やタッチパネルのロック画面の画像を設定します。
 - [ロックフォトシャッフル] をONに設定すると、ディスプレイを表示させるたびにタッチパネルのロック画面の画像が自動的に切り替わるよう設定できます。
- **文字フォント設定**: 文字のサイズやフォントについて設定します。
- **表示サイズ**: 画面に表示されるアイコンなどのサイズを設定します。
- **ナビゲーションバーを隠す**: ナビゲーションバーを非表示にするか設定します。
 - ONに設定した場合は画面下部を上からスワイプすると、ナビゲーションバーが表示されます。
- **ヒカリエモーション**: ヒカリエモーションについては [P.129](#) [ヒカリエモーション]
- **リラックスビュー**: リラックスビューについては [P.130](#) [リラックスビュー]

- **のぞき見ブロック**:のぞき見ブロックについてはP.130「のぞき見ブロック」
- **アウトドアビュー**:明るい日差しの下で見やすい画質にするか設定します。
- **スクリーンセーバー**:スクリーンセーバーを利用するか設定します。
- **アンビエント表示**:アンビエント表示についてはP.130「アンビエント表示」
- **端末のテーマ**:端末のテーマ(ステータスパネルの背景色など)を設定します。
- **基本設定**:ディスプレイに表示する基本の画質を設定します。
- **バーチャルHDR**:標準動画をHDR動画のような画質にするか設定します。
- **はっきりビュー**:文字や地図が見えづらいときに画面をはっきり表示するか設定します。
- **画面の自動回転**:端末を回転させたとき、画面の表示も回転させるか設定します。

[明るさのレベル]について

- ディスプレイの明るさを上げると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

[スリープ]について

- 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

[文字フォント設定]について

- Google Playなどでダウンロードしたアプリを起動したときに、正しく表示されない場合があります。

[画面の自動回転]について

- 利用中のアプリによっては、設定に従わない場合があります。
- OFFに設定した場合、端末を回転させても、画面の表示は回転しません。アプリによってはナビゲーションバーに[]が表示され、タッチすると画面の表示が回転します。

ヒカリエモーション

着信時や充電開始時などに、ディスプレイに光の演出を表示します。

1 ホーム画面▶[]▶[ディスプレイ]▶[詳細設定]▶[ヒカリエモーション]

2 ONにする

3 項目を選ぶ

- **電話着信中**:着信時にヒカリエモーションを動作させるか設定します。
- **電話着信パターン/カラー**:着信時のヒカリエモーションの点滅パターンや点滅カラーについて設定します。
- **充電開始時**:充電開始時にヒカリエモーションを動作させるか設定します。
- **ロック解除時**:タッチパネルのロック解除時にヒカリエモーションを動作させるか設定します。
- **終話時**:通話が終了したときにヒカリエモーションを動作させるか設定します。

リラクスビュー

目に優しい画質の利用について設定します。

1 ホーム画面▶[]▶[ディスプレイ]▶[詳細設定]▶[リラクスビュー]

- [今すぐONにする] / [今すぐOFFにする] をタッチすると [リラクスビュー] の ON/OFF を設定できます。[今すぐONにする] / [今すぐOFFにする] は [スケジュール] を設定すると設定内容に合わせ表示が切り替わります。

2 項目を選ぶ

- **輝度**: [リラクスビュー] が ON の場合の輝度を調整します。
- **スケジュール**: 特定の時間帯に [リラクスビュー] を ON にするか設定します。[指定した時間に ON] に設定すると [開始時間] や [終了時間] を設定できます。

- [リラクスビュー] を ON にしていても、カメラ利用時は画面が通常の画質で表示されます。ただし、撮影画面からフォトの起動や直前に撮影した静止画 / 動画の表示を行った場合、画面はリラクスビューの画質で表示されます。

のぞき見ブロック

周りの人からディスプレイを見えにくくします。

1 ホーム画面▶[]▶[ディスプレイ]▶[詳細設定]▶[のぞき見ブロック]

2 項目を選ぶ

- **のぞき見ブロック**: [のぞき見ブロック] を ON にするか設定します。
- **表示パターン**: 表示パターンを設定します。
- **強弱設定**: 周りの人から見えにくくする効果 (濃淡) を調整します。

[のぞき見ブロック]について

- 電源を切ると [のぞき見ブロック] が OFF になります。

[表示パターン]について

- 周りの人から見えにくくする効果は、選択したパターンによってそれぞれ異なります。

アンビエント表示

画面消灯中の表示や動作について設定します。

1 ホーム画面▶[]▶[ディスプレイ]▶[詳細設定]▶[アンビエント表示]

2 項目を選ぶ

- **時計表示 ON**: 画面消灯中でも時刻や通知アイコンなどの情報を表示するか設定します。
- **新しい通知**: 通知が届いた場合に画面を点灯させるか設定します。

音

着信音・お知らせ音などについて設定します。

1 ホーム画面▶[🔊]▶[音]

2 項目を選ぶ

- **メディアの音量**:メディア音(音楽や動画など)の音量を設定します。
- **通話音量**:通話中の音量を設定します。
- **着信音の音量**:着信音の音量を設定します。
- **アラームの音量**:アラームの音量を設定します。
- **エモパーの音量**:エモパーの音量を設定します。
- **着信時もバイブレーションON**:着信時にバイブレータを動作させるか設定します。
- **高度なマナーモード**:高度なマナーモードについてはP.59「マナーモードの高度な設定」
- **着信音を停止**:着信音が鳴っている場合に[](電源キー)と[](+)を同時に押したときの動作を設定します。
- **着信音**:着信音を設定します。
- **デフォルトの通知音**:お知らせ音を設定します。
- **デフォルトのアラーム音**:アラーム音を設定します。
- **ダイヤルパッドの操作音**:ダイヤル音の有無を設定します。
- **画面ロック音**:タッチパネルのロック/ロック解除時の操作音の有無を設定します。
- **充電時の音**:充電を開始したときの音の有無を設定します。
- **タッチ操作音**:メニューなどをタッチしたときの操作音の有無を設定します。
- **タップ操作時のバイブ**:ナビゲーションバーなどに表示されるキーをタッチしたときにバイブレータを動作させるか設定します。

AQUOS便利機能

本端末に搭載されている便利な機能の設定を行います。

1 ホーム画面▶[🔊]▶[AQUOS便利機能]

2 項目を選ぶ

- **リッチカラーテクノロジーモバイル**:用途にあわせた最適な画質に設定する機能がまとめられています。各機能についてはP.128「ディスプレイ」
- **指紋センサー**:指紋センサーについてはP.139「指紋認証」
- **スクロールオート**:スクロールオートについてはP.132「スクロールオート」
- **エモパー**:エモパーについてはP.112「エモパー」
- **Clip Now**:Clip NowについてはP.132「Clip Now」
- **自動画面点灯**:自動画面点灯についてはP.133「自動画面点灯」
- **かんたんモード**:利用するホームアプリを[AQUOSかんたんホーム]に切り替えたり、フォントサイズを特大に設定するなど、見やすい画面に設定する機能がまとめられています。
 - [まとめてONにする]をタッチすると、個別設定を一括でONに設定することができます。
- **ロボクル設定**:ロボクル設定についてはP.133「ロボクル設定」

スクロールオート

表示中のサイトなどの画面を上下方向に自動でスクロールできます。

1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [スクロールオート]

2 項目を選ぶ

- **ON/OFF設定**:スクロールオートを利用するか設定します。
- **対象アプリ設定**:スクロールオートを動作させるアプリを設定します。
- **ステータスバーへの通知**:対象アプリが起動しているときに、お知らせアイコンで通知するか設定します。

■ 画面の自動スクロール

1 スクロールする方向に画面をドラッグ ▶ 表示された矢印に指を合わせ、指を離す

- 指を離すとスクロールを開始します。
- 約5分間動作するとスクロールを停止します。
- スクロール速度の調整: [⊕] / [⊖]
- スクロールの一時的停止 / 再開: [⏸] / [▶]
- スクロールの停止:画面をタッチ
- スクロールオートの設定: [🌀]

- 画面をドラッグする速度が速すぎると、矢印が表示されません。
- 画面の位置によっては、指を離しても自動スクロールしない場合があります。

- 自動スクロール中は画面の左端に [○] が表示され、スクロールの動きを表します。

Clip Now

画面の縁を指でなぞることで表示中の画面を画像(スクリーンショット)として撮影できます。

1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [Clip Now]

2 [Clip Now]の [🟢] / [🟡]

3 項目を選ぶ

- **Clip Now**:なぞる向きを設定します。
- **使い方ガイド**:Clip Nowについての説明を表示します。

- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

■ スクリーンショットの利用

1 保存したい画面をディスプレイに表示 ▶ 画面の縁をなぞる

- [Clip Now] で設定している向きになぞってください。

自動画面点灯

端末を持ち上げたときや手に持っているときのディスプレイ表示について設定します。

1 ホーム画面 ▶ [⚙️] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [自動画面点灯]

2 項目を選ぶ

- **持つと画面点灯**: ディスプレイの表示が消えている場合、端末を持ち上げて静止したときに、ディスプレイを表示させるか設定します。
- **Bright Keep**: 端末を手に持っているときはディスプレイの表示が消えないようにするか設定します。

[持つと画面点灯]について

- お買い上げ時は有効になっています。
- 次の場合などは、ディスプレイが表示されないことがあります。
 - 端末を持ったまま動いている場合 (乗車中)
 - 持ち上げる前や持ち上げたあとに、端末を動かし続けている場合
 - 垂直または水平に持ち上げた場合

[Bright Keep]について

- Bright Keepを設定し、端末を手に持っても、端末の静止状態が続いた場合や、一定時間何も操作していない場合はディスプレイの表示が消える場合があります。

ロボクル設定

ロボクル(市販品)に端末を接続すると、画面点灯時や充電開始、着信、アラームなどに合わせてロボクルが回転し、お客様の方を向きます。また、状況に合わせてエモパーがお話しします。ロボクルはエモパーと連動し、エモパー動作時にはお客様の方を向いてお話しします。

- エモパーをONにすると、より多くの場面でエモパーに連動してロボクルが動作します。

1 ホーム画面 ▶ [⚙️] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [ロボクル設定]

2 項目を選ぶ

- **ロボクルの動作**: 本端末をロボクルで充電しているときに、ロボクルを動作させるか設定します。
- **ロボクルの詳しい情報はこちら**: シャープのサイトに接続し、ロボクルについての詳しい情報を確認できます。

ストレージ

本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量／合計容量の確認、保存されているデータの表示などができます。

- 保存データの管理についてはP.151「ファイル操作」

1 ホーム画面▶[🏠]▶[ストレージ]

- 本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量／合計容量が表示されます。
 - microSDカードやUSBメモリを取り付けていない場合は、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。

2 ストレージを選ぶ

- [内部共有ストレージ]を選択すると、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。詳細画面で[ファイル]を選択すると、本体メモリに保存されているデータの一覧が表示されます。
- [SDカード]やUSBメモリ名を選択すると、保存されているデータの一覧が表示されます。
- microSDカードやUSBメモリのマウント解除: [SDカード]やUSBメモリ名の[▲]
- microSDカードやUSBメモリをマウント: [SDカード]／USBメモリ名を選ぶ▶[マウント]

microSDカード／USBメモリのフォーマット

microSDカードやUSBメモリを初期化します。



- 1 ホーム画面▶[🏠]▶[ストレージ]
- 2 [SDカード]／USBメモリ名を選ぶ
- 3 [⚙️]▶[ストレージの設定]▶[フォーマット]▶[SDカードをフォーマット]／[USBドライブをフォーマット]
- 4 操作暗証番号を入力▶[OK]
- 5 [完了]

- 初期化を行うと、microSDカードやUSBメモリの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

microSDカードの暗号化／暗号化解除

microSDカードを暗号化すると、microSDカード内のデータは、暗号化を実施した端末以外では利用できなくなります。通常のmicroSDカードとして使用するには、暗号化を解除する必要があります。


- 電池を十分に充電した状態で、充電しながら操作してください。
- あらかじめ画面ロックを[ロックNo. (PIN)]または[パスワード]に設定しておいてください。
 - 画面ロックについてはP.135「セキュリティと現在地情報」

- 1 ホーム画面▶[]▶[ストレージ]
- 2 [SDカード]
- 3 []▶[ストレージの設定]▶[暗号化]／[暗号化解除]▶[確認]
- 4 操作暗証番号を入力▶[OK]
- 5 [開始]

- microSDカードの空き容量が不足していると、暗号化／暗号化解除を実行できません。
- microSDカードを暗号化した状態で[すべてのデータを消去(出荷時リセット)]を行った場合、microSDカード内のデータを利用できなくなりますのでご注意ください。[すべてのデータを消去(出荷時リセット)]を行う前に、暗号化解除を行ってください。
- microSDカードを暗号化した端末に、暗号化していない別のmicroSDカードを取り付けた場合、microSDカードは読み取り専用となります。
- 読み取り専用のmicroSDカードは、暗号化することで書き込みが可能となります。
- microSDカードの暗号化／暗号化解除には時間がかかる場合があります。暗号化を実行中は充電を中止したり、microSDカードを取り外したりしないでください。暗号化が中断された場合、microSDカード内のデータが失われる可能性があります。


セキュリティと現在地情報

セキュリティロックや、位置情報などについて設定します。



- 1 ホーム画面▶[]▶[セキュリティと現在地情報]
- 2 項目を選ぶ
 - **Google Play プロテクト**: アプリや本端末に不正な動作がないかスキャンする機能について設定します。
 - **デバイスを探す**: Googleアカウントによる遠隔操作で、本端末の位置情報を検出したり、タッチパネルのロックや[すべてのデータを消去(出荷時リセット)]を実行できるようにするか設定します。
 - **セキュリティ アップデート**: セキュリティシステムのアップデートについて最新の状態が確認できます。セキュリティアップデートについてはP.172[システム アップデート]
 - **操作暗証番号設定**: 操作暗証番号の設定や変更をします。
 - **画面ロック**: 電源を入れたときやディスプレイを表示させたときのタッチパネルのロック解除方法やタッチパネルのロック動作について設定します。
 - **ロック画面の設定**: タッチパネルのロック画面に表示する通知やメッセージについて設定します。ロック画面の通知についてはP.126[アプリと通知]
 - **顔認証**: 顔認証に使う顔を登録します。顔を登録すると、画面ロックを顔認証でも解除できるようになります。顔認証についてはP.137[顔認証]

- **指紋**:指紋認証に使う指の指紋を登録します。指紋を登録すると、画面ロックを指紋認証でも解除できるようになります。指紋認証についてはP.139「指紋認証」
- **Smart Lock**:画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しているとき、信頼できる場所や信頼できる端末などを確認した場合は、タッチパネルのロックをスワイプで解除するように設定します。
- **位置情報**:位置情報についてはP.141「位置情報」
- **パスワードを表示**:PINコードなどを入力する際、[.]が表示される前に入力した文字を表示させることができます。
- **端末管理アプリ**:アプリのデバイス管理機能を設定します。アプリによっては、デバイス管理機能を有効にしないと利用できないものがあります。
- **SIM カードロック設定**:SIM カードロック設定についてはP.42「SIMカードロックを設定する」
- **暗号化と認証情報**:スマートフォンの暗号化の状態を確認したり、認証情報について設定します。
- **信頼できるエージェント**:タッチパネルのロックを解除するアプリ(エージェント)について設定します。
- **画面の固定**:選択したアプリ以外を使用できないようにします。操作方法についてはP.60「アプリ使用履歴」


【画面ロック】について

- 設定項目は次のとおりです。
 - なし:タッチパネルのロック画面を表示しません。
 - スワイプ:[]を上にもスワイプしてロックを解除します。
 - パターン:4つ以上の点を結ぶパターンを設定します。
 - ロックNo.(PIN):4~16桁の数字を設定します。
 - パスワード:4~16桁の英数字と半角記号を設定します。
 - ・一部の半角記号は利用できません。

- 画面ロックを[パターン]／[ロックNo.(PIN)]／[パスワード]に設定している場合、各種設定を行うときにロック解除の画面が表示される場合があります。ロック解除の画面が表示された場合は、設定している方法でロックを解除してください。
- 顔を登録している場合は顔認証でも解除することができます。
 - ・顔認証に5回連続して失敗すると、顔によるロック解除ができなくなります。画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。
- 指紋を登録している場合は指紋認証でも解除することができます。
 - ・指紋認証に5回連続して失敗すると、一定時間指紋によるロック解除ができなくなります。しばらくしてから再度操作するか、画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。
- [パターン]／[ロックNo.(PIN)]／[パスワード]の入力を間違えると、間違えた回数に応じて一定時間ロック解除ができなくなります。
 - 5回連続:30秒間
 - 10回連続:30秒間
 10回連続して間違えた場合、それ以降に間違えるごとに30秒間入力ができません。ロックを解除すると、カウントはリセットされます。

- 画面ロックの[]をタッチすると、次の項目を設定することができます。画面ロックの設定によって、表示される項目は異なります。
 - パターンを表示する: パターンの入力時の軌跡を線で表示します。
 - 自動ロック: タッチパネルがロックされるまでの時間を設定します。
 - 電源ボタンですぐにロックする:  (電源キー)を押してディスプレイの表示を消したときに、自動ロックで設定した時間にかかわらずタッチパネルをロックするか設定します。
 - ロック画面メッセージ: タッチパネルのロック画面に表示するメッセージについて設定します。
- [パターン] / [ロックNo. (PIN)] / [パスワード] を忘れた場合は、「お問い合わせ先」にお問い合わせください。

[Smart Lock]について

- Smart Lock利用中、タッチパネルのロック画面で[]などの解除アイコンをタッチすると、Smart Lockを一時的に無効にできます。

[暗号化と認証情報]について

- 証明書を削除した場合、[信頼できる認証情報]からは証明書の参照ができなくなりますが、他の機能からは証明書の参照が可能なままとなります。証明書を完全に削除する場合は認証ストレージの消去を行ってください。
- [認証ストレージの消去]をタッチすると、VPNの設定も削除されます。

顔認証

顔認証は、所有者の顔を認識する認証機能です。
タッチパネルのロック解除などを行うことができます。

■ 顔認証機能利用時のご注意

- 顔認証を最適形で実現するために、顔の登録時に以下の点に注意してください。
 - 明るい場所で顔を登録してください。ただし逆光となる場所では顔を登録しないでください。
 - 衣類、髪の毛、サングラス、マスクなどで顔を覆わないでください。
 - 顔全体を登録エリアの枠内に入れた状態で撮影し、頭を動かしたり、目を閉じたりしないようにしてください。
- ロック画面で顔認証を行う際は、以下の点に注意してください。
 - 極端に暗い場所や明るい場所、逆光となる場所では、顔認証の成功率が下がる場合があります。
 - 衣類、髪の毛、サングラス、マスクなどで顔の全体、あるいは一部が覆われると、顔認証の成功率が下がる場合があります。
 - 自分に似た人やモノでもロック解除されてしまう場合があります。

■ 顔の登録

顔認証に使う顔データを登録します。

- 顔は1件のみ登録できます。
- あらかじめ画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しておいてください(☞P.135「セキュリティと現在地情報」)。

1 ホーム画面▶[🔒]▶[セキュリティと現在地情報]▶[顔認証]

- 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

2 [次へ]

- [持ち上げると画面点灯する機能を有効にする]にチェックを入れて[持つと画面点灯]を有効に設定することができます(☞P.133「自動画面点灯」)。

3 内容を確認▶[OK]

4 登録する顔を画面に表示する

5 顔認証のタイミングを選ぶ▶[OK]

- [見るだけですぐ]を選択すると、タッチパネルのロック画面で顔認証を行います。
- [画面の表示(時計や通知など)を見てから]を選択すると、タッチパネルのロック画面で[🔒]を上にもスワイプしたあとの画面で顔認証を行います。

- 画面ロックを[なし]か[スワイプ]に設定すると、登録した顔が削除されますので、ご注意ください。

■ 顔認証の管理

顔を登録済みの場合に顔データの削除などができます。

1 ホーム画面▶[🔒]▶[セキュリティと現在地情報]▶[顔認証]

- 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

2 顔認証を管理する

- 登録した顔データの削除:[顔データの削除]▶[はい]
 - 削除後、[顔データの登録]をタッチすると、顔データを登録することができます。
- 顔認証のタイミングの変更:顔認証のタイミングを選択
- 顔認証について確認:[:]▶[顔認証とは]
- 注意事項の確認:[:]▶[注意事項]

■ 顔認証機能の利用

1 設定した顔認証のタイミングの画面でディスプレイを見る

指紋認証

指紋認証は、指紋センサーを指でタッチして行う認証機能です。タッチパネルのロック解除などを行うことができます。

■ 指紋認証機能利用時のご注意

- 指紋認証は、指紋画像の特徴情報を利用して認証を行います。指紋画像の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 認証性能(指紋センサーを正しく指でタッチした際に指紋が認証される性能)はお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
 - お風呂上がりなどで指がふやけている
 - 指が乾燥している
 - 指に汗や脂が多く、指紋の溝が埋まっている
 - 指が泥や油で汚れている
 - 指が汗などで濡れている
 - 手荒れや、指に損傷(切傷やただれなど)がある
 - 指の表面が磨耗して指紋が薄い
 - 太ったりやせたりして指紋が変化した
 - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- 指紋認証技術は、完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では、本端末を第三者に使用されたこと、または使用できなかったことによって生じる損害に関しては、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時のご注意

- ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。また、センサー表面を引っかいたり、ボールペンやピンなど先の尖ったものでつついたりしないでください。
- 指紋センサー表面にシールなどを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- ほこりや皮脂などの汚れが付着すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
- 指を離すのが早すぎると、正常に認識できないことがあります。指紋が認証されてから、指を離してください。
- 指紋センサーに指を触れたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離し、再度操作してください。

■ 指紋の登録

指紋認証に使う指の指紋を登録します。

- 指紋は5件まで登録できます。
- 読み取りに失敗する場合は、指を変えることで認証性能が改善されることがあります。
- あらかじめ画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しておいてください(※P.135「セキュリティと現在地情報」)。

1 ホーム画面▶[🌀]▶[セキュリティと現在地情報]▶[指紋]

- ホーム画面▶[🌀]▶[AQUOS便利機能]▶[指紋センサー]▶[指紋登録]でも指紋を設定できます。

2 [次へ]

- 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

3 [次へ]

4 指紋センサーを指の腹でタッチ

- 広い範囲の指紋を登録するため、指紋センサーに触れる部分を少しずつずらしながら、繰り返しタッチしてください。
- 指紋を登録すると、画面ロックを指紋認証でも解除できるようになります。
 - 指紋認証ができない場合は、画面ロックで設定した方法でロックを解除します。

5 [完了]

- 続けて別の指紋を登録する場合は、[別の指紋を登録]を選択してください。

- 画面ロックを[なし]か[スワイプ]に設定すると、登録した指紋が削除されますので、ご注意ください。

■ 指紋の管理

指紋の追加や削除、登録名の変更ができます。

1 ホーム画面▶[🌀]▶[セキュリティと現在地情報]▶[指紋]

- ホーム画面▶[🌀]▶[AQUOS便利機能]▶[指紋センサー]▶[指紋登録]でも指紋を設定できます。
- 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

2 指紋を管理する

- 指紋を追加: [指紋を追加]▶画面の指示に従って操作
- 登録名の変更: 登録済みの指紋をタッチ▶名前を入力▶[OK]
- 登録した指紋の削除: 登録済み指紋の[🗑️]▶[削除]

■ 指紋認証機能の利用

1 画面消灯中/タッチパネルのロック画面/指紋の認証画面で指紋センサーを指の腹でタッチ

- 画面消灯中に操作すると、タッチパネルのロックが解除され、ディスプレイが表示されます。
- 正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、再度操作してください。

■ ホームキーとして使う

指紋センサーをホームキーとして使うことができます。また、画面消灯中に指紋センサーをタッチして、ディスプレイを表示することができます。

- 指紋を登録していなかったり、登録した指紋と異なる指でタッチしても、操作できます。

1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [指紋センサー] ▶ [ホームキーとして使う]

■ ジェスチャーも使う

指紋センサーをなぞることで戻るキー／アプリ使用履歴キーとして使うことができます。

- あらかじめ[ホームキーとして使う]をONにしておいてください。

1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [指紋センサー] ▶ [ジェスチャーも使う]の [🟢] / [🟡]

- [ジェスチャーも使う]をタッチするとなぞる向きを変更することができます。

■ ナビゲーションバーを隠す

ナビゲーションバーを非表示にするか設定します。

- ONに設定した場合は画面下部を上からスワイプすると、ナビゲーションバーが表示されます。

1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [指紋センサー] ▶ [ナビゲーションバーを隠す]

位置情報

位置情報の測位について設定します。

1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [セキュリティと現在地情報] ▶ [詳細設定] ▶ [位置情報]


2 [位置情報の使用]をONにする

3 項目を選ぶ

- **アプリレベルの権限**: 位置情報の利用を許可するアプリを設定します。
- **スキャン**: 位置情報サービスやアプリが、位置情報の精度向上のためにWi-FiネットワークやBluetooth機器をスキャンするか設定できます。
 - ONにすると、[Wi-Fi]や[Bluetooth]をOFFにしている場合もスキャンします。
- 端末にGoogleアカウントを登録している場合は、Googleの位置情報サービスを利用できます。
- 最近の位置情報リクエストがある場合は、タッチするとアプリの情報を確認できます。

- 現在地を測位するためには、[位置情報の使用]をONに設定する必要があります。ご利用のアプリによっては、アプリで位置情報に関する設定が必要な場合があります。

アカウント

Googleなどのアカウントの設定については  P.41
「Googleなどのアカウントの設定を行う」

データの同期

端末とオンラインサービスとの間でデータを同期させることができます。データを同期させると、端末やパソコンからオンラインサービス上の同じ個人情報にアクセスし、データを利用・更新することができます。

自動同期するとき

各アカウントで設定された項目を自動的に同期するか設定します。

1 ホーム画面 ▶ ▶ [アカウント]

2 [自動的にデータを同期] ▶ [OK]

- 同期する項目の設定: アカウントの種類を選ぶ ▶ [アカウントの同期] ▶ 項目を選ぶ
- 本体メモリの電話帳とオンラインサービス上の連絡先を同期する場合、Googleアカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogleアカウントを登録してください。

手動同期するとき

- [自動的にデータを同期]がOFFのときは、選択した項目を手動で同期できます。

1 ホーム画面 ▶ ▶ [アカウント]

2 アカウントの種類を選ぶ ▶ [アカウントの同期]

3 同期する項目を選ぶ

ユーザー補助

ユーザー補助オプションについて設定します。

1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [ユーザー補助]

2 項目を選ぶ

- **音量キーのショートカット**: ユーザー補助機能をすばやく有効にできるようにするか設定します。
- **テキスト読み上げの設定**: 端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。
- **フォントサイズ**: 文字のサイズを設定します。
- **表示サイズ**: 画面に表示されるアイコンなどのサイズを設定します。
- **拡大**: ディスプレイを3回タッチするか [拡大] をタッチして拡大/縮小するか設定します。
- **大きなマウスポインタ**: ポインタを大きくするか設定します。
- **色反転**: ディスプレイに表示されている色を反転するか設定します。
- **色補正**: ディスプレイに表示されている色の補正について設定します。
- **アニメーションの削除**: 表示のアニメーションを省略するか設定します。
- **停止時間**: ポインタが停止した際の動作を設定します。
- **電源ボタンで通話を終了**: [電源キー] を押して通話を終了するか設定します。
- **画面の自動回転**: 端末を回転させたとき、画面の表示も回転させるか設定します。
- **押し続ける時間**: ロングタッチする時間を設定します。

- **バイブレーション**: 着信時や通知時、タッチ操作時にバイブレータを動作させるか設定します。
- **モノラル音声**: 音声再生時のチャンネルを統合するか設定します。
- **字幕**: 字幕の表示について設定します。
- **高コントラストテキスト**: 端末に表示される文字色のコントラストを高くして表示するか設定します。
- その他のユーザー補助サービスの利用については、画面の指示に従ってください。

【電源ボタンで通話を終了】について

- [スリープ] の設定に従ってディスプレイの表示が消えた場合は、[電源キー] を押すとディスプレイが表示されます。ディスプレイ表示中に [電源キー] を押すと、通話が終了します。

Digital Wellbeing と保護者による使用制限

本端末の利用習慣を確認したり、保護者による使用制限を設定し、オフラインで過ごす時間を作ります。

1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [Digital Wellbeing と保護者による使用制限]

2 項目を選ぶ

- **ダッシュボード**: 端末の利用時間や受信した通知の数などを確認できます。また、アプリの利用時間に制限を設けることができます。
- **おやすみモード**: 指定した時間に画面をグレースケールにしたり、高度なマナーモードを設定したりします。
- **フォーカス モード**: 集中の妨げになるアプリを一時停止します。
- **通知を管理**: アプリごとに通知を許可するか設定します。
- **サイレント モード**: 高度なマナーモードを設定します。高度なマナーモードについては [P.59](#)「マナーモードの高度な設定」
- **アプリの一覧にアイコンを表示**: ホーム画面に Digital Wellbeing のアイコンを表示するか設定します。

Google™

Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。

1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [Google]

2 項目を選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

システム

画面に表示される言語や日時の設定など、システムにかかわる設定を行います。

1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [システム]

2 項目を選ぶ

- **端末情報**: 端末情報については [P.145](#)「端末情報」
- **言語と入力**: 言語と入力については [P.145](#)「言語と入力」
- **操作**: 操作については [P.146](#)「操作」
- **日付と時刻**: 日付と時刻については [P.146](#)「日付と時刻」
- **バックアップ**: Googleアカウントを利用して、アプリのデータやWi-Fiパスワードなどを自動的にバックアップするか設定します。
- **データ引継**: データ引継については [P.147](#)「データ引継」
- **リセット オプション**: リセット オプションについては [P.149](#)「リセット オプション」
- **システム アップデート**: システム アップデートについては [P.172](#)「システム アップデート」
- **認証**: 技術基準適合証明書などの情報を確認できます。

端末情報

端末情報の確認ができます。

1 ホーム画面▶[]▶[システム]▶[端末情報]

2 項目を選ぶ

- **端末名**: 端末名を変更できます。
- **電話番号**: 電話番号を確認できます。
- **緊急時情報**: 緊急時情報を設定できます。
- **法的情報**: 著作権情報や利用規約などを確認できます。
- **センサー感度補正**: モーションセンサー、地磁気センサーの取得精度を補正します。
- **電池の状態**: 電池の状態を確認できます。
- **SIMのステータス**: nanoSIMカード情報を確認できます。
- **モデルとハードウェア**: モデル名やシリアル番号を確認できます。
- **IMEI**: IMEI情報を確認できます。
- **Androidバージョン**: Androidバージョンを確認できます。
- **IP アドレス**: IPアドレスを確認できます。
- **Wi-Fi MACアドレス**: MACアドレスを確認できます。
- **Bluetoothアドレス**: Bluetoothアドレスを確認できます。
- **ビルド番号**: ビルド番号を確認できます。

[センサー感度補正]について


- 補正画面が表示され、約10秒経過してから補正を行ってください。
- 補正を行う環境や同時に起動しているアプリによっては、補正に失敗することがあります。補正を行う場所を変えるか、起動中のアプリを終了させるなどしてください。

言語と入力

画面に表示される言語や、文字入力、テキスト読み上げなどについて設定します。

1 ホーム画面▶[]▶[システム]▶[言語と入力]

2 項目を選ぶ

- **言語**: 表示言語を選択します。
- **仮想キーボード**: ソフトウェアキーボードについて設定します。
- **物理キーボード**: Bluetoothなどで接続したキーボードについて設定します。
- **スペルチェック**: スペルチェックについて設定します。
- **自動入力サービス**: 自動入力サービスについて設定します。
 - []をタッチすると、Googleアカウントを利用した自動入力について設定できます。
- **単語リスト**: 任意の単語を単語リストに登録します。
- **ポインタの速度**: ポインタの速度を設定します。
- **テキスト読み上げの設定**: 端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。

[仮想キーボード]について

- 日本語を入力するときはS-Shoinを利用してください。S-Shoinの設定についてはP.50「文字入力の設定」

[スペルチェック]について

- 日本語には対応していません。

操作

□(電源キー)などを押したときの動作について設定します。

1 ホーム画面▶[⚙️]▶[システム]▶[操作]

2 項目を選ぶ

- **カメラの起動**:□(電源キー)を2回押して「カメラ」アプリを起動するか設定します。
- **ホームボタンを上をスワイプ**:ナビゲーションバーを上をスワイプしてアプリ使用履歴を表示するか設定します。
 - OFFに設定すると[□]が表示され、タッチするとアプリ使用履歴が表示されます。
- **着信音を停止**:着信音が鳴っている場合に□(電源キー)と□(+を同時に押したときの動作を設定します。

日付と時刻

日時の設定や表示形式について設定します。

1 ホーム画面▶[⚙️]▶[システム]▶[日付と時刻]

2 項目を選ぶ

- **日付と時刻の自動設定**:日時を自動的に補正するか設定します。
- **日付設定**:日付を手動で設定します。
- **時刻設定**:時刻を手動で設定します。
- **タイムゾーンの自動設定**:ネットワークから提供されたタイムゾーンを利用するか設定します。
- **タイムゾーンの選択**:タイムゾーンを手動で設定します。
- **24 時間表示を自動設定**:24時間制の時刻表示に切り替え、ユーザーの言語/地域の標準に合わせ、時刻を自動的に補正するか設定します。
- **24時間表示**:12時間制/24時間制を手動で切り替えます。

[日付と時刻の自動設定]をONにしたとき

- 電源を入れてもしばらく時刻が補正されない場合は、電源を入れ直してください。
- 電波状況によっては時刻を補正できないときがあります。
- 数秒程度の誤差が生じるときがあります。

データ引継

■ microSDカード／Bluetooth経由で引き継ぐ

別のAndroid端末のデータを取り込んだり、本端末のデータをmicroSDカードにバックアップ／復元することができます。また、別のAndroid端末の電話帳データをBluetooth機能を利用して取り込むこともできます。

- microSDカードにバックアップ／復元できるデータは次のとおりです。
 - 電話帳
 - SMS
 - スケジュール
 - ユーザー辞書／学習辞書 (S-Shoin)
 - エモパー
- microSDカードを利用したバックアップ／復元中は[機内モード]がONになります。
- 本体メモリの空き容量が少ない場合は、microSDカードにバックアップできないことがあります。
- microSDカードを利用する場合は、あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

1 ホーム画面 ▶ [⊙] ▶ [システム] ▶ [詳細設定] ▶ [データ引継] ▶ [SDカード／Bluetooth経由で引き継ぐ]

2 項目を選ぶ

- **データ取り込み**:microSDカードやBluetooth機能を利用してデータを取り込みます。
- **SDカードにデータ保存**:microSDカードにデータを保存します。
- **機能紹介**:使いかたを動画で確認することができます。

バックアップファイルの保存

- 1 ホーム画面 ▶ [⊙] ▶ [システム] ▶ [詳細設定] ▶ [データ引継] ▶ [SDカード／Bluetooth経由で引き継ぐ]
- 2 [SDカードにデータ保存]
- 3 保存するデータカテゴリを選ぶ
 - [電話帳]や[スケジュール]を選択した場合は保存するアカウントの選択画面が表示されます。
- 4 [保存] ▶ [はい]
- 5 [完了]

- 電池残量が少ないときは保存できません。

バックアップファイルの取り込み

- 1 ホーム画面 ▶ [⊙] ▶ [システム] ▶ [詳細設定] ▶ [データ引継] ▶ [SDカード/Bluetooth経由で引き継ぐ]
- 2 [データ取り込み]
- 3 [取り込む]
- 4 取り込むデータカテゴリを選ぶ ▶ 取り込むバックアップファイルを選ぶ ▶ [追加登録] / [削除して登録]
 - 確認画面が表示されます。以降は画面の指示に従って操作してください。
- 5 [完了]

- 電池残量が少ないときは取り込みできません。
- ユーザー辞書/学習辞書(S-Shoin)、エモパーは追加登録できません。[追加登録]を選択しても、既存のデータが削除されますので、ご注意ください。

バックアップファイルの設定・管理

- 1 ホーム画面 ▶ [⊙] ▶ [システム] ▶ [詳細設定] ▶ [データ引継] ▶ [SDカード/Bluetooth経由で引き継ぐ]
- 2 [:] ▶ [設定]
- 3 項目を選ぶ
 - **バックアップファイルの整理**: 保存されているバックアップデータを削除できます。
 - **電話帳画像バックアップ**: 電話帳のバックアップ時に電話帳に登録された画像もバックアップするか設定します。
 - **結果画面閲覧**: 最新のバックアップファイルの保存/取り込みの結果を表示します。

Bluetooth機能を利用して電話帳データを取り込む

- 1 ホーム画面 ▶ [⊙] ▶ [システム] ▶ [詳細設定] ▶ [データ引継] ▶ [SDカード/Bluetooth経由で引き継ぐ]
- 2 [データ取り込み]
- 3 [スマートフォンから電話帳データを取り込む]
- 4 [次へ]

5 取り込み元の端末でBluetooth機能をONにする

▶ [次へ]

- 取り込み元の端末がAndroidの場合は、取り込み元の端末が本端末に表示されるように、取り込み元の端末を設定してください。

6 取り込み元の端末を選ぶ

7 [開始]

- ペア設定の確認画面が表示された場合は [ペア設定する] を選択してください。
- 連絡先へのアクセス許可を有効にするなど、取り込み元の端末で操作が必要な場合は行ってください。

8 [次へ]

9 [追加登録] / [削除して登録] ▶ [OK]

- アカウントが複数ある場合は登録するアカウントの選択画面が表示されます。

10 [OK]

■ Wi-Fi経由で引き継ぐ

iPhone端末からデータを引き継ぐ場合、Wi-Fi経由での引き継ぎをおすすめします。

1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [システム] ▶ [詳細設定] ▶

[データ引継] ▶ [Wi-Fi経由で引き継ぐ]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

リセット オプション

1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [システム] ▶ [詳細設定] ▶ [リセット オプション]

2 項目を選ぶ

- **Wi-Fi、モバイル、Bluetooth をリセット**: Wi-Fi、モバイルデータ、Bluetoothに関する設定をすべてリセットします。
- **アプリの設定をリセット**: アプリに設定した内容をすべてリセットします。
- **すべてのデータを消去 (出荷時リセット)**: 本体メモリ内のすべてのデータをリセットします。

[すべてのデータを消去 (出荷時リセット)] について

- [SDカード内データも消去する] を有効にすると、microSDカード内のデータも同時に消去されます。
- 消去されるデータは次のとおりです。
 - 作成、保存、登録したデータ
 - 「設定」アプリで設定した内容
 - ダウンロードしたアプリ

お困りのときは

「よくあるご質問」の確認や設定項目の検索など、お困りのときに利用できる機能がまとめられています。

1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [お困りのときは]

2 項目を選ぶ

- **よくあるご質問**: シャープのサイトに接続し、「よくあるご質問」を確認できます。
- **設定項目を検索**: 検索入力欄にキーワードを入力すると、設定項目を検索できます。
- **使いこなしガイド**: 「使いこなしガイド」を確認できます。
- **セルフチェック**: 症状や機能を選択して、端末の診断を行います。

■ セルフチェック

1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [お困りのときは] ▶ [セルフチェック]

- セーフモードで再起動: [⋮] ▶ [セーフモードで再起動] ▶ [OK]

2 [診断する]

3 [症状から選ぶ] / [診断したい箇所を選ぶ]

4 項目を選ぶ

- [診断したい箇所を選ぶ]の場合は、項目を選んで[次へ]をタッチします。また、項目の[?]をタッチすると、診断についてのヘルプが表示されます。

5 [次へ]

6 [診断開始]

- 診断の中止: [⏏] ▶ [診断中止]
- 診断履歴をタッチすると、結果を確認することができます。

ファイル管理

ストレージ構成

■ 本体メモリ(内部ストレージ)

端末内にデータを保存できます。

- 本体メモリのストレージ名とパスは次のとおりです。
 - ・ ストレージ名:内部共有ストレージ
 - ・ パス:/storage/emulated/0
- お買い上げ時の本体メモリのフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータの種類などは次のとおりです。
 - ・ 本端末の操作状況により、表示されるフォルダが異なる場合があります。

Alarms	アラーム音などが保存されます。
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなどが保存されます。
DCIM	端末で撮影した静止画や動画が保存されます。
Download	Chromeでダウンロードしたファイルが保存されます。
Movies	動画などが保存されます。
Music	音楽データなどが保存されます。
Notifications	お知らせ音などが保存されます。
Pictures	静止画などが保存されます。
Podcasts	ポッドキャストから取り込んだ音楽データなどが保存されます。
Ringtones	着信音などが保存されます。

Y!mobile Mail	メールのバックアップデータなどが保存されます。
---------------	-------------------------

■ microSDカード(外部ストレージ)

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- microSDカードについてはP.36「microSDカード」

ファイル操作

本体メモリやmicroSDカードに保存されたデータの管理(フォルダの作成やフォルダ/ファイルの名称変更、削除、移動、コピーなど)ができます。また、データを削除して本体メモリの空き容量を増やすことができます。

1 ホーム画面▶[🌀]▶[ストレージ]

- microSDカードを取り付けていない場合は、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。

2 ストレージを選ぶ

- [内部共有ストレージ]を選択すると、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。詳細画面で[ファイル]を選択すると、本体メモリに保存されているデータの一覧が表示されます。
- microSDカードを選択すると、保存されているデータの一覧が表示されます。

■ フォルダを作成

- 1 データ一覧画面で[**⋮**]▶[新しいフォルダ]
- 2 フォルダ名を入力▶[OK]

■ フォルダ名/ファイル名を変更

- 1 データ一覧画面でフォルダ/ファイルをロングタッチ
- 2 [**:**]▶[名前を変更]
- 3 フォルダ名/ファイル名を入力▶[OK]

■ フォルダ/ファイルを削除

- 1 データ一覧画面でフォルダ/ファイルをロングタッチ
- 2 [**🗑**]▶[OK]

■ フォルダ/ファイルを移動/コピー

- 1 データ一覧画面でフォルダ/ファイルをロングタッチ
- 2 [**:**]▶[移動...]/[コピー...]
- 3 移動先/コピー先で[移動]/[コピー]

■ ファイルを検索

- 1 データ一覧画面で[**🔍**]
- 2 検索するキーワードを入力▶[Q]

■ 本体メモリの空き容量を増やす

ダウンロードしたデータやほとんど使われないアプリなどを削除して、本体メモリの空き容量を増やすことができます。

- 1 ホーム画面▶[**+**]▶[ストレージ]▶[内部共有ストレージ]▶[空き容量を増やす]
 - microSDカードを取り付けていない場合は、ホーム画面▶[**+**]▶[ストレージ]▶[空き容量を増やす]と操作してください。
- 2 削除するデータを選ぶ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

Bluetooth®機能

端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- 対応バージョンや出力についてはP.173「主な仕様」

■ 対応プロファイル(対応サービス)

- プロファイルとは、Bluetooth機器の通信手順を製品の特性ごとに標準化したものです。本端末は次のプロファイルに対応しています。
 - HSP:Headset Profile(ヘッドセットプロファイル)※1
 - HFP:Hands Free Profile(ハンズフリープロファイル)※2
 - A2DP:Advanced Audio Distribution Profile(アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル)※3
 - AVRCP:Audio/Video Remote Control Profile(オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル)※3
 - HID:Human Interface Device Profile(ヒューマンインターフェースデバイスプロファイル)※4
 - OPP:Object Push Profile(オブジェクトプッシュプロファイル)※5
 - SPP:Serial Port Profile(シリアルポートプロファイル)※6
 - FTP:File Transfer Profile(ファイルトランスファープロファイル)※7
 - PBAP:Phone Book Access Profile(フォンプブックアクセスプロファイル)※8

- PAN:Personal Area Networking Profile(パーソナルエリアネットワークプロファイル)※9
- HOGP:HID Over GATT Profile(エイチアイディーオーバーガットプロファイル)※10

- ※1 端末に市販のBluetooth対応ヘッドセットをBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。
- ※2 端末にカーナビなど市販のBluetooth対応ハンズフリー機器をBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリー通話できます。
- ※3 端末に市販のBluetooth対応オーディオ機器をBluetooth接続すると、ワイヤレスで音楽などを再生できます。また、Bluetooth機器からリモコン操作できる場合もあります。ただし、データの種類によっては対応する機器が制限されます。
- ※4 端末にキーボードやマウスなど市販のBluetooth対応入力デバイスをBluetooth接続すると、Bluetooth機器から端末を操作できます。
- ※5 端末にBluetooth機器をファイル転送サービスで接続すると、Bluetooth機器との間でデータの送受信を行うことができます。
- ※6 仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続することができます。
- ※7 Bluetooth機器との間でデータの送受信を行うことができます。
- ※8 Bluetooth機器に本体メモリの電話帳データを転送することができます。電話帳データの内容によっては、相手のBluetooth機器で正しく表示されない場合があります。

- ※9 パソコンなどのネットワークに参加し、インターネット接続を共有することができます。また、端末にパソコンなどをBluetooth接続すると、Bluetooth テザリングを行うこともできます。
- ※10 端末にキーボードやマウスなどのBluetooth Smart機器をBluetooth接続すると、Bluetooth Smart機器から端末を操作できます。

- Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- SCMS-T非対応のBluetooth機器では、音声出力できない場合があります。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

Bluetooth機器を利用するときは、次の事項にご注意ください。

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
 - 端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
 - 電気製品、AV機器、OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときは、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。

- 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
 - 電車内
 - 航空機内
 - 病院内
 - 自動ドアや火災報知機から近い場所
 - ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Wi-Fi対応機器との電波干渉について

- Bluetooth機器と無線LAN (IEEE802.11b/g/n) は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。

Bluetooth機能の利用

- Bluetooth機器の登録・接続には、Bluetoothパスキーの入力が必要な場合があります。登録を始める前にお好きな1～16桁の数字を決めておき、端末・相手のBluetooth機器で同じ数字を入力してください。
- あらかじめ相手のBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。

1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [接続済みの端末] ▶ [接続の設定] ▶ [Bluetooth]

2 ONにする

3 [新しいデバイスとペア設定する]

4 Bluetooth機器を選ぶ ▶ [ペア設定する]

- 接続確認画面が表示される場合があります。
 - 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーを入力する場合があります。また、登録完了後、続けて接続まで行う場合があります。
- 最大7台まで同時に接続できます。プロフィールによっては、正しく動作しない場合や、同時に接続できる機器数が異なる場合があります。
- 接続に失敗する場合、Bluetooth機器を再登録すると接続できるようになる場合があります。
- [Bluetooth]をONにすると、他のBluetooth機器からの登録要求／接続要求を受けられる状態になります。他のBluetooth機器から検索する場合は、本体設定の[接続済みの端末]を表示しておいてください。

- 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。
- 相手のBluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をお読みください(ご覧になる取扱説明書によっては、「更新」の代わりに「検索」または「サーチ」、「ペア設定」の代わりに「ペアリング」または「機器登録」などと表記されています)。

■ Bluetooth機器からの登録要求や未登録のBluetooth機器からの接続要求を受けた場合

1 Bluetooth機器からの登録要求／接続要求

2 ペア設定画面で[ペア設定する]

- ステータスバーに[Bluetooth]が表示された場合はステータスバーを下にドラッグ ▶ [ペアに設定して接続] ▶ [ペア設定する]と操作してください。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーの入力をする場合もあります。
- 接続確認画面が表示される場合があります。

■ Bluetooth機器の管理

1 ホーム画面▶[Bluetooth]▶[接続済みの端末]

2 Bluetooth機器を選ぶ

- Bluetooth機器によっては、[Bluetooth]が表示される場合があります。その場合は、[Bluetooth]をタッチしてください。
- 接続解除している登録機器を管理する場合は、[以前接続されていたデバイス]▶管理するBluetooth機器の[Bluetooth]と操作してください。

3 Bluetooth機器を管理する

- 利用する機能をタッチして、ON/OFFを切り替えることができます。
- 名称変更:[編集]▶名前を入力▶[名前を変更]
- 接続/接続解除:[接続]/[接続を解除]
- 登録解除:[削除]▶[このデバイスとのペア設定を解除]

■ 本端末の名称変更

相手のBluetooth機器に表示される本端末の名称を変更できます。

- [Bluetooth]をONにしてから設定してください。

1 ホーム画面▶[Bluetooth]▶[接続済みの端末]▶[接続

の設定]▶[Bluetooth]

2 [端末名]

3 名前を入力▶[名前を変更]

Bluetooth通信送受信

■ データを送信

例:静止画のとき

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[フォト]

2 送信する静止画をロングタッチ

3 [共有]▶[Bluetooth]

- 受信側のBluetooth機器を受信待ち状態にします。

4 接続するBluetooth機器を選ぶ

■ データを受信

1 送信側のBluetooth機器からデータ送信

2 ステータスバーを下にドラッグ▶着信通知の[承諾]

3 ステータスバーを下にドラッグ▶受信したデータを選ぶ

- データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

NFC通信

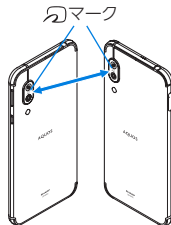
NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やReader/Writer機能、P2P機能などが本端末でご利用いただけます。

Android Beam

Reader/Writer, P2P機能を搭載した端末との間でデータを送受信できます。

- あらかじめ[Reader/Writer, P2P]を有効にし、[Android Beam]をONにしておいてください(☞P.105「NFC/おサイフケータイ 設定」)。
- 機内モードやNFC/おサイフケータイ ロックを設定している場合は、Android Beamを利用できません。
- 電話帳、静止画、動画などを送受信できます。
- アプリによってはAndroid Beamをご利用になれません。
- すべてのReader/Writer, P2P機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。


■ Android Beamのご利用にあたって



- 図のように受信側と送信側の端末のマークを重ね合わせてご利用ください。
- データの送受信が終わるまでは、端末を動かさないでください。
- 相手の端末によっては、データを送受信しにくいことや端末を近づけた際にディスプレイの表示が消えてしまうことがあります。そのときは、マーク同士の間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。
- その他の注意事項は対向機にかざす際の注意事項と同様です(☞P.105「対向機にかざす際の注意事項」)。

■ データを送信

例:電話帳のとき

- 1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[電話帳]
- 2 名前を選ぶ
- 3 相手の端末と  マークを重ね合わせる
 - [タップしてビーム]が表示されます。
- 4 画面をタッチ

■ データを受信

- 1 相手の端末と  マークを重ね合わせる

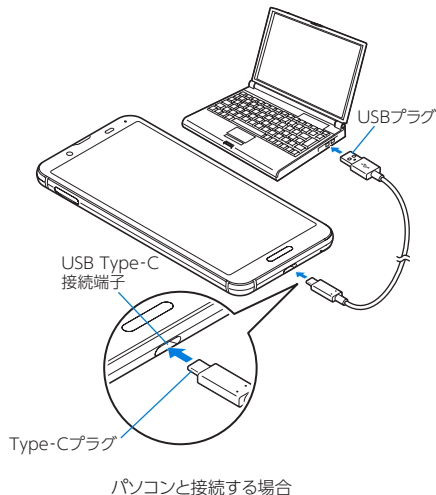
外部機器接続

パソコンなどとの接続

本端末とパソコンなどを接続することで、本端末または相手機を充電したり、本体メモリまたはmicroSDカードのデータを転送したりできます。

USB Type-Cケーブル(市販品)を使って接続する場合は、次の操作を行います。

- 1 USB Type-CケーブルのUSB Type-Cプラグを、本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む
- 2 USB Type-CケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む
 - 本端末にUSBの設定画面が表示されます。表示されない場合は、ステータスバーを下にドラッグして、USB接続の使用方法についての通知を選んでください。



3 [USB の管理]でデバイス側を選ぶ

- **接続済みの端末**:接続済みの相手端末がデバイスになります。
- **この端末**:本端末がデバイスになります。
- 接続する相手機によっては[この端末]から[接続済みの端末]に切り替えることができません。この場合、デバイス側は本端末に設定されます。
 - [接続済みの端末]を選択してデバイス側を切り替えることができる相手機はRole Swap対応機器(例:AQUOS sense3同士の接続)です。Role Swap対応機器を市販の両プラグがType CのUSBケーブルで接続した場合に切り替えることができます。この場合、相手機をホスト/本端末をデバイスにして相手機から本端末のストレージ(本体メモリまたはmicroSDカード)のデータを操作したり、本端末をホスト/相手機をデバイスにして本端末から相手機のストレージのデータを操作できます。

4 [USB の使用]でUSB接続の使用方法を選ぶ

- **ファイル転送**:MTP対応の相手機と本体メモリまたはmicroSDカードの間でデータを転送します。
- **USB テザリング**:USB テザリングについてはP.124「テザリング」
- **MIDI**:端末をMIDI入力に使用します。
- **PTP**:PTP対応の相手機と本体メモリの間で静止画を転送します。
- **データ転送なし**:端末の充電のみ利用できます。
- [USB の管理]で[この端末](本端末がデバイス)の場合に設定できます。
[接続済みの端末]に設定している場合は、相手機(相手機側で[この端末]に設定)で操作してください。

5 利用が終わったら、USB Type-Cケーブルを取り外す

- 本端末に対応するUSBケーブルをご利用ください。プラグ部の形状が異なるものは使用できません。
- USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 一度に大量のデータを転送した場合、転送が中断することがあります。その場合はデータを分けて転送してください。
- データのやりとりをしているときは、USBケーブルを取り外さないでください。データが壊れることがあります。
- 接続可能なパソコンのOSは、Windows 8.1、Windows 10(いずれも日本語版)です。

Role Swap対応機器(例:AQUOS sense3同士の接続)を接続した場合の充電について

- USBの設定画面で[接続端末の充電]をONに設定すると相手機を充電することができます。

プリントサービスによる印刷／保存

印刷用アプリ(プラグイン)を利用して画像を印刷したり、Googleドライブなどに画像を保存したりできます。

例:フォトを利用するとき

- 1 フォトの画像表示画面で[⋮]▶[印刷]
- 2 各項目を設定
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

USBホスト機能

本端末にはUSBホスト機能が搭載されています。市販の周辺機器接続用USBケーブルをUSB Type-C接続端子に接続することでマウスなどのUSB機器を利用できます。

- USBホスト機能について詳しくは、周辺機器接続用USBケーブルやUSB機器の取扱説明書をご覧ください。
- USBホスト機能を使用する前に本端末を充電してください。
- すべてのUSB機器との接続を保証するものではありません。
- 電池残量が少なくなったり、本端末の温度が低下すると自動的に本端末の電源が切れる場合があります。
- USBホスト機能の利用中は端末の動作が遅くなる場合があります。
- 消費電力の大きなUSB機器を接続する場合、端末の動作状態や電池残量、周囲温度によっては自動的に端末の電源が切れることがあります。

USBメモリの取り外しについて


- USBメモリの取り外しは、USBメモリをマウント解除してから行ってください(☞P.134「ストレージ」)。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

キャスト

キャスト対応のテレビなどに端末の画面と音声を出力します。

- Miracast対応テレビやアダプタなど、その他のMiracast対応機器と接続することもできます。
- 接続機器側の操作については、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。


- 1 ホーム画面▶[🔗]▶[接続済みの端末]▶[接続の設定]▶[キャスト]
- 2 [::]▶[ワイヤレスディスプレイの有効化]
 - [ワイヤレスディスプレイの有効化]を有効にすると[WIFI]がONになり、接続可能な機器や接続したことのある機器がリスト表示されます。
- 3 接続する機器を選ぶ
 - 接続する機器によっては、確認画面が表示されます。内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。
 - 接続解除:接続中の機器をタッチ▶[接続を解除]
 - 機器の表示名を変更:表示名を変更する機器の[🔗]▶名前を入力▶[完了]
 - 機器をリストから削除:削除する機器の[🔗]▶[削除]

- キャスト機能を利用する機器を設定すると、対応するアプリでキャストアイコン()が表示される場合があります。
- 起動しているアプリや表示しているコンテンツによっては、出力ができない場合があります。
- 起動しているアプリによっては、途中で終了する場合があります。
- 出力中は、著作権保護コンテンツを再生できないことがあります。
- 電池残量が少なくなった場合は、自動的に出力を停止します。
- 周囲の環境によっては、無線の干渉を受けて映像が乱れたり音飛びが発生したりする場合があります。また、接続に失敗したり、出力が切れてしまう場合があります。端末とテレビなどを障害物やその他の無線機器のない見通しの良い環境でご利用ください。

VPN(仮想プライベートネットワーク)

VPNの追加

VPN(Virtual Private Network)とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。

- 端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。
- あらかじめ画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しておいてください( P.135「セキュリティと現在地情報」)。

1 ホーム画面▶  ▶ [ネットワークとインターネット]▶ [詳細設定]▶ [VPN]▶ 

2 各項目を設定▶ [保存]

VPNの接続

- 1 ホーム画面 ▶ [⊙] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [詳細設定] ▶ [VPN]
- 2 接続するVPNを選ぶ
- 3 VPNの接続情報を入力 ▶ [接続]

VPNの切断

- 1 ホーム画面 ▶ [⊙] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [詳細設定] ▶ [VPN] ▶ 画面の指示に従って操作

海外利用

海外でご利用になる前に

本端末は世界対応ケータイです。お使いのワイモバイル携帯電話の電話番号をそのまま海外で利用できます。

本端末はお買い上げ時、自動的に滞在地域の適切な通信事業者に接続するように設定されています。

特定の通信事業者を利用したい場合は、手動で選択することもできます。

その他、必要に応じて通信方式、データローミングの設定を変更してください。

海外で利用するための設定

通信事業者の設定

1 ホーム画面▶[]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]

2 [詳細設定]

3 [ネットワークを自動的に選択]をOFFにする

- 利用可能なネットワークを検索して表示します。

4 通信事業者のネットワークを選ぶ

- 設定後、別の通信事業者のネットワークを選ぶ場合は[ネットワーク]をタッチし、通信事業者のネットワークを選びます。

ローミング

1 ホーム画面▶[]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]

2 [ローミング]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。

滞在先で電話をかける／受ける

海外にお出かけになるときは、「世界対応ケータイ海外ご利用ガイド」を携帯してください。

海外発信アシスト機能

本端末には、海外発信アシスト機能が搭載されています。海外から電話をかけるときに、発信方法を選択することができます。

- 1 ホーム画面▶[📞]▶[⌂]
- 2 [設定]▶[通話]▶[SoftBank通話設定]
- 3 [国際発信設定]▶[海外発信アシスト機能]

日本に電話をかける

- 1 ホーム画面▶[📞]▶[🇯🇵]
- 2 電話番号を入力
 - 電話番号の先頭には「+」を付けないでください。
- 3 [📞]▶[日本の番号へ発信]
- 4 通話が終了したら[🔴]

滞在国外(日本以外)に電話をかける

- 1 ホーム画面▶[📞]▶[🇯🇵]
- 2 「+」(「0」をロングタッチ)▶国番号、地域番号(市外局番)、相手先電話番号の順に入力
 - 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要になる場合があります。
- 3 [📞]
- 4 通話が終了したら[🔴]

滞在国内に電話をかける

- 1 ホーム画面▶[📞]▶[🇯🇵]
- 2 地域番号(市外局番)、相手先電話番号の順に入力
 - 電話番号の先頭には「+」を付けないでください。
- 3 [📞]▶[このまま発信]
- 4 通話が終了したら[🔴]

トラブルシューティング(FAQ)

故障かな？と思ったら

- システムをアップデートする必要があるかをチェックして、必要な場合にはシステムをアップデートしてください(☞P.172「システム アップデート」)。
- 端末のセルフチェックを行ってください(☞P.150「セルフチェック」)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、「お問い合わせ先」にご相談ください。

■ 電源

症状	チェック項目
本端末の電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池切れになっていませんか。(☞P.37「充電」)
画面が動かない、電源が切れない	<ul style="list-style-type: none"> ● \square (電源キー) を8秒以上押しと、強制的に電源を切ることができます。 ● バイプレータが動作したあとに手を離すと、電源が切れます。 ● 強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

症状	チェック項目
充電ができない 充電ランプが点灯しない、または点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ● 指定のACアダプターの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。(☞P.38「ACアダプターで充電」) ● ACアダプターをご使用の場合、ACアダプターのUSB Type-Cプラグと本端末がしっかりと接続されていますか。(☞P.38「ACアダプターで充電」) ● パソコンとUSB Type-Cケーブル(市販品)をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。 ● 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。(☞P.37「充電時のご注意」) ● 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。 ● 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。

■ 端末操作

症状	チェック項目
操作中・充電中に熱くなる	<ul style="list-style-type: none"> • 操作中や充電中、また、充電しながら動画視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、ACアダプターが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。☞P.37「充電時のご注意」

症状	チェック項目
電池の使用時間が短い	<ul style="list-style-type: none"> • 圏外の状態でも長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。圏外が続く場所では電源を切るか、機内モードを設定してください。☞P.39「電源を切る」、P.120「ネットワークとインターネット」 • 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。☞P.173「主な仕様」 • 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、「お問い合わせ先」またはワイモバイルショップへご相談ください。☞P.23「内蔵電池の交換について」 • 使用していないアプリは終了してください。 • 使用していない無線機能はOFFにしてください。☞P.120「Wi-Fi」、P.155「Bluetooth機能の利用」 • 長工ネスイッチを利用すると、電池の消費を抑えることができます。☞P.128「長工ネスイッチ」
タッチしたり、キーを押したりしても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> • 端末の電源が切れていませんか。☞P.39「電源を入れる」

症状	チェック項目
タッチしたり、キーを押したりしたときの画面の反応が遅い	<ul style="list-style-type: none"> 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。【P.134「ストレージ」】
nanoSIMカードが認識しない	<ul style="list-style-type: none"> nanoSIMカードを正しい向きで挿入していますか。【P.34「nanoSIMカード」】
時計がずれる	<ul style="list-style-type: none"> 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。[日付と時刻の自動設定]がONになっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。【P.146「日付と時刻」】
端末動作が不安定	<ul style="list-style-type: none"> お買い上げ後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモード*で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
アプリが正しく動作しない(起動できない、エラーが頻繁に起こるなど)	<ul style="list-style-type: none"> 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。【P.127「アプリの有効」】 アプリの動作に必要な機能の利用を許可していますか。【P.62「アプリに必要な許可」】 電池の最適化を行っていませんか。【P.63「電池の最適化」】

※セーフモードとはお買い上げ時に近い状態で起動させる機能です。

• セーフモードの起動方法

電源が切れている状態から電源を入れ直し、起動中の画面でタッチパネルのロック画面が表示されるまで[←]を押し続けてください。

※電源を入れた状態で[電源キー] (2秒以上) ▶ [電源を切る]をロングタッチ ▶ [OK]と操作しても、セーフモードで再起動ができません。

また、セルフチェックからも、セーフモードで再起動ができません。【P.150「セルフチェック」】

※セーフモードが起動すると画面左下に[セーフモード]と表示されます。

※セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。

• 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。

• ウィジェットによっては消去される場合があります。

• セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。

■ 通話

症状	チェック項目
発信ができない	<ul style="list-style-type: none"> 機内モードを設定していませんか。 ☞P.120「ネットワークとインターネット」
着信音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> 着信音量を「0」にしていませんか。 ☞P.131「音」 マナーモード、機内モードを設定していませんか。 ☞P.59「マナーモードのモード切替」、P.120「ネットワークとインターネット」 着信拒否を設定していませんか。 ☞P.79「着信拒否を設定」 簡易留守録設定の「応答時間設定」を短い時間に設定していませんか。 ☞P.79「通話の設定」

症状	チェック項目
通話ができない (場所を移動しても[■]の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れ直すか、nanoSIMカードを入れ直してください。 ☞P.34「nanoSIMカード」、P.39「電源を入れる／切る」 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は[■]を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 着信拒否など着信制限を設定していませんか。 ☞P.79「着信拒否を設定」 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ 画面

症状	チェック項目
ディスプレイが暗い	<ul style="list-style-type: none">バックライトの点灯時間を短く設定していませんか。☞P.128「ディスプレイ」ディスプレイの明るさを変更していませんか。☞P.128「ディスプレイ」[明るさの自動調節]をONに設定していませんか。ONにしている場合は、周囲の明るさによって変わります。☞P.128「ディスプレイ」[のぞき見ブロック]をONに設定していませんか。☞P.130「のぞき見ブロック」[長エネスイッチ]をONに設定していませんか。☞P.128「長エネスイッチ」

■ 音声

症状	チェック項目
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	<ul style="list-style-type: none">通話音量を変更していませんか。☞P.76「通話音量調節」

■ メール

症状	チェック項目
メールを自動で受信しない	<ul style="list-style-type: none">メールのアカウントの設定で同期頻度を[自動確認しない]に設定していませんか。☞P.83「メールのアカウントの設定」

■ カメラ

症状	チェック項目
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	<ul style="list-style-type: none">カメラで近くの被写体を撮影するときは、撮影メニューを[接写]に切り替えてください。☞P.95「撮影メニューの切替」カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。☞P.89「カメラをご利用になる前に」
モバイルライト点灯時に撮影した静止画や動画が白っぽくなる	<ul style="list-style-type: none">カメラのレンズ周辺にケースやカバー、指などがあると、モバイルライトの光が反射して撮影した静止画や動画に悪影響を与えます。

■ おサイフケータイ

症状	チェック項目
おサイフケータイが使えない	<ul style="list-style-type: none"> NFC／おサイフケータイ ロックを設定していませんか。【P.105「NFC／おサイフケータイ ロック」】 本端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。【P.31「各部の名称と機能」、P.105「対向機にかざす際の注意事項」】

■ データ管理

症状	チェック項目
データ転送が行われない	<ul style="list-style-type: none"> USB HUBや変換プラグを使用していますか。USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。【P.159「パソコンなどとの接続」】 USB接続の用途を正しく設定していますか。【P.159「パソコンなどとの接続」】
microSDカードに保存したデータが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> microSDカードを取り付け直してください。【P.36「microSDカード」】
画像が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 画像データが壊れている場合は黒色の画像が表示されます。

■ Bluetooth機能

症状	チェック項目
Bluetooth通信対応機器と接続ができない／検索しても見つからない	<ul style="list-style-type: none"> Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。【P.155「Bluetooth機能の利用」】
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない	<ul style="list-style-type: none"> 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。【P.39「電源を入れる／切る」】

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法
SIM カードなし - 通信サービスは ありません	• nanoSIMカードが正しく差し込まれて いるかご確認ください。[P.34 「nanoSIMカード」]
試行回数が上限を 超えました。指紋認 証センサーを無効 にしました。	• 指紋認証に5回失敗したあと、しばらく たってから指紋認証を行う操作をして合 計20回失敗した場合に表示されます。指 紋認証ではロックを解除できなくなりま すので、画面ロックで設定した方法で ロックを解除してください。
所定の回数以上間 違えました。しばら くしてからもう一 度お試しください。	• 指紋認証に5回失敗した場合に表示され ます。状況に応じて、画面ロックで設定し た方法でロックを解除してください。
認識されませんで した	• 指紋の読み取りに失敗した場合に表示さ れます。
指を少しずらして タッチしてくださ い	
指を離してから、も う一度センサーに 触れてください。	
しっかりと指紋セ ンサーをタッチし てください	

システム アップデート

ネットワークを利用して本端末のシステムアップデートが必要かどうかを確認し、必要なときには手動でアップデートできます。

- アプリについて
新しいアプリが追加／更新されたり、アプリの名称やアイコン、操作方法、画面表示などが変更されたりすることがあります。
- システムアップデート時のご注意
システムアップデートするときは、次の点についてご注意ください。
 - システムアップデートには時間がかかることがあります。
 - 電波状態の良い所で、移動せずに操作してください。また、電池残量が十分ある状態で操作してください。システムアップデート途中に電波状態が悪くなったり、電池残量がなくなると、アップデートに失敗することがあります（アップデートに失敗すると本端末が使用できなくなることがあります）。
- データバックアップについて
本端末の状況（故障・破損・水濡れなど）によっては、保存されているデータが破棄されることがあります。必要なデータは、システムアップデート前にバックアップしておくことをおすすめします。なお、データが消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

システムのアップデート

システムアップデートが必要なときは、通知が表示されます。通知をタッチし、画面に従って操作してください。通知が表示されない場合などは、次の手順で必要かどうかを確認してアップデートできます。

1 ホーム画面▶[]▶[システム]▶[詳細設定]▶[システム アップデート]▶[アップデートを確認]

- システムアップデート中も他の機能を使用できます。
- システムアップデートが進むと最後に[今すぐ再起動]が表示されます。タッチして、システムアップデートを完了させてください。
- システムアップデートに失敗すると、本端末が使用できなくなる場合があります。本端末が使用できなくなった場合は、「お問い合わせ先」にご相談ください。

主な仕様

■ 端末

サイズ	高さ:約147mm、幅:約70mm、厚さ:約8.9mm (最厚部:約9.8mm)	
重量	約167g	
ディスプレイ	サイズ	約5.5インチ
	種類	TFT (IGZO)
	解像度 (ピクセル数 横×縦)	Full HD+ (1080×2160)
	発色数	16,777,216色
内蔵メモリ	RAM:4Gバイト ROM:64Gバイト*1	
バッテリー容量	4000mAh	
連続待受時間*2	4G	静止時:約850時間
	4G LTE	静止時:約850時間
連続通話時間*3	4G LTE	約2,680分
充電時間	ACアダプター (試供品): 約175分	

無線LAN	対応規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac 準拠 (IEEE802.11n対応周 波数帯:2.4GHz/5GHz)
	MIMO対応	-
	MU-MIMO(クライ アント)対応	○
	MIMO対応規格	-
	MU-MIMO(クライ アント)対応規格	IEEE802.11ac
Bluetooth※4	バージョン	5.0
	出力	Bluetooth標準規格 BR/ EDR : Power Class1、LE : PowerClass1.5
	対応プロファイ ル※5/コーデック	HSP (1.2)、HFP (1.7) ※6、 A2DP (1.3) ※7、AVRCP (1.6)、HID (1.0)、OPP (1.2)、SPP (1.2)、PBAP (1.2)、FTP (1.1)、PAN (PAN-NAP) (1.0)、PAN (PANU) (1.0)、HOGP (1.0)
イヤホンマイ ク端子	端子径	3.5mmステレオミニプラ グ
	極数	4極

カメラ	撮像素子	種類	標準カメラ:裏面照射型 CMOS※8 広角カメラ:裏面照射型 CMOS※8 インカメラ:裏面照射型 CMOS※8
		サイズ	標準カメラ:1/2.8インチ 広角カメラ:1/2.8インチ インカメラ:1/4.0インチ
	有効画素数		標準カメラ:約1200万画素 広角カメラ:約1200万画素 インカメラ:約800万画素
	記録画素数		標準カメラ:約1200万画素 広角カメラ:約1200万画素 インカメラ:約800万画素
	記録 ファイル 形式※9	動画	MP4
		静止画	JPEG
	動画1件あたりの最 大録画時間		制限なし※10
	ズーム (デジタル)	動画	アウトカメラ:最大約8.0倍 インカメラ:最大約8.0倍
		静止画	アウトカメラ:最大約8.0倍 インカメラ:最大約8.0倍
	動画再生	対応コーデック	H.263、H.264、H.265、 VP8、VP9、MPEG-4

音楽再生	対応コーデック	AAC LC、AAC+、enhanced AAC+、enhanced low delay AAC、AMR-NB、AMR-WB、FLAC、MP3、MIDI、Vorbis、PCM/WAVE、Opus
多言語対応※11		英語、中国語(簡体字)、インドネシア語、ベトナム語、タイ語、ポルトガル語
簡易留守録	保存可能件数	最大50件
	1件あたりの最大録音可能時間	最大60分

- ※1 メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたアプリやデータなどの保存にすべての容量を使用することはできません。使用可能な空き容量については、「ストレージ」(P.134)をご参照ください。
- ※2 連続待受時間とは、電池の充電を満たし、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。データ通信/緊急速報メールを無効に設定したときの数値です。
使用環境(充電状況、気温など)や機能の設定状況などにより、ご利用時間が変動します。
- ※3 連続通話時間とは、電池の充電を満たし、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
使用環境(充電状況、気温など)や機能の設定状況などにより、ご利用時間が変動します。
- ※4 Bluetooth機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、データのやりとりができない場合があります。

- ※5 Bluetooth対応機器同士の使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。
- ※6 音声コーデックmSBC(16kHz)、CVSDに対応しています。
- ※7 音声コーデックaptX、aptX HD、SBC、AACに対応していません。
- ※8 CMOS(complementary metal-oxide semiconductor: 相補型金属酸化膜半導体)とは、銀塩カメラのフィルムにあたる部分を構成する撮像素子です。
- ※9 「カメラ」利用時の仕様です(※P.89「カメラについて」)。
- ※10 動画撮影時間は本端末のメモリの空き容量により異なります。
- ※11 Android標準でサポートしている全言語にも対応。表示できる言語はそれぞれのアプリに依存します。

■ ACアダプター(試供品)

電源	AC100V~240V、0.8A、50/60Hz共用
出力電圧・出力電流	DC 5.0V 3.0A/7.0V 3.0A/ 9.0V 3.0A/12.0V 2.25A
充電温度範囲	5℃~35℃
使用湿度	35%~85%
サイズ[幅×高さ×奥行]	約40mm×約75mm×約28mm(電源プラグ、突起部除く)
ケーブルの長さ	約1.5m

本製品の比吸収率(SAR)について

本項目における【SH-M12】とは、本端末【AQUOS sense3】を示しています。

本製品の比吸収率(SAR)について

この機種【SH-M12】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

電波の人体吸収に関する国の技術基準^{*1}は、人体の近くで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)について、2W/kgの許容値を越えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分に安全な値として設定されており、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインにおける値と同じ値です。

本携帯電話機【SH-M12】の側頭部におけるSARの最大値は1.490W/kg^{*2}であり、また下記の方法^{*3}により身体に装着した場合のSARの最大値は0.330W/kg^{*2}です。これらは、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満たしています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)に規定されています。

- ※2 <携帯電話サービス>と同時に使用可能な無線機能を含みます。
- ※3 側頭部以外の位置におけるご使用方法
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用になるなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波の人体吸収に関する国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のウェブサイトをご参照ください。

総務省のウェブサイト

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のウェブサイト

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

世界保健機関

<https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/>

欧州における電波ばく露の影響に関する情報

本携帯電話機【SH-M12】は、国際的ガイドラインが定める電波の許容値を超えないことが確認されています。このガイドラインは、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSARの許容値は2W/kgで、本携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.775W/kg、アクセサリ等により人体より0.5センチ以上離して、その間に金属(部分)が含まれないようにして使用する場合のSARの最大値は1.215W/kgです。

適合宣言書 (簡易版) ※1

本携帯電話機【SH-M12】は、EU指令2014/53/EUに適合しています。詳しくは下記メーカーウェブサイトをご参照ください:

<https://jp.sharp/k-tai/>

※1 本適合宣言書は英語が正文です。日本語は参考のために記載しています。

米国連邦通信委員会 (FCC) の電波ばく露の影響に関する情報

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。

測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、本携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.92W/kg、下記のとおりに従って身体に装着した場合のSARの最大値は0.33W/kgです。

身体装着の場合: この携帯電話機【SH-M12】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.0センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.0センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。上記の条件に該当しない装身具は、FCCの定めるSAR許容値を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率 (SAR) に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のウェブサイトをご参照してください。

FCC Radio Frequency Safety (英文のみ)

<https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>

Radio Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR) Information

[SH-M12] here refers to this mobile phone [AQUOS sense3].

Specific Absorption Rate (SAR) for This Product (for Japan)

This mobile phone **[SH-M12]** is compliant with the Japanese technical regulations* and international guidelines for exposure to radio waves.

The Japanese technical regulations on human exposure to radio frequency energy have established permitted levels of radio frequency energy, based on the standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The regulation employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The value of the limit is equal to the value stipulated in the international guideline recommended by ICNIRP**, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for this mobile phone is 1.490 W/kg*** when tested for use at the ear, and 0.330 W/kg*** when worn on the body in the below manner****.

While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, all phones meet the Japanese technical regulations.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the phone during operation can be well below the maximum value.

* The technical regulation is provided in the Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

*** The value is under simultaneous transmission use conditions.

**** Use at positions other than at the ear

This mobile phone may be used at positions other than at the ear. By using an accessory such as a belt clip holster that maintains a 1.5 cm separation with no metal (parts) between the body and the mobile phone, this mobile phone will comply with international guidelines for radio wave protection.

The WHO has announced that "A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

For more information about SAR, see the following websites:

Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)
<https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)
<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>
(Japanese)

World Health Organization
<https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/>

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health. The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.775 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body. In this case, the highest tested SAR value is 1.215 W/kg* at the separation distance of 0.5 cm from the body. For electronic safety, maintain the separation distance with accessories containing no metal, that position handset a minimum of the above distance. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Simplified Declaration of Conformity for **【SH-M12】**
Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type **【SH-M12】** is in compliance with Directive 2014/53/EU. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:
<https://jp.sharp/k-tai/>.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.92 W/kg, and when worn on the body in a holder or carry case, is 0.33 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the handset.

The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly. The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/> after searching on FCC ID APYHRO00275. Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>.

FCC ID Location

The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed from Home Screen as follows:

[] ▶ [System] ▶ [Advanced] ▶ [Authentication].

CE/FCC Notice

"SH-M12" here refers to this mobile phone "AQUOS sense3."

Handset

Do not disassemble or modify handset.

Regulatory information

In some countries/regions including Europe*, there are restrictions on the use of 5GHz WLAN that may limit the use to indoors only.

Please check the local laws and regulations beforehand.

※ The following EU and EFTA member countries:

Belgium (BE), Bulgaria (BG), Czech Republic (CZ), Denmark (DK), Germany (DE), Estonia (EE), Ireland (IE), Greece (EL), Spain (ES), France (FR), Croatia (HR), Italy (IT), Cyprus (CY), Latvia (LV), Lithuania (LT), Luxembourg (LU), Hungary (HU), Malta (MT), Netherlands (NL), Austria (AT), Poland (PL), Portugal (PT), Romania (RO), Slovenia (SI), Slovakia (SK), Finland (FI), Sweden (SE) and United Kingdom (UK), Switzerland (CH), Liechtenstein (LI), Iceland (IS), Norway (NO).

Norway: Use of this radio equipment is not allowed in the geographical area within a radius of 20 km from the centre of Ny-Alesund, Svalbard.

Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type SH-M12 is in compliance with Directive 2014/53/EU. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:
<https://jp.sharp/k-tai/>

Manufacturer's Address:

SHARP CORPORATION,

1 Takumi-cho, Sakai-ku, Sakai-shi, Osaka 590-8522, Japan

● Description of accessories

AC Charger	For charging
Headset, Handsfree	Φ3.5 audio jack, Bluetooth
USB cable	For charging, peripherals, etc.
microSD Card	microSD/microSDHC/microSDXC
nano SIM card	Y!mobile SIM card / non-Y!mobile SIM cards Non-Y!mobile SIM cards can be used after SIM unlocking the handset.

● Frequency range of supported bands in EU

GSM 900	Tx 880.2 to 914.8 MHz Rx 925.2 to 959.8 MHz
DCS 1800	Tx 1710.2 to 1784.8 MHz Rx 1805.2 to 1879.8 MHz
WCDMA FDD I	Tx 1922.4 to 1977.6 MHz Rx 2112.4 to 2167.6 MHz
WCDMA FDD VIII	Tx 882.4 to 912.6 MHz Rx 927.4 to 957.6 MHz
LTE Band 1	Tx 1922.5 to 1977.5 MHz Rx 2112.5 to 2167.5 MHz
LTE Band 3	Tx 1710.7 to 1784.3 MHz Rx 1805.7 to 1879.3 MHz
LTE Band 8	Tx 880.7 to 914.3 MHz Rx 925.7 to 959.3 MHz

Bluetooth	Tx 2402 to 2480 MHz Rx 2402 to 2480 MHz
WLAN 2.4 GHz	Tx/Rx 2412 to 2472 MHz (BW: 20 MHz only)
WLAN 5 GHz	W52(U-NII 1): Tx/Rx 5180 to 5240 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 5190 to 5230 MHz (BW: 40 MHz) Tx/Rx 5210 MHz (BW: 80 MHz) W53(U-NII 2A): Tx/Rx 5260 to 5320 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 5270 to 5310 MHz (BW: 40 MHz) Tx/Rx 5290 MHz (BW: 80 MHz) W56(U-NII 2C): Tx/Rx 5500 to 5700 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 5510 to 5670 MHz (BW: 40 MHz) Tx/Rx 5530 to 5610 MHz (BW: 80 MHz)
NFC	Tx/Rx 13.56 MHz
GNSS	GPS: Rx L1 (1575.42 MHz) GLONASS: Rx G1 (1598.0625 to 1605.375 MHz) Galileo: Rx E1 (1575.42 MHz) BeiDou: Rx B1 (1561.098 MHz)

● Maximum transmit power

GSM 900	+33 dBm (Power Class4)
DCS 1800	+30 dBm (Power Class1)
WCDMA FDD I	+24 dBm (Power Class3)
WCDMA FDD VIII	+24 dBm (Power Class3)
LTE Band 1	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 3	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 8	+23 dBm (Power Class3)
Bluetooth	+11.5 dBm (Power Class1)
WLAN 2.4 GHz	+14.0 dBm
WLAN 5 GHz	+12.0 dBm
NFC	0 dB μ A/m at 10 m

CAUTION

Use only included AC adapter.

May cause fires, burns, bodily injury, electric shock, etc. if you use a device other than included one.

Do not throw the handset into a fire or heat it.

May cause fires, burns, bodily injury, etc.

Battery is built into handset. Do not dispose of handset with ordinary refuse; take it to a Y!mobile Shop for appropriate disposal.



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Earphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 128.0 mV.

Avoid using the handset in extremely high or low temperatures.

Use the handset within the range of a temperature between 5° C and 35°C and a humidity between 45% and 85%.

Refer to the following for details on using it at a bathroom.

※P.25“本端末が有する防水/防塵性能でできること”

Charge battery in areas where ambient temperature is between 5°C and 35°C.

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes. Especially when you use it for young children, keep sufficient distance from them.

Do not use mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents etc.

■ Bluetooth function

- Bluetooth is a registered Trademark of Bluetooth SIG, Inc.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Y!mobile Customer Support

General Information

From a Y!mobile handset, dial 151 (charges apply).

輸出管理規制

本端末を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがあります。旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。米国輸出規制により本端末をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
- 実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- ㊟はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- Bluetoothは、米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。Bluetooth is a registered Trademark of Bluetooth SIG, Inc.
- Wi-Fi®, Wi-Fi Direct®, Miracast®, Wi-Fi Protected Access® (WPA)はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- WPA2™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<https://www.openssl.org>)
この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- This product includes cryptographic software written by Eric Young(eay@cryptsoft.com)
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2019 All Rights Reserved.
iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2019 All Rights Reserved.
- 本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ R、新ゴ Mを搭載しています。
「新ゴ」は、株式会社モリサワの登録商標です。

- Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.
Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries.
aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.
- 本製品の音声合成ソフトウェアにはHOYA株式会社のVoiceTextを使用しています。VoiceTextは、Voiceware社の登録商標です。
- 本製品で使用しているクラウド音声認識技術は、フェアリーデバイス株式会社のmimi[®] powered by NICTを使用しています。
- mimi[®]はフェアリーデバイス株式会社の登録商標です。
- Google、Google ロゴ、Android、Google Play、Google Play ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google カレンダー[™]、Google マップ[™]、Google マップ ロゴ、Google Chrome[™]、Google Chrome ロゴ、Chromebook、Google 音声検索[™]、Google 音声検索 ロゴ、YouTube、YouTube ロゴ、Google ドライブ、Google ドライブ ロゴ、Google 検索、Google 検索 ロゴ、Google Lens、Google Lens ロゴ、Google フォト[™]、Google フォト ロゴ、Google アシスタント、Google アシスタント ロゴ、Google Playムービー&TV ロゴ、YouTube Music[™]、YouTube Music ロゴ、Google Pay、Google One、Google One ロゴ、Google ニュースは、Google LLC の商標です。

- 「AQUOS／アクオス」、 「AQUOS Home」、 「AQUOSかんたんホーム」、 「AQUOS便利機能」、 「AQUOS beauty」、 「Bright Keep」、 「ワンタッチシャッター」、 「あとからキャプチャー」、 「インテリジェントフレーミング」、 「AIライブストーリー」、 「ロボクル／ROBOQUL」、 「エモパー／emopa」、 「エモパーメモ」、 「エモパーヘルスケア」、 「エモパーク／emopark」、 「バーチャルHDR」、 「セルフィーフラッシュ」、 「エスショイン／S-Shoin」、 「クリップナウ／Clip Now」、 「ヒカリエモーション」、 「ロックフォトシャッフル」、 「長エネスイッチ」、 「リッチカラーテクノロジーモバイル／Rich color technology Mobile」、 「リラックスビュー／RelaxView」、 「はっきりビュー」、 「からだメイト」、 「COCORO BOOKS」、 「LCフォント／LCFONT」、 「AQUOS」ロゴ、 「AQUOS sense3」ロゴ、LCロゴマークはシャープ株式会社の商標または登録商標です。



- 「Yahoo!」および「Yahoo!」のロゴマークは、米国Oath Inc.の登録商標または商標です。
- LINEおよびLINEロゴは、LINE株式会社の商標です。
- SoftBankおよびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されておられません。
 - MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ（以下「MPEG-4ビデオ」と記載します）を符号化すること。
 - 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。
 - ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または (ii) AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておられません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
<https://www.mpegla.com>をご参照ください。

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
 - Windows 10は、Microsoft® Windows® 10 (Home、Pro、Enterprise、Education) の略です。
 - Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。
 - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate) の略です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面▶ [🔗] ▶ [システム] ▶ [端末情報] ▶ [法的情報] ▶ [サードパーティ ライセンス] をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License (MPL) に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/>

索引

名前から探す

あ

アイコンの見かた	55
アウトドアビュー	129
アカウント	82
アカウントを追加	85
明るさの自動調節	128
明るさのレベル	128
アクセスポイント名	122
新しい通知	130
新しい連絡先のデフォルト アカウント	82
あとからキャプチャーで編集	101
あなたについて	113
アニメーションの削除	143
アプリ一覧	67
アプリ情報	127
アプリ使用履歴	60
アプリ初回起動時の確認画面について	62
アプリと通知	126
アプリに必要な許可	62
アプリの一覧にアイコンを表示	144
アプリの権限	63
アプリの購入	102
アプリの設定をリセット	149
アプリのデータ使用量	123

アプリレベルの権限	141
アラーム	108
アラームの音量	131
暗号化と認証情報	136
暗証番号入力	106
安全上のご注意(必ずお守りください)	6
以前接続されていたデバイス	125
位置情報	141
位置情報付加	98
一括シンプル切替	51
色反転	143
色補正	143
印刷	125
インテリジェントフレーミング	97
インポート	82
英語	52
エクスポート	82
エモパー	112
エモパー選択	113
エモパー使い方ガイド	113
エモパーの音量	131
エモパーの記憶	113
エモパーの話題	113
エモパーへの話しかけ方	113
エモパーヘルスケア	113
エモパーメモ	113
大きなマウスポインタ	143
オート	95
オートHDR	97
オープン ネットワークの通知	121
お困りのときは	150
おサイフケータイ	103

「おサイフケータイ対応サービス」の利用	104
おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって	103
押し続ける時間	143
お支払い方法	87
おすすめ機能の紹介	113
音	131
音とバイブレーション	79
主な仕様	173
おやすみモード	144
音量キーのショートカット	143

か

海外でご利用になる前に	164
海外発信アシスト機能	165
海外利用	164
ガイド線	97
ガイド表示	51
外部アプリ連携	50
顔認証	137
学習辞書リセット	
その他	52
文字入力の設定	50
拡大	143
各部の名称と機能	31
画質とデータ量	98
仮想キーボード	145
括弧内カーソル移動	52
カナ英数キー表示	51
壁紙	128
壁紙の設定	66

カメラについて	89
カメラの起動	146
カメラの設定	97
カメラをご利用になる前に	89
画面の明るさを最小にする	128
画面の固定	136
画面の自動回転	
ディスプレイ	129
ユーザー補助	143
画面の滑らかさを制限する	128
画面表示/アイコン	55
画面ロック	135
画面ロック音	131
からだメイト	116
カレンダー	110
カレンダーの設定	111
簡易留守録	79
かんたんモード	131
キー操作	50
キー操作音	52
キー操作バイブ	52
キー操作バイブ時間	52
キーボードイメー	
表示	51
文字入力の設定	50
キーボードタイプ	
表示	51
文字入力の設定	50
キーボードの見かた	48
キーポップアップ	52
期間	59
輝度	130

機内モード	120
機能紹介	147
機能のショートカットの利用	66
機能利用中の操作	45
基本設定	129
基本操作	44
基本動作について	113
キャスト	161
逆光	95
強弱設定	130
緊急時情報	145
緊急速報メール	126
緊急通報	74
クイックアクセス	78
クイック返信	79
くっきり	95
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	176
結果画面閲覧	148
言語	
Chromeの設定	88
言語と入力	145
言語と入力	145
検索エンジン	87
高コントラストテキスト	143
構図補正した静止画の表示	99
構内IP電話設定	121
候補学習	51
候補表示エリア	51
この端末	160

さ

サイトの設定	88
サイトの表示	86
サイレントモード	144
削除	77
撮影画面の見かた	91
残像	95
時刻設定	146
辞書	50
システム	144
システム アップデート	172
自動大文字変換	51
自動カーソル移動	52
自動外部変換	52
自動画面点灯	133
自動スペース入力	51
自動調整バッテリー	127
自動的に ON	
長エネスイッチ	128
マナーモードの高度な設定	59
自動入力サービス	145
字幕	143
指紋	136
指紋認証	139
写真	95
写真サイズ	97
住所やその他の情報	87
充電	37
充電開始時	129
充電時の音	131

終話時	129
受信済みファイル	125
証明書のインストール	121
ショートムービーの再生	100
初期設定	40
白とび／黒つぶれ表示	98
信頼できるエージェント	136
水準器	98
数字キーを表示	51
スキャン	141
スクリーンショットの撮影	47
スクリーンセーバー	129
スクロールオート	132
スケジュール	130
スケジュールの削除	112
スケジュールの作成	111
ステータスバーへの通知	132
ステータスパネルの利用	58
ストップウォッチ	110
ストレージ	134
ストレージ構成	151
すべてのデータを消去(出荷時リセット)	149
スペルチェック	145
スリープ	128
静止画の撮影	96
静止画を含む動画の再生	100
世界時計	109
セキュリティ アップデート	135
セキュリティと現在地情報	135
接写	95
接続済みの端末	
接続済みの端末	125

パソコンなどとの接続	160
設定項目を検索	150
設定メニュー	119
設定リセット	
静止画撮影／動画撮影の共通設定	98
その他	52
文字入力の設定	50
セルフタイマー表示	98
セルフチェック	150
前回のフル充電	127
センサー感度補正	145
全般	111
全般設定	85
その他の設定	79

た

対向機にかざす際の注意事項	105
滞在国外(日本以外)に電話をかける	165
滞在国内に電話をかける	165
対象アプリ設定	132
タイマー	109
タイムゾーンの自動設定	146
タイムゾーンの選択	146
タイムラプス	95
ダイヤルパッドの操作音	131
ダウンロード	88
ダウンロード辞書	52
ダウンロード辞書を追加	52
ダッシュボード	144
タッチ操作音	131

タッチパネルの操作	44
タップ操作時のパイプ	131
単語登録	50
単語リスト	145
端末管理アプリ	136
端末情報	145
端末内やサイトの情報の検索	48
端末のテーマ	129
端末名	145
知的財産権について	185
着信音	131
着信音とバイブレーション	59
着信音の音量	131
着信音を停止	
音	131
操作	146
着信拒否	79
着信時もバイブレーションON	131
着信／充電ランプ	55
着信のブロック	79
注意事項	113
長エネスイッチ	128
ちらつき防止	98
通信事業者の設定	164
通知	
Chromeの設定	87
アプリと通知	126
マナーモードの高度な設定	59
通知ドット	67
通知ドットに件数表示	67
通知を管理	144

通話	
通話設定	79
マナーモードの高度な設定	59
通話音量	131
通話サービス設定	79
通話設定	79
通話中の操作	75
通話の設定	79
通話履歴	76
通話履歴の利用	77
使い方ガイド	132
使いこなしガイド	150
停止時間	143
ディスプレイ	128
データ使用量	123
データセーバー	123
データ転送なし	160
データ取り込み	147
データの警告と制限	124
データの同期	142
データ引継	147
テキスト読み上げの設定	
言語と入力	145
ユーザー補助	143
テザリング	124
デバイスを探す	135
デフォルトアプリ	126
デフォルトのアラーム音	131
デフォルトの通知音	131
電源ボタンで通話を終了	143
電源を入れる／切る	39
電卓	112

電池	127
電池残量	127
電池の最適化	63
電池の状態	145
電話アプリについて	79
電話着信中	129
電話着信パターン/カラー	129
電話帳	80
電話帳画像バックアップ	148
電話帳について	82
電話帳の確認/利用	81
電話帳の登録	80
電話帳を設定	82
電話/電話帳	72
電話番号	145
電話番号指定	79
電話を受ける	75
電話をかける	72
動画サイズ	98
動画の撮影	96
同期と Google サービス	87
特別なアプリアクセス	126
トグル入力	52
時計	108
時計表示 ON	130
トラブルシューティング (FAQ)	166
取り扱い上のご注意	16

な

ナビゲーションバーを隠す	128
--------------	-----

日本語	52
日本語候補学習	51
日本語予測変換	51
日本語ワイルドカード予測	51
日本に電話をかける	165
入力モード切替	50
認証	144
ネット変換エンジン	52
ネットワークとインターネット	120
ネットワーク評価プロバイダ	121
のぞき見ブロック	
設定	130
のぞき見ブロック	130

は

バージョン情報	52
バーチャルHDR	129
バイブレーション	143
パスワード	87
パスワードを表示	136
パソコンなどとの接続	159
はっきりレビュー	129
バックアップ	144
バックアップファイルの整理	148
発信前に番号を編集	77
半角スペース入力	51
番号をコピー	77
番号をブロック	77
ヒカリエモーション	129
非通知着信	79

日付設定	146
日付と時刻 設定	146
日付と時刻の自動設定	146
ビデオ	95
表示サイズ	
ディスプレイ	128
ユーザー補助	143
表示する連絡先	82
表示パターン	130
ビルド番号	145
ファイル操作	151
ファイル転送	160
フォーカス設定	98
フォト	99
フォントサイズ	143
ブックマーク	88
プッシュ信号の入力	73
物理キーボード	145
プライバシー	87
プライバシーポリシー	85
プライベート DNS	120
フリック感度	52
フリック・トグル	50
プリントサービスによる印刷／保存	161
フル充電以降の画面の電池使用状況	127
プレフィックス	79
ブロックした番号	82
ふんわり	95
ヘルプ	98
変換キー表示(テンキーボード)	51
ボイスメール	79

ポインタの速度	145
防水／防塵／耐衝撃性能	23
法的情報	145
ポートレート	95
ホーム画面にアイコンを追加	67
ホーム画面の回転を許可	67
ホーム画面の管理	66
ホーム画面の設定	67
ホーム切替	64
ホームページ	87
ホームボタンを上にはスワイプ	146
保存先設定	98
保留	76
本端末で利用する暗証番号について	42
本端末のご利用について	5

ま

マイク設定	98
マップ	107
マニュアル	95
マルチウィンドウ	61
メール／ウェブブラウザ	83
メールのアカウントの設定	83
メールの削除	85
メールの設定	85
メールの送信	83
メールの表示	
Eメール	84
Gmail	85
メールの返信／転送	84

メールリモートロック設定	105
メッセージ、予定、リマインダー	59
メディアの音量	131
目次	2
文字削除キー動作	52
文字入力	48
文字入力のしかた	53
文字入力の設定	50
文字フォント設定	128
持つと画面点灯	133
モデルとハードウェア	145
モノクロ	95
モノラル音声	143
モバイルデータ	
データ使用量	123
モバイル ネットワーク	122
モバイル ネットワーク	122

や

ユーザー情報	82
ユーザー補助	143
ユーザー補助機能	88
輸出管理規制	184
よくあるご質問	150
よくある質問 (FAQ)	113
予測変換	51

ら

ライトモード	88
--------	----

リセット オプション	149
リッチカラーテクノロジーモバイル	131
利用規約・プライバシーポリシー	52
利用時間	126
リラックスビュー	130
履歴	88
ローミング	164
ロック解除時	129
ロック画面の設定	135
ロボクル設定	133
ロボクルの詳しい情報はこちら	133
ロボクルの動作	133

わ

ワイルドカード予測	51
ワンタッチシャッター	97

英数字

ACアダプターで充電	38
AIoT機器との連携	113
AIオート	95
Android Beam	
NFC/おサイフケータイ 設定	105
NFC通信	157
Androidバージョン	145
AQUOS Home	64
AQUOS Homeの見かた	64
AQUOS便利機能	131
Bluetoothアドレス	145

Bluetooth機能	153	nanoSIMカード	34
Bluetooth機能の利用	155	NFC/おサイフケータイ 設定	105
Bluetooth通信送受信	156	NFC/おサイフケータイ ロック	105
Bluetooth テザリング	124	NFC通信	157
Bright Keep	133	ON/OFF設定	132
Chrome	86	PHOTOSHOW (Webページ)	98
Chromebook	125	PINコードを変更する	43
Chrome について	88	PINロックの解除	43
Chrome にログイン	87	Play ストア	102
Chromeの設定	87	PTP	160
Clip Now	132	QRコード・バーコード認識	97
COCORO ID	113	Reader/Writer, P2P	105
Digital Wellbeing と保護者による使用制限	144	SDカードにデータ保存	147
Eメール	83	SIMカードロックを設定する	42
Gmail	85	SIMのステータス	145
Gmail から予定を作成	111	Smart Lock	136
Google	144	SoftBank通話設定	79
Google Play プロテクト	135	USB	125
Google アプリの表示	67	USBケーブルで充電	38
Googleなどのアカウントの設定を行う	41	USB テザリング	124
GPS機能の利用	106	USBホスト機能	161
GPS/ナビ	106	VPNの接続	163
IMEI	145	VPNの切断	163
IP アドレス		VPNの追加	162
Wi-Fiの設定	121	Wi-Fi	120
端末情報	145	Wi-Fi Direct	121
MACアドレス	121	Wi-Fi MACアドレス	145
microSDカード	36	Wi-Fi経由で引き継ぐ	149
microSDカード/Bluetooth経由で引き継ぐ	147	Wi-Fi データ使用量	124
microSDカード/USBメモリのフォーマット	134	Wi-Fiテザリング	124
microSDカードの暗号化/暗号化解除	134	Wi-Fi、モバイル、Bluetooth をリセット	149
MIDI	160	Wi-Fi を自動的に ON にする	121

YouTube.....	108
4G拡張モード.....	122
24時間表示.....	146
24 時間表示を自動設定.....	146

目的から探す

基本操作

電源を入れる	39
画面ロックを解除する	39
マナーモードにする	59
ホーム画面の見かた	64
ホーム画面にショートカットやウィジェットを追加する	64
文字を入力する	48
nanoSIMカードを取り付ける／取り外す	34
microSDカードを取り付ける／取り外す	36
電池の消耗を抑える	127

電話

電話をかける	72
電話を受ける	75
相手の音声を大きくする	76
電話帳に登録する	80
電話帳に登録した相手に電話をかける	81
電話の履歴を確認する	76
留守番電話(簡易留守録)を設定する／聞く	79
着信音、通知音の種類や音量を設定する	131
着信を拒否する	79

メール

Gmailを使う	85
----------	----

インターネット

ホームページを見る	86
ブックマーク(お気に入り)を登録する	88

Wi-Fi

自宅や公共のWi-Fiに接続する	121
Wi-Fiのみで利用する(モバイルネットワークのデータ通信を利用しない)	122

カメラ

写真を撮影する	96
動画を撮影する	96
撮影した写真／動画を見る	99
撮影した写真／動画をメールで送る	83
撮影した写真／動画の保存先を設定する	98
バーコード(QRコード)を読み取る	97

便利な機能

便利な機能が知りたい	131
Googleマップで目的地までの道のりを調べる	107
スケジュールを登録／確認する	110
おサイフケータイで買い物をする	103
おサイフケータイをロックする	105
歩数計を使う	116
エモパーを使う	112
スクリーンショットを撮影する	47
画面が暗くなるまでの時間を変更する	128

目覚まし(アラーム)をセットする	108
本体やmicroSDカードのデータを確認する	134
テザリングを設定する	124
ディスプレイの照明を明るくする	128

バックアップ

連絡先やメールのバックアップをする	147
データを引き継ぐ	147

故障

故障かな?と思ったら	166
端末を初期化する	149

その他

スペックを確認する	173
アプリをアンインストールする	66
USBケーブルを利用してパソコンからデータを送る ...	159

保証とアフターサービス

保証について

- 保証期間は、本製品を新規でお買い上げいただいた日より1年間です。
- 無料修理規定に基づき無料修理を行います。無料修理規定はソフトバンクのウェブサイトでご確認頂けます。
<https://cdn.softbank.jp/mobile/set/common/pdf/legal/spguide/common/warranty.pdf>
- 保証対象部分は本体です。ケーブル類等や試供品については無料修理保証の対象外となります。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本端末に登録したデータ（電話帳／画像／サウンドなど）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される場合、お問い合わせ先または最寄りのワイモバイルショップへご相談ください。

その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は無料修理規定に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合はご要望により有料修理いたします。尚、補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の保有期間は生産打ち切り後目安として4年です。ただし、修理部品の不足等により、期間内であっても有料修理をお受けできない場合がございます。

ご不明な点について

アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのワイモバイルショップまたはお問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

My Y!mobile

待ち時間0分で、いつでも簡単手続き可能です。利用料金/データ量の確認・プラン等各種変更ができます。

<http://ymobile.jp/s/BvhGB>



チャットサポート

“チャットでチャチャッと”相談！各種変更も可能です！

<http://ymobile.jp/s/EarSf>



総合窓口(通話料有料)

ワイモバイルのスマートフォン・ケータイから 151
他社のスマートフォン・ケータイや固定電話から 0570-039-151
[オペレーター対応時間] 電話 10:00~19:00/チャット 9:00~20:00

各種お手続き(通話料無料)

ワイモバイルのスマートフォン・ケータイから 116
他社のスマートフォン・ケータイや固定電話から 0120-921-156
[受付時間] 自動音声応答により24時間受付

AQUOS sense3 取扱説明書

2020年6月 第1版

ソフトバンク株式会社

ご不明な点はお求めになった

ワイモバイル携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：AQUOS sense3

製造元：シャープ株式会社